

南部保健所報

令和元年度版

目 次

I 南部保健所の概況	
1 沿革	1
2 位置及び建物平面図	2
3 組織及び職員数	3
4 業務内容	4
II 管内の概況	
1 概況	5
2 人口動態	6
(1) 人口・世帯数の推移	6
(2) 主要死因別死亡数・死亡率	8
(3) 管内における主要死因別死亡割合	9
(4) 主要死因標準化死亡比（SMR）	10
III 保健・衛生部門	
1 地域保健対策強化の概要	11
(1) 企画及び調整の機能の強化	11
(2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化	11
(3) 人材育成	13
(4) 健康なまちづくりの推進	14
2 地域医療	15
(1) 医療施設等の状況	15
(2) 医療施設数（病床数別）	15
(3) 医療施設の動態	16
(4) 特定の人を対象とした医療施設	16
(5) 医療関係従事者の状況	16
(6) 医療関係施設への立入検査実施状況	17
(7) へき地医療の状況	17
3 母子保健	18
(1) 妊娠届出状況	18
(2) 乳児健康診査	18
(3) 1歳6か月児健康診査	19
(4) 3歳児健康診査	19
(5) 母子保健に関する教室の開催状況	20
(6) 母子保健指導状況	20
(7) 乳幼児発達相談実施状況	20
(8) 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数	21
(9) 育成医療給付状況	21
(10) 未熟児養育医療給付状況	21
(11) 特定不妊治療費等助成事業にかかる助成金の給付状況	21
(12) 母子保健地域強化推進事業	22
(13) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	23
4 健康増進	24
(1) 「生涯健康県おおいた21」推進事業	24
(2) 地域・職域健康づくり推進事業	24
(3) たばこ対策促進事業	25
(4) みんなで進める健康づくり事業	25
(5) 健康経営事業所への支援	25
5 歯科口腔保健	26
(1) 地域歯科保健検討会	26
(2) 地域歯科保健研修会	26
(3) 高齢者のよい歯のコンクール	27
(4) 親と子のよい歯のコンクール	27
(5) 1歳6か月児歯科健康診査実施状況	27
(6) 3歳児歯科健康診査実施状況	27
6 食育・栄養改善	28
(1) 食育推進	28
(2) 特定給食施設等の指導	29
(3) 食品の栄養表示等に対する指導	30
(4) 人材・組織育成、研修会	30
(5) うま塩メニュー提供店・健康応援団	31

7	生活習慣病対策	32
(1)	高齢者の医療の確保に関する法律の規定による特定健康診査(国民健康保険)	32
(2)	健康増進法の規定による健康診査	32
(3)	がん検診	33
8	精神保健	38
(1)	入院・通院患者数	38
(2)	精神障害者保健福祉手帳交付件数	38
(3)	精神保健相談実施状況	39
(4)	精神障がい者社会適応訓練事業(職親)登録事業所	40
(5)	精神障がい者の地域移行・地域定着支援事業	40
(6)	自殺予防対策強化事業	41
(7)	地域かかりつけ医精神科医連携会議(精神障がい者支援体制強化検討会)	41
(8)	こころの健康講座実施状況	42
(9)	自殺企図者の通報件数	42
(10)	ケア会議	42
(11)	ひきこもり支援	42
9	難病対策	43
(1)	医療費等の支援	43
(2)	地域支援ネットワーク事業	50
10	結核対策	52
(1)	結核新登録者数(活動性分類別・年齢階級別)	52
(2)	結核活動性分類別登録者数(受療状況別)	52
(3)	結核有病率・罹患率	53
(4)	結核予防(健康診断の実施状況)	53
(5)	精密検査(従来の管理検診)実施状況	54
(6)	接触者健診(患者家族健診)実施状況	54
(7)	接触者健診(その他)実施状況	54
(8)	研修会	54
11	感染症対策	55
(1)	感染症発生状況	55
(2)	予防接種実施状況	56
(3)	エイズ対策	58
(4)	消毒インストラクター養成講習会	59
(5)	肝炎対策	59
12	介護保険	60
(1)	要介護認定者数	60
(2)	介護保険サービス受給状況	60
(3)	居宅サービス事業所等の数	61
(4)	地域密着型サービス事業所等の数	61
(5)	介護保険関連研修	62
13	介護予防	63
(1)	圏域介護予防検討会	63
(2)	圏域別実践力向上研修会	63
14	看護対策	64
(1)	「看護の日」及び「看護週間」事業	64
(2)	看護の地域ネットワーク推進事業	64
15	保健師活動状況	67
(1)	保健師配置状況	67
(2)	家庭訪問実施状況	67
(3)	健康相談実施状況	67
16	原爆被爆者対策	68
(1)	被爆者健康手帳交付及び各種手当等の支給状況	68
(2)	被爆者健康診断実施状況	68
17	献血対策	69
(1)	献血状況	69
18	温泉	70
(1)	温泉地別源泉数等調	70
(2)	温泉利用許可施設数調	70
19	薬務	71
(1)	薬事関係施設及び立入検査実施状況	71
(2)	毒劇物関係施設及び立入検査実施状況	72
(3)	薬務関連事業実施状況	72

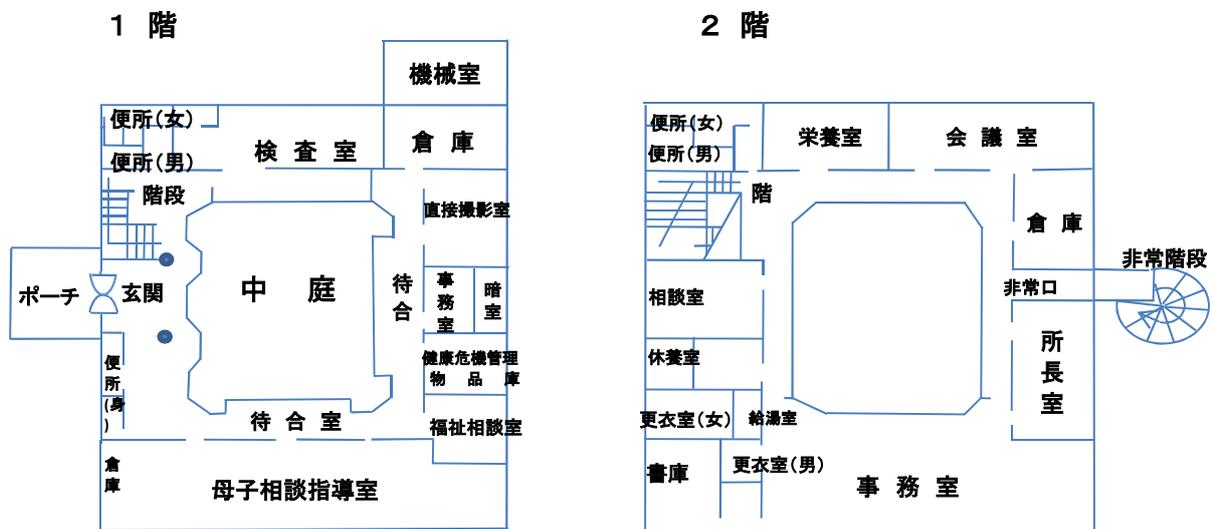
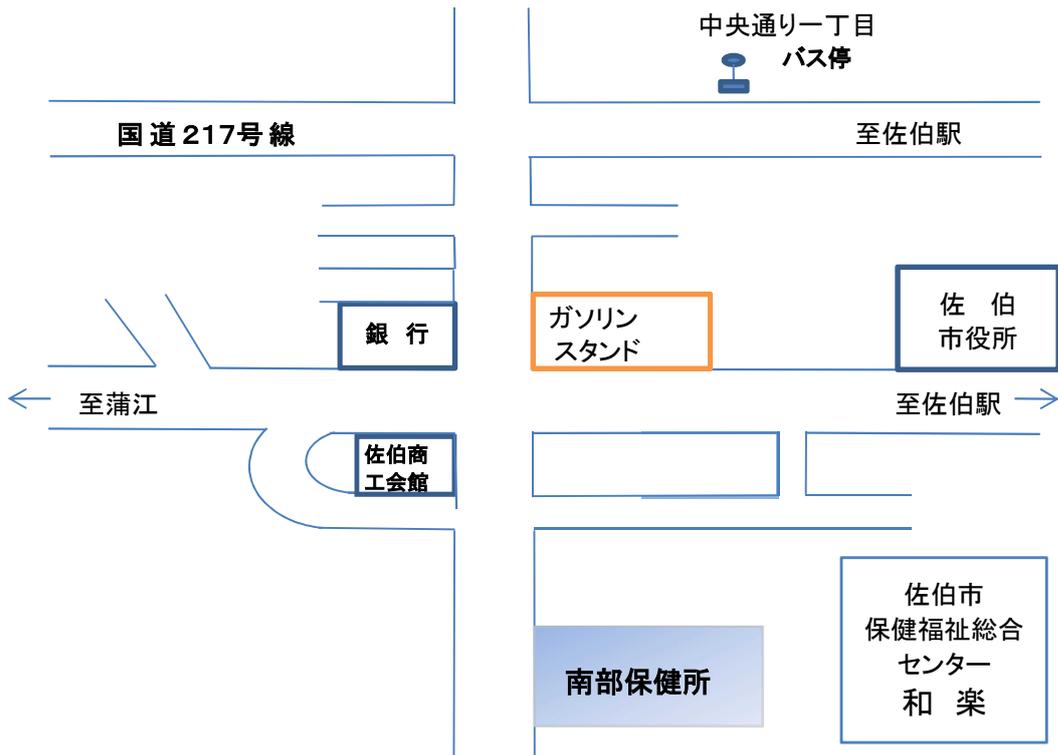
2 0	食品衛生	74
(1)	監視指導	74
(2)	食品衛生監視機動班	79
2 1	環境衛生	81
(1)	水道普及状況	81
(2)	建築物衛生管理施設	81
(3)	特定建築物施設数及び立入検査状況	81
(4)	生活衛生関係営業施設及び監視件数	82
(5)	産業廃棄物処理業者	82
(6)	廃棄物処理施設数及び監視件数	82
(7)	浄化槽設置状況	82
(8)	浄化槽保守点検業の登録及び監視件数	82
(9)	水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定事業場	83
(10)	自動車リサイクル法に関する届出、フロン排出抑制法に関する登録	85
(11)	大分県土砂等のたい積行為の規制に関する条例に関係した特定事業の許可数及び監視件数	85
(12)	一定の規模以上の土地の形質の変更届出数	85
(13)	化製場等に関する法律に関係した施設数	85
2 2	おおいたうつくし作戦	86
(1)	豊かな水環境の創出	86
(2)	循環型社会形成推進事業	86
2 3	狂犬病予防及び動物愛護	87
(1)	狂犬病予防業務	87
(2)	犬・猫による苦情	87
(3)	犬・猫の引き取り頭数	87
(4)	動物愛護事業	88
(5)	特定動物の飼養保管許可施設と飼養数（飼養形態別）	88
(6)	第一種動物取扱業の登録状況	88
2 4	試験検査	89
(1)	臨床検査(糞便・喀痰・血液検査)	89
(2)	臨床検査(細菌検査)	89
IV	福祉部門	
1	生活保護の状況	91
(1)	生活保護実施状況	91
(2)	生活保護世帯の世帯類型別状況	91
2	母子及び父子並びに寡婦福祉の状況	91
(1)	母子、父子及び寡婦世帯数	91
(2)	母子世帯の年齢	91
3	児童福祉	92
(1)	家庭児童相談室における相談処理状況	92
(2)	児童福祉施設等入所状況	93
4	地域福祉	94
(1)	民生委員・児童委員等の状況	94
(2)	ユニバーサルデザイン（出前授業実施状況）	94
(3)	大分あったか・はーと駐車場利用証交付状況	94
5	障がい者(児)福祉	95
(1)	身体障害者（児）手帳交付状況及び身体障害者相談員数	95
(2)	療育手帳交付状況及び知的障害者相談員数	95
V	参考資料	
1	調査研究報告等	97
2	平成30年度南部保健所行動計画	98
3	平成30年度行動計画の検証結果について	104

I 保健所の概況

1 沿革

- 昭和19年10月 佐伯市西谷の簡易保険佐伯相談所の庁舎を借り業務開始
- 昭和22年 9月 公衆衛生事業開始
- 昭和24年 3月 大分県保健所規則の制定により、所管区域が佐伯市・南海部郡及び大野郡小野市村、重岡村となる。総務課、衛生課の2課制となる。(C級保健所)
- 昭和26年 2月 佐伯市中村外に庁舎新築移転
- 昭和33年 4月 総務課・衛生課・保健予防課の3課制となる。
- 昭和35年 9月 保健所型別編成替により、R4型保健所となる。
- 昭和55年 7月 佐伯市字向島に新庁舎落成移転
- 平成 2年 4月 総務課の庶務係・業務係を統合し、総務係に改称。衛生課に食品衛生係、環境衛生係を置く。
- 平成 9年 4月 総務課を総務企画課に改称し、総務係、企画調整係を置く。保健予防課を保健指導課に改称し、保健指導第一係、保健指導第二係を置く。衛生課に検査担当を置く。
- 平成16年 4月 保健指導課を地域保健課に改称し、健康増進係と疾病対策係を置く。
- 平成17年 4月 佐伯県民保健福祉センターと改称し、地域福祉課を新設。
- 平成19年 5月 総務企画課を総務福祉課に改称し、地域福祉課を廃止。
- 平成20年 4月 南部保健所と改称し、総務福祉課を健康安全企画課に改称し、企画福祉班を置く。

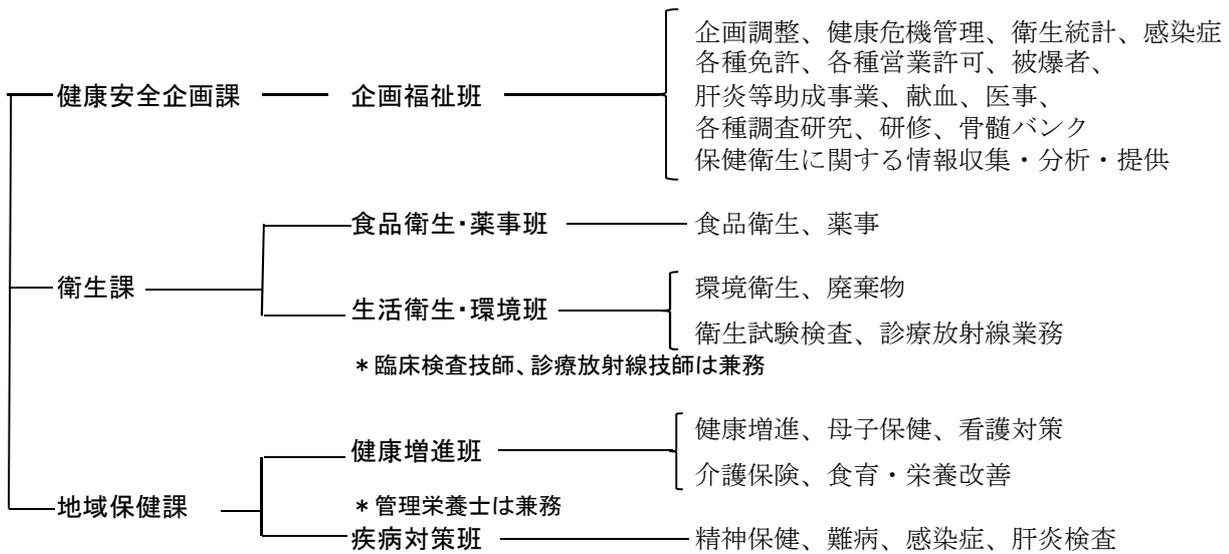
2 位置及び建物平面図



庁舎の概要

敷地面積			3,046.01 m ²
本館	鉄筋コンクリート造 2階建	1棟	1,245.82 m ²
犬抑留所	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟	20.00 m ²
車庫	鉄骨、波鋼板一部スレート 平屋建	1棟	166.40 m ²

3 組織及び職員数



(平成31年4月26日現在)

組織及び現員	職 員 総 数	一 般 事 務	技 術 職 総 数	医 師	薬 劑 師	獣 医 師	化 学	放 射 線 技 師	技 臨 床 検 査 師	保 健 師	管 理 栄 養 士	非 常 勤 嘱 託
職員総数	21(9)	6	15(9)	(1)	5	1	1	(2)	(3)	8	(3)	3
所長	(1)		(1)	(1)								
健康安全企画課	7	6	1							1		1
次長兼 健康安全企画課長	1	1										
企画福祉班	6	5	1							1		1
衛生課	7(5)		7(5)		5	1	1	(2)	(3)			2
参事兼衛生課長	1		1		1							
食品衛生・薬事班	4		4		4							
生活衛生・環境班	2(5)		2(5)			1	1	(2)	(3)			2
地域保健課	7(3)		7(3)							7	(3)	
参事兼 地域保健課長	1		1							1		
健康増進班	3(3)		3(3)							3	(3)	
疾病対策班	3		3							3		

注 ※()は他所属在籍の兼務職員

※非常勤嘱託は一般職嘱託職員 1名、産業廃棄物監視員 2名

4 業務内容

(1) 週間所内業務

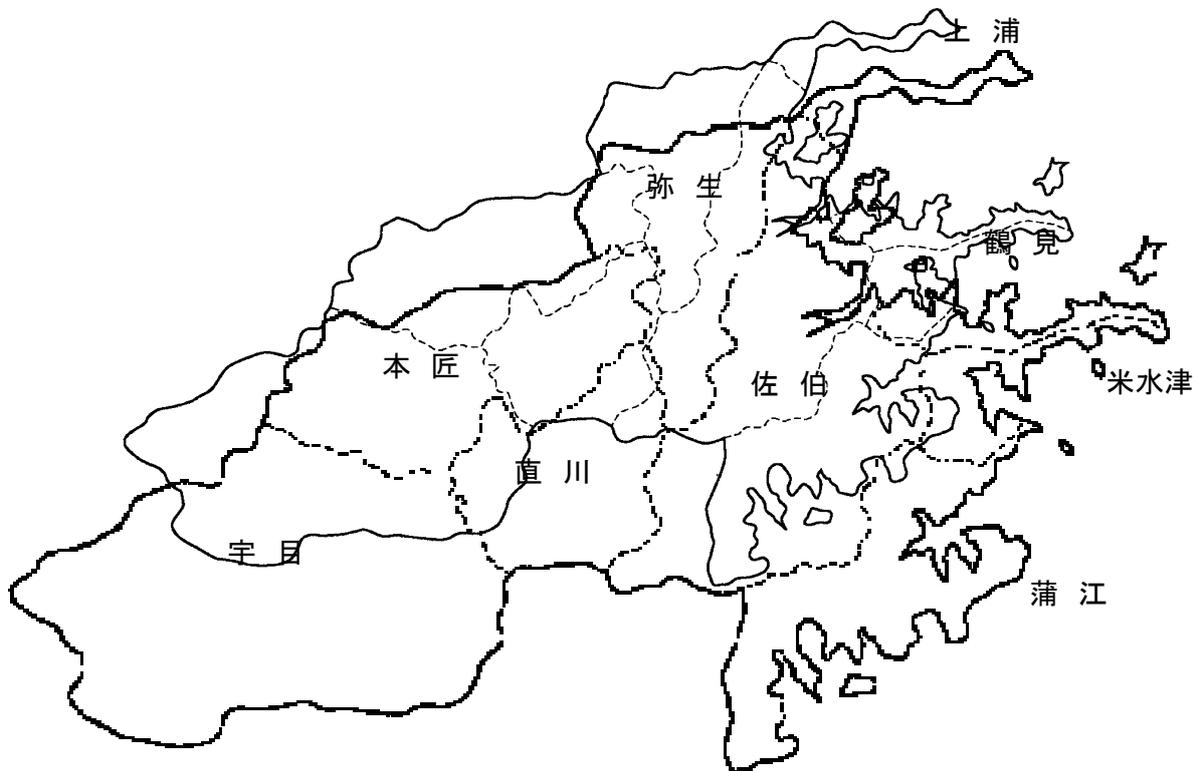
項 目	曜 日	受付時間	備 考
精神保健福祉相談	毎月第2火曜日	15:00～17:00	電話予約制
肝 炎 検 査	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:00	電話予約制
H I V抗体検査・特 定感染症検査	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:00	電話予約制
骨髄バンク登録受付	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:00	電話予約制
検 便	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:30	

(2) その他の業務

項 目	内 容
家庭訪問・相談	結核・難病・精神保健・長期療養児・栄養
監視指導	食品衛生・公害・環境衛生・薬務・医務
衛生教育	公衆衛生全般

Ⅱ 管内の概況

1 概 況



当保健所の管轄する佐伯市は平成17年3月3日に1市5町3村が合併し、総面積903.11km、人口総数69,022人である。

当地域は、大分県の南部に位置し、比較的温暖多雨の気候で、東南部はリアス式海岸で日豊海岸国立公園に指定され景観に恵まれており、西部は祖母傾山系に属する山岳地帯である。

内陸部では稲作を中心に、野菜・花きの施設栽培が行われ、海岸部では恵まれた良港と水産資源のもと、まき網・小型底びき網等の漁船漁業、ブリを主体とした魚類養殖や真珠養殖等の海面養殖、「丸干し」「ちりめん」等の水産加工品の生産がさかんに営まれている。

また、高度成長期には若年労働者を中心に人口流出が続き、海岸部では特に男性の土木関係就労者が多かったため、じん肺患者、振動病患者の多い地域となっている。

資料：県統計調査課「大分県の人口推計」平成30年10月1日現在
国土地理院「平成30年全国都道府県市区町村別面積調」

2 人口動態

平成30年10月1日現在の管内の人口は69,022人と前年より1,085人減少しており、この傾向は昭和50年から続いている(表2-1)。

総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は、39.5%で、県平均を上回っている(表2-2)。

また、平成29年の管内の死亡者数は1,057人で、これを死因別にみると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡が約半数を占めている。(表2-3・4)

(1)人口・世帯数の推移

表2-1 人口・世帯数・面積 (各年10月1日現在)

	年	世帯数	1世帯当たりの人員	総人口			面積 (Km ²)	人口密度 人口/km ²
				総数	男	女		
大分県	S50	344,129	3.46	1,190,307	561,715	628,592	6,340.73	187.72
	S60	395,855	3.16	1,250,214	593,014	657,200		197.17
	H7	435,040	2.83	1,231,306	581,909	649,397		194.19
	H17	469,017	2.58	1,209,587	569,755	639,832		190.76
	H27	498,661	2.34	1,164,703	551,228	613,475		183.69
	H28	489,265	2.37	1,159,634	549,001	610,633		182.89
	H29	491,384	2.34	1,151,853	545,444	606,409		181.66
	H30	493,343	2.32	1,142,943	541,587	601,356		180.25
佐伯市	S50	27,520	3.50	96,317	44,828	51,489	903.11	106.65
	S60	29,764	3.22	95,907	44,688	51,219		106.20
	H7	30,493	2.89	88,116	40,674	47,442		97.57
	H17	30,678	2.63	80,804	37,076	43,728		89.47
	H27	30,529	2.37	72,250	33,319	38,931		80.00
	H28	29,504	2.41	71,113	32,744	38,369		78.74
	H29	29,422	2.38	70,107	32,384	37,723		77.63
	H30	29,481	2.34	69,022	31,929	37,093		76.43

資料：人口・世帯数は、県統計調査課「大分県の人口推計」

面積は、国土地理院「平成30年全国都道府県市区町村別面積調」

表2-2 年齢別人口・割合 (各年10月1日現在)

	年	年 齢 区 分					
		年 少 人 口		生 産 年 齢 人 口		老 年 人 口	
		0才~14才	構成比%	15才~64才	構成比%	65才以上	構成比%
大分県	S50	274,612	23.1	789,878	66.4	125,824	10.5
	S60	265,304	21.2	817,275	65.4	163,139	13.0
	H7	200,909	16.3	801,035	65.1	229,076	18.6
	H17	165,659	13.7	752,002	62.1	292,502	24.1
	H27	148,356	12.7	657,472	56.5	352,048	30.2
	H28	144,776	12.5	645,508	55.7	358,339	30.9
	H29	142,758	12.4	635,087	55.1	362,997	31.5
	H30	140,665	12.3	624,455	54.6	366,812	32.1
佐伯市	S50	22,547	23.4	62,792	65.2	10,955	11.4
	S60	20,003	20.9	62,270	64.9	13,634	14.2
	H7	13,944	15.9	55,627	63.2	18,545	21.1
	H17	10,293	12.7	47,294	58.5	23,175	28.7
	H27	8,162	11.3	37,219	51.5	26,585	36.8
	H28	7,838	11.0	36,230	51.0	26,859	37.8
	H29	7,611	10.9	35,175	50.2	27,135	38.7
	H30	7,392	10.7	34,189	49.5	27,255	39.5

注：年齢不詳分を除く

資料：県統計調査課「大分県の人口推計」

表2-3 人口動態総覧（実数・率）

年次	日本人口	出生			死亡		自然増加		乳児死亡		新生児死亡		
		実数	率 [人口千対]	2,500g未満 [再掲]	実数	率 [人口千対]	実数	率 [人口千対]	実数	率 [出生千対]	実数	率 [出生千対]	
全国	24	125,957,000	1,037,231	8.2		1,256,359	10.0	△ 219,128	△ 1.7	2,299	2.2	1,065	1.0
	25	125,759,000	1,029,816	8.2		1,268,436	10.1	△ 238,620	△ 1.9	2,185	2.1	1,026	1.0
	26	125,431,000	1,003,539	8.0		1,273,004	10.1	△ 269,465	△ 2.1	2,080	2.1	952	0.9
	27	125,319,299	1,005,677	8.0		1,290,444	10.3	△ 284,767	△ 2.3	1,916	1.9	902	0.9
	28	125,020,252	976,978	7.8		1,307,748	10.5	△ 330,770	△ 2.6	1,928	2.0	874	0.9
	29	124,648,471	946,065	7.6		1,340,397	10.8	△ 394,332	△ 3.2	1,761	1.9	832	0.9
大分県	24	1,178,000	9,650	8.2	880	14,050	11.9	△ 4,400	△ 3.7	24	2.5	9	0.9
	25	1,170,000	9,605	8.2	892	13,874	11.9	△ 4,269	△ 3.6	18	1.9	10	1.0
	26	1,163,000	9,279	8.0	798	14,065	12.1	△ 4,786	△ 4.1	21	2.3	10	1.1
	27	1,157,581	9,112	7.9	862	13,958	12.1	△ 4,846	△ 4.2	17	1.9	9	1.0
	28	1,151,853	9,059	7.9	874	14,264	12.4	△ 5,205	△ 4.5	22	2.4	11	1.2
	29	1,142,943	8,658	7.6	824	14,398	12.6	△ 5,740	△ 5.0	19	2.2	8	0.9
佐伯市	24	75,822	546	7.2	44	1,123	14.8	△ 577	△ 7.6	-	-	-	-
	25	75,058	490	6.5	39	1,032	13.7	△ 542	△ 7.2	-	-	-	-
	26	73,070	521	7.1	48	1,142	15.6	△ 621	△ 8.5	1	1.9	-	-
	27	71,973	449	6.2	43	1,077	15.0	△ 628	△ 8.7	-	-	-	-
	28	70,107	479	6.8	43	1,109	15.6	△ 630	△ 9.0	-	-	-	-
	29	69,022	401	5.7	40	1,057	14.9	△ 656	△ 9.5	-	-	-	-

年次	死産				周産期死亡				婚姻		離婚		合計特殊出生率	
	実数	率 [出産千対]	自然死産	人工死産	実数	率 [出産千対]	22週以降の死産	早期新生児死亡	実数	率 [人口千対]	実数	率 [人口千対]		
全国	24	24,800	23.4	11,448	13,352	4,133	4.0	3,343	790	668,869	5.3	235,406	1.87	1.41
	25	24,102	22.9	10,938	13,164	3,862	3.7	3,110	752	660,613	5.3	231,383	1.84	1.43
	26	23,524	22.3	10,905	12,619	3,750	3.6	3,039	711	643,749	5.1	222,107	1.77	1.42
	27	22,617	22.0	10,862	11,755	3,728	3.7	3,063	665	635,156	5.1	226,215	1.81	1.45
	28	20,934	21.0	10,067	10,867	3,516	3.6	2,840	676	620,531	5.0	216,798	1.73	1.44
	29	20,358	21.1	9,738	10,620	3,308	3.5	2,683	625	606,866	4.9	212,262	1.70	1.43
大分県	24	269	27.1	96	173	36	3.7	31	5	5,652	4.8	2,187	1.86	1.53
	25	274	27.7	106	168	42	4.4	35	7	5,724	4.9	2,179	1.86	1.56
	26	257	27.0	93	164	31	3.3	22	9	5,391	4.6	2,004	1.72	1.57
	27	286	30.4	110	176	48	5.2	41	7	5,315	4.6	2,066	1.78	1.59
	28	221	23.8	86	135	32	3.5	22	10	5,151	4.5	1,999	1.74	1.65
	29	196	22.1	86	110	33	3.8	27	6	5,022	4.4	1,943	1.70	1.62
佐伯市	24	17	30.2	4	13	4	7.3	4	-	310	4.1	136	1.79	1.60
	25	10	20.0	4	6	2	4.1	2	-	340	4.5	128	1.71	1.65
	26	14	26.2	2	12	1	1.9	1	-	282	3.9	120	1.64	1.74
	27	18	38.5	6	12	3	6.6	3	-	261	3.6	133	1.85	1.74
	28	7	14.4	2	5	-	-	-	-	247	3.5	128	1.83	1.82
	29	7	17.2	2	5	1	2.5	1	-	248	3.5	106	1.50	1.65

資料：厚生労働省「人口動態統計」、佐伯市の合計特殊出生率は県福祉保健企画課調べ

注1：合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で一人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。現在の人口を維持するためには、合計特殊出生率が2.07以上を保つことが必要とされている。

注2：佐伯市の合計特殊出生率はその年次を含む前5年間の平均値である。

(2) 主要死因別死亡数・死亡率(人口10万対)

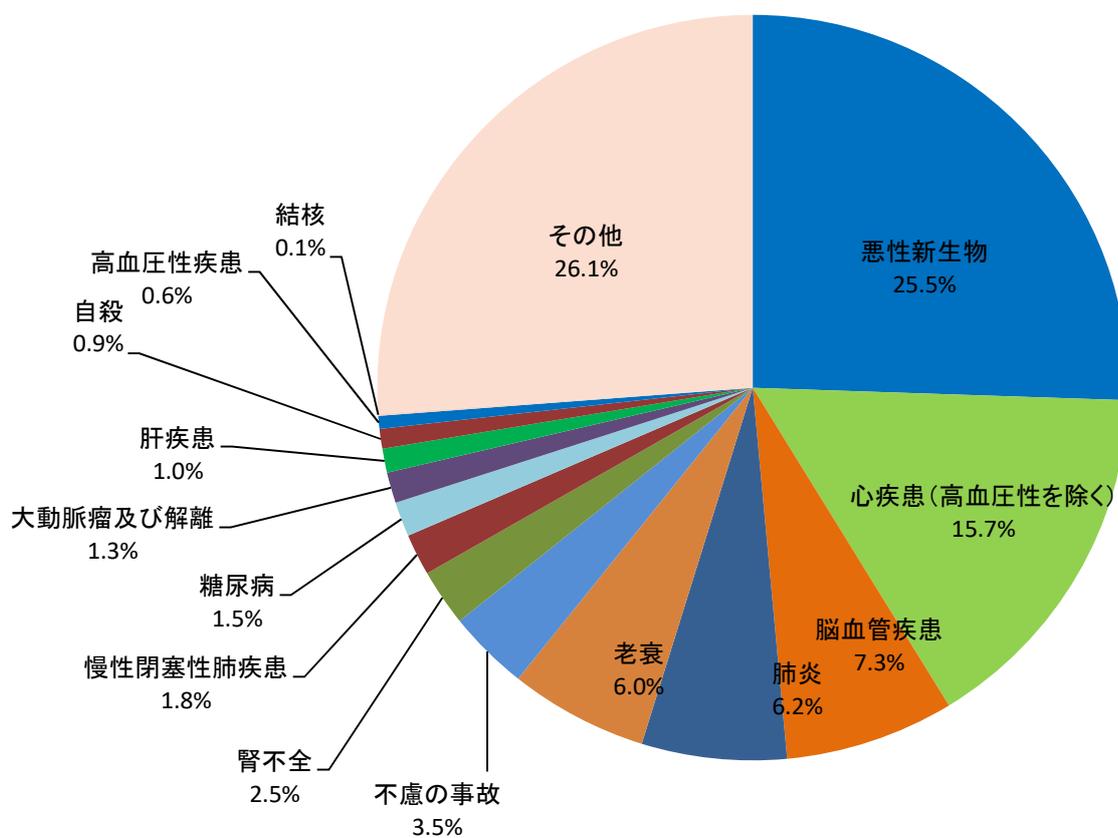
表2-4

項 目	年	全 国	大分県	佐 伯 市	
		死亡率	死亡率	死亡数	死亡率
総数	H27	1,029.7	1,205.8	1,077	1,496.4
	H28	1,046.0	1,240.3	1,109	1,564.7
	H29	1,075.3	1,260.8	1,057	1,513.5
結核	H27	1.6	1.8	2	2.8
	H28	1.5	1.4	3	4.2
	H29	1.9	1.9	1	1.4
悪性新生物	H27	295.5	315.5	268	372.4
	H28	298.3	312.7	275	388.0
	H29	299.5	317.2	270	386.6
糖尿病	H27	10.6	13.0	7	9.7
	H28	10.8	14.1	11	15.5
	H29	11.2	12.6	16	22.9
高血圧性疾患	H27	5.4	7.1	11	15.3
	H28	5.5	7.4	12	16.9
	H29	7.7	8.9	6	8.6
心疾患（高血圧症を除く）	H27	156.5	175.0	170	236.2
	H28	158.4	181.9	160	225.7
	H29	164.3	190.5	166	237.7
脳血管疾患	H27	89.4	104.3	89	123.7
	H28	87.4	106.3	94	132.6
	H29	88.2	103.2	77	110.3
大動脈瘤及び解離	H27	13.5	16.0	14	19.5
	H28	14.5	17.4	11	15.5
	H29	15.3	19.4	14	20.0
肺炎	H27	96.5	129.8	109	151.4
	H28	95.4	127.5	105	148.1
	H29	77.7	99.0	66	94.5
慢性閉塞性肺疾患	H27	12.6	18.7	13	18.1
	H28	12.5	17.0	19	26.8
	H29	14.9	21.5	19	27.2
喘息	H27	1.2	1.7	-	-
	H28	1.2	2.2	2	2.8
	H29	1.4	2.5	1	1.4
肝疾患	H27	12.5	13.0	10	13.9
	H28	12.6	14.7	12	16.9
	H29	13.7	13.0	11	15.8
腎不全	H27	19.6	26.0	24	33.3
	H28	19.7	29.7	29	40.9
	H29	20.2	28.5	26	37.2
老衰	H27	67.7	69.5	62	86.1
	H28	74.2	80.4	62	87.5
	H29	81.3	87.5	63	90.2
不慮の事故	H27	30.6	39.1	32	44.5
	H28	30.6	44.2	33	46.6
	H29	32.4	46.1	37	53.0
自殺	H27	18.5	16.5	14	19.5
	H28	16.8	16.9	17	24.0
	H29	16.4	18.3	9	12.9
その他	H27	198.0	258.8	252	350.0
	H28	206.6	266.5	264	372.7
	H29	229.2	290.7	275	393.8

資料：厚生労働省「人口動態統計」

県福祉保健企画課「人口動態調査都道府県標準結果表」

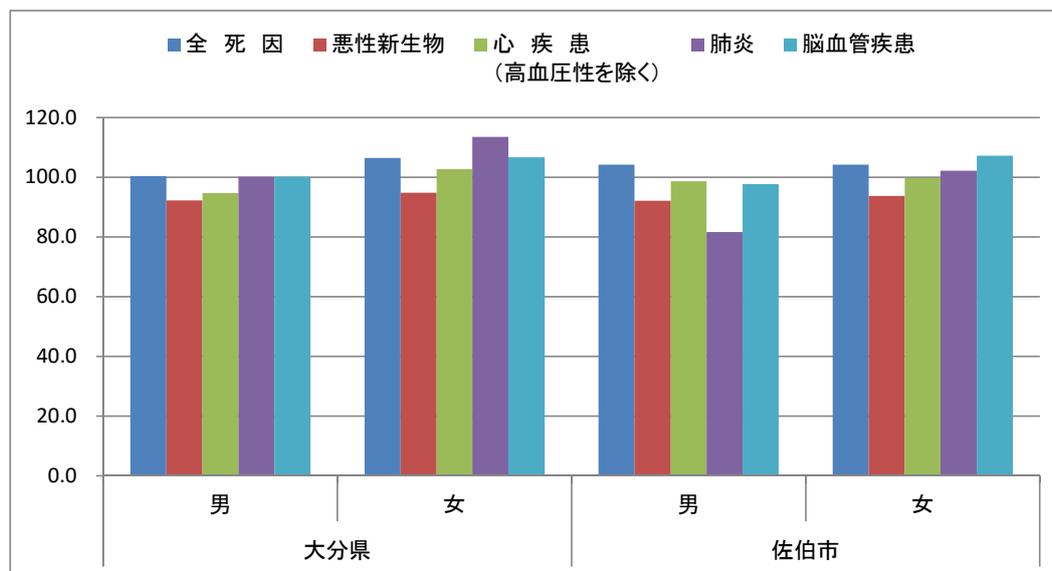
(3)管内における主要死因別死亡割合（平成29年）



(4) 主要死因標準化死亡比 (SMR)

(平成25年～平成29年の平均値)

		全死因		悪性新生物		心疾患 (高血圧性を除く)		肺炎		脳血管疾患	
		値	有意差	値	有意差	値	有意差	値	有意差	値	有意差
大分県	男	100.4		92.3	**	94.7	**	100.2		100.2	
	女	106.5	**	94.8	**	102.7	*	113.5	**	106.6	**
佐伯市	男	104.2	*	92.1	*	98.6		81.6	**	97.6	
	女	104.2	*	93.7		99.7		102.2		107.2	



注1：標準化死亡比 (SMR)は、各地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率により算出された各地域の期待死亡数と、その地域の実際の死亡数との比を示す。
主に小地域の比較に用いられ、全国を100(基準値)として、100より大きいということは、その地域の死亡状況は全国より悪く、100より小さいということは、全国より良いということの意味する。

注2：*は5%の危険率で有意差がある、**は1%の危険率で有意差がある。

資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計

III 保健・衛生部門

1 地域保健対策強化の概要

(1) 企画及び調整の機能の強化

ア 南部保健所運営協議会

開催日	委員所属・職名	内容
平成30年7月19日	市長、市医師会長、市歯科医師会長、市薬剤師会長、市学校保健会副会長、市食生活改善推進協議会長、県南地区公立保育協議会保育士会長、県栄養士会南部支部佐伯地区代表、市主任児童委員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・南部保健所の概要について ・南部保健所の主要事業について

イ 企画調整会議

「地域保健法」及び「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な企画、調整を図ることを目的に設置しており、保健所における機能強化の推進母体として位置づけて、機能強化の方向性や具体的な事業の目的と内容を共通認識、共通理解する場であり、地域課題の明確化や解決方法の決定、保健所行動計画等の策定、検証を行った。

会議の名称		構成員	協議内容
南部保健所企画調整会議	課長会議	所長、次長兼健康安全企画課長、参事兼衛生課長、参事兼地域保健課長、企画福祉班総括、企画調整担当	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所行動計画の策定と検証 ・健康危機管理に関する体制整備と対策について ・所内横断的に取り組む事業に関する計画立案及び評価 ・各課の事業の共有等
	企画会議	所長、次長兼健康安全企画課長、参事兼衛生課長、参事兼地域保健課長、検査課長、食品衛生・薬事班総括、生活衛生・環境班総括、健康増進班総括、疾病対策班総括、食育栄養指導班総括、企画福祉班総括、企画調整担当	

ウ 南部地域医療構想調整会議

開催日	委員所属・職名	内容
平成30年7月24日	市医師会長、市歯科医師会長、市薬剤師会長、県看護協会佐伯地区理事、各病院代表者、医療保険者代表、市福祉保健部長、地域包括支援センター長、市消防長、南部保健所長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度病床機能報告結果 ・佐伯市における在宅医療・介護連携の取組 ・地域医療介護総合確保基金 ・国の動向
平成31年2月6日	市医師会長、市歯科医師会長、市薬剤師会長、県看護協会佐伯地区理事、各病院代表者、医療保険者代表、市福祉保健部長、地域包括支援センター長、市消防署長、南部保健所長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度病床機能報告結果 ・定量的な基準 ・国の動向・地域医療介護総合確保基金 ・地域医療に関するデータ(南部圏域の医療供給の状況)(循環器系疾患及び救急医療における課題等)

(2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化

地域における健康危機管理事案発生を未然に防止し、発生時には迅速かつ適切な対応を行うための健康危機管理体制の整備強化を図っている。

ア 佐伯地域健康危機管理連絡会議

開催日	参加機関	内容
平成30年6月22日	佐伯市医師会、佐伯市薬剤師会、医療機関(佐伯中央病院、長門記念病院、南海医療センター、西田病院、曾根病院、御手洗病院)、佐伯市(防災危機管理課、環境対策課、健康増進課、保険年金課)、佐伯市教育委員会、佐伯市消防本部、佐伯警察署、南部振興局	<ul style="list-style-type: none"> ・南部保健所管内の健康危機管理体制の整備状況について ・感染症をめぐる動向について ・大規模災害発生時の健康危機管理体制について

イ 健康危機管理シミュレーション

自然災害発生時の保健所機能の維持等を目的に地震・津波避難訓練及び南部地域防災関係機関ネットワーク会議「図上訓練」に参加した。平成29年度末に作成した「南部保健所災害時アクションカード」による南海トラフ巨大地震を想定した災害対応訓練の実施や、新型インフルエンザの管内発生に備え、第2種感染症指定医療機関との対応訓練等を実施した。

①自然災害対応訓練

実施日	参加機関	内容
平成30年 11月28日	南部保健所	南海トラフ巨大地震等による津波浸水被害を想定した衛星携帯電話による双方向通話訓練を実施
平成31年 2月22日	(主催：南部地域防災関係ネットワーク会議) 健康危機管理連絡会議構成員等（18団体） 佐伯市消防本部、佐伯警察署、佐伯市、市社協、自衛隊、海上保安署、九電、NTT、建設業協会、エフエムさいき、国交省、南部振興局、南部保健所など	巨大地震発生2日後の想定で、佐伯地区災害対策本部保健所班として訓練参加 大分市内の医療機関の受入体制、大分スポーツ公園・豊後大野のSCUの機能確認、他地域からのDHEAT応援体制等を確認・情報共有しながら訓練を実施
	市内12医療機関、南部保健所	南海トラフ巨大地震等による津波浸水被害を想定したEMIS・おおいた医療情報ホットネットの入力訓練を実施

②南部保健所アクションカードを用いた災害対応訓練およびEMIS入力訓練

実施日	参加機関	内容
平成30年 5月29日	南部保健所	・アクションカードを用いた初動対応訓練

③新型インフルエンザ対応訓練

実施日	参加機関	内容
平成31年 3月1日	南部保健所、南海医療センター	・情報伝達訓練 ・検体採取・梱包・搬出訓練 ・PPE着脱訓練

ウ 健康危機管理情報の発信

内容	ホームページ
対象者	一般
発信回数	毎週更新
発信内容	感染症の発生状況

(3) 人材育成

ア 保健所職員の資質向上

保健所業務を理解し、個の仕事から課及び保健所全体の仕事を考える機会とするとともに、研修企画・運営・プレゼンテーション能力を向上させることを目的に、職員会議等で各担当による話題提供を実施した。

月	テーマ	月	テーマ
4	公務員倫理、健康危機管理体制	10	レジオネラ対策について
5	公務員倫理、健康危機管理体制	11	鳥インフルエンザについて
6	EMIS入力研修、危機管理体制	12	人権研修、不妊治療の現状と取組
7	認知症の基本について	1	精神保健（心のメンテナンス）について
8	健康危機管理体制、避難所の現状	2	廃棄物について
9	鳥インフルエンザ防護服着脱訓練	3	健康危機管理体制、人権研修

イ 医師関連研修(臨床医師研修、医学部地域医療実習)

臨床医師研修は、30年度の実施はなかった。

大分大学医学部医学科第5年次生の「地域医療実習」として、9～11月にかけて5グループ、計8名に研修を実施した。

ウ 看護学生実習生指導

看護学生の臨地学習として、公衆衛生看護活動の実施と必要な技術、看護専門職の役割について理解を深めるよう指導した。

機関名	学年	実習区分	人員	期間
大分県立看護科学大学	4年次生	地域看護学実習	4人	平成30年5月7日～5月10日
	4年次生	地域看護学実習	4人	平成30年5月21日～5月24日
大分県立看護科学大学大学院	1年次生	地域生活支援実習	1人	平成30年6月～平成31年2月
	1年次生	広域看護活動研究実習	1人	平成30年11月5日～12月7日
大分大学医学部看護学科	4年次生	地域看護学実習	4人	平成30年5月28日～5月31日、6月15日
	3年次生	地域看護学実習	2人	平成31年3月4日～8日

エ 南部保健所管内地域保健従事者研究会

管内の行政保健師、事業所保健師を対象に、保健・医療・福祉のあらゆる動向をふまえた情報の共有、また、地域保健従事者の資質向上を図ることを目的に開催した。

開催日 開催回数	実人員	延べ 参加人数	内容	備考
原則毎月 第4火曜日 10回 (8月・2月休会)	34人	195人	・災害関連事項の検討、事例検討、 講話（精神障がい）、新任期活動報告会 等	毎月、各機関の業務や 取組み、災害対応等につ いて共有する時間を 設けた。

オ 出前講座実施状況

テーマ	回数	対応課	対象
薬	3	衛生課	高齢者教室白養大学、食生活改善推進協議会佐伯支部、上堅田地区高齢者学級
食品衛生 食中毒予防	4	衛生課	さくら運輸株式会社、いきいきサロン片山、佐伯市立うめこども園、佐伯市元気っ子クラブ
その他	8	衛生課	(公財) さいき農林公社、大分県立佐伯豊南高校、うまいもん通り新鮮の会、佐伯市役所、佐伯土木事務所、(公財) 大分県生活衛生営業指導センター

(4) 健康なまちづくりの推進

地域の健康課題対策推進事業

大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に掲げる「健康寿命日本一」を実現するため、平成28年度県民健康意識行動調査結果で明らかになった地域の健康課題に応じて、市をはじめ関係機関・団体等の多様な主体と連携し、課題解決に向けて健康増進施策を推進する。

市町村	テーマ	内容	連携機関・団体等
佐伯市	がん検診受診率向上	<p>①出前講座等によるがん検診普及啓発 実施回数 13回 参加者数：計336名</p> <p>②女性がん集団検診会場でのアンケート調査 受診行動や意識の特性把握のため実施。 集団検診会場：41カ所 アンケート回答者数：2,742人</p> <p>③健康経営事業所でのがん検診実施時アンケート調査 モデル事業所数：6事業所 アンケート回答者数：334人</p> <p>④普及啓発事業 (1) 健康フェスタの開催 がん検診以外に、薬や栄養など他部門と連携し、市民が自ら健康づくりを実践する契機とするため国民文化祭イベントと同日実施。 開催日：平成30年10月28日（日） 場所：佐伯市役所南側駐車場 参加者数：延べ400人</p> <p>(2) 各種媒体を利用したがん検診普及啓発 メディア等を用いて広く住民に向けた普及啓発や、各種事業における普及啓発チラシ・グッズの配布。</p>	<p>佐伯市薬剤師会 大分県栄養士会 ケーブルテレビ佐伯 大分県地域保健支援センター 佐伯市保育所長会 佐伯市教育委員会 佐伯市役所 大分県南部振興局</p>

2 地域医療

管内の医療施設は、平成31年3月31日現在、病院8施設1,185床、一般診療所60施設（うち休止2施設）139床、歯科診療所31施設0床で、地域的には旧佐伯市内に集中している。

人口10万人対で全国と対比すると、病院数は、県平均を下回っているが、全国平均を上回っている。一般診療所数は、県平均・全国平均を上回っている。歯科診療所は県平均・全国平均を下回っている。病床数では、病院病床数は、県平均を下回っているが、全国平均を上回っている（平成29年10月1日現在）。

大分県医療計画（平成30年3月）による南部医療圏における病院の一般病床及び療養病床（診療所の療養型病床群に係る病床を含む）の基準病床数は、749床である。

(1) 医療施設等の状況

(単位：か所、床)

(平成30年度末現在)

人口 10 万 対		施設 数	病 院						診 療 所			歯 科 診 療 所	歯 科 技 工 所	助 産 所
			病 床 数						施 設 数	病 床 数				
			総 数	一 般	療 養	感 染 症	精 神	結 核		一 般	療 養			
全 国	6.6	1,227.2	703.1	256.7	1.5	261.8	4.1	80.1	77.6	7.2	54.1			
大分県	13.6	1,736.6	1,025.4	247.9	3.5	455.5	4.3	83.8	331.0	27.2	46.7			
佐伯市	10.6	1,575.7	1,018.6	312.5	5.3	239.3	-	79.8	184.8	-	41.2	21.3	5.3	
佐伯市	8	1,185	766	235	4	180	-	60	139	-	31	16	4	
平成29年度末	8	1,185	766	235	4	180	-	60	139	-	32	16	4	

注：1) 「人口10万対」の欄の数値は、平成29年10月1日現在。

資料：1) 病院・診療所・歯科診療所（人口10万対の全国、大分県）は、厚生労働省「医療施設動態調査」

2) 管内の基準人口は、大分県「毎月流動人口調査」

3) 管内の病院、診療所及び歯科診療所並びに助産所は南部保健所に届出・登録済の数

(2) 医療施設数（病床数別）

病院

(平成30年度末現在)

病床数	総数	20床～ 49床	50床～ 99床	100床～ 149床	150床～ 199床	200床～ 249床	250床以上
病院数	8	1	2	1	2	1	1

資料：南部保健所に届出・登録済みのもの

一般診療所

(平成30年度末現在)

病床数	総数	無床	1床～ 4床	5床～ 9床	10床～ 14床	15床～ 19床
診療所数	60	50	2	1	-	7

資料：南部保健所に届出・登録済みのもの

(3) 医療施設の動態 (平成30年度)

区分	南部保健所	
	新規開設	廃止
病院	-	-
診療所	-	1
歯科診療所	-	1

資料：南部保健所に届出・登録済みのもの

(4) 特定の人を対象とした医療施設

(平成31年3月31日現在)

医療施設名	養護老人ホームながと診療所	大分県なおみ園医務室
	特別養護老人ホーム長良苑医務室	特別養護老人ホーム直川苑医務室
	特別養護老人ホーム花みずき医務室	特別養護老人ホームはまゆう診療所
	障害者支援施設清流の郷医務室	介護老人保健施設鶴見の太陽医務室
	彦岳の太陽診療所	特別養護老人ホームはたのうら医務室
	特別養護老人ホーム豊寿苑診療所	

資料：市町村別診療所等数調（特定施設）

(5) 医療関係従事者の状況

(単位：人)

(平成28年12月31日現在)

		医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士
人口 10 万 対	全 国	251.7	82.4	237.4	40.4	28.2	905.5	254.6	97.6	27.3
	大分県	278.4	65.2	191.5	59.2	30.6	1215.2	505.6	126.2	51.6
	佐伯市	200.4	62.1	156.6	67.7	25.4	1176.9	512.2	104.4	33.9
佐伯市		142	44	111	48	18	834	363	74	24
(平成26年末現在)		148	44	136	46	13	786	433	76	25

注：1) 「人口10万対」の欄の医師・歯科医師・薬剤師の全国及び大分県の数値は、平成28年12月31日現在

2) 「人口10万対」の欄の管内を算出する際の基準人口は、平成29年1月1日現在毎月流動人口

資料：1) 医師、歯科医師、薬剤師は、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成28年12月31日現在)

2) 上記1)以外の職種の全国及び大分県の数値は「衛生行政報告例」(平成28年12月31日現在)

(6) 医療関係施設への立入検査実施状況

(単位：か所)

(平成30年度)

	対象施設数	実施施設数	実施率(%)	指摘事項・指導事項等
総 数	101	26	25.7	
病 院	8	8	100.0	法定医師数の不足 等
一 般 診 療 所	58	12	20.7	無許可で構造設備を変更 等
歯 科 診 療 所	31	6	19.4	無許可で構造設備を変更 等
助 産 所	4	-	0.0	

注：1) 対象施設数は平成31年3月31日現在

2) 病院は毎年度、一般診療所・歯科診療所、助産所は5年ごとに巡回

(7) へき地医療の状況 (平成26年10月末現在)

無医地区一覧表

(単位：人)

市町村名	地区名	人口
佐伯市	大越	56
	木浦	83

無医地区に準じる地区

(単位：人)

市町村名	地区名	人口
佐伯市	深島	30

無歯科医地区

(単位：人)

市町村名	地区名	人口
佐伯市	大越	56
	大島	151
	木浦	83

無歯科医地区に準じる地区

(単位：人)

市町村名	地区名	人口
佐伯市	日向泊	41

資料：平成26年度 無医地区等調査・無歯科医地区等調査 (厚生労働省)

3 母子保健

母子保健は、住民の健康の維持向上の基礎となるもので、青年期(婚前期)から妊娠中、産後にかけての母性の保護や、乳幼児の心身の適切な発育発達のため、医療機関等と連携した管理が必要である。

当保健所においては、一次サービスを提供する佐伯市との連携を密にし、二次的専門的事業を行い、発育発達に課題をもつ児や、長期にわたり発育発達の観察を要する長期療養児に対しての支援に取り組んでいる。

また、佐伯市との連携強化を図るために、平成24年度から佐伯市担当課との母子保健連絡会を定例化し、平成29年度から保健師・助産師連絡会を立ち上げ、ケースや事業に関する情報交換、検討を行っている。

さらに、「ヘルシースタートおおいた地域推進専門部会」の中で関係機関とともに今後の地域母子保健対策について検討するなど、子どもを安心して産み育てられる地域づくりに努めている。

(1) 妊娠届出状況 (佐伯市)

(単位：人)

年度	総数	11週以下	12～19週	20～27週	28週以上	分娩後	不詳
平成28年度	402	354	40	4	3	1	-
平成29年度	381	340	37	1	1	1	1
平成30年度	382	350	27	3	2	-	-

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(2) 乳児健康診査 (佐伯市)

ア 乳児健康診査実施状況

(単位：回、人、%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数*	受診率	受診者内訳					
					異常を認めず		異常あり			
					異常を認めず	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
平成28年度	34	471	457	97.0	309	64	23	7	2	52
平成29年度	33	400	389	97.3	248	62	16	7	7	49
平成30年度	30	388	374	96.4	244	47	14	1	7	61

資料：母子保健情報システム

※佐伯市が実施した集団健診の受診者

イ 乳児健康診査異常あり内訳 (延べ数)

(平成30年度) (単位：人)

分類	総数	身体的発育異常	精神発達障がい	けいれん	運動発達異常	斜視	聴覚異常	筋緊張	感覚器の異常	その他の神経疾患	血液疾患	湿疹	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	股関節	斜頸	循環器疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	停留丸	その他泌尿器疾患	先天性代謝異常	先天性形態異常	染色体異常	育児環境上の問題	その他	
																											市町村名
佐伯市	23	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	3

資料：母子保健情報システム

(3) 1歳6か月児健康診査（佐伯市）

ア 1歳6か月児健康診査実施状況

(単位：人、%)

	対象者数	受診者数※	受診率	受診者内訳											
				異常を認めず				異常あり							
				異常を認めず		要指導		要経過観察		要精密		要医療		治療中	
				人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
平成28年度	463	460	99.4	218	47.4	94	20.4	107	23.3	5	1.1	-	-	36	7.8
平成29年度	451	438	97.1	198	45.2	76	17.4	128	29.2	7	1.6	1	0.2	28	6.4
平成30年度	411	403	98.1	178	44.2	83	20.6	105	26.1	8	2.0	1	0.2	28	6.9

資料：母子保健情報システム

※佐伯市が実施した集団健診の受診者

イ 1歳6か月児健康診査異常あり内訳（延べ数）

(平成30年度) (単位：人)

分類	総数	低身長	発育の身体的異常	精神発達遅滞	言語発達遅滞	四肢骨格系異常	熱性けいれん	運動機能異常	視覚異常	聴覚異常	その他の神経	血液疾患	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	循環器疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	停留嚥丸	その他泌尿器疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	育児環境上の問題	その他	
市町村名																									
佐伯市	131	2	-	3	80	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	25	16	-	

資料：母子保健情報システム

(4) 3歳児健康診査（佐伯市）

ア 3歳児健康診査実施状況

(単位：人、%)

	対象者数	受診者数※	受診率	受診者内訳											
				異常を認めず				異常あり							
				異常を認めず		要指導		要経過観察		要精密		要医療		治療中	
				人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
平成28年度	486	478	98.4	223	46.7	43	9.0	101	21.1	78	16.3	1	0.2	32	6.7
平成29年度	503	495	98.4	208	42.0	37	7.5	126	25.5	95	19.2	1	0.2	28	5.7
平成30年度	469	467	99.6	169	36.2	59	12.6	119	25.5	94	20.1	1	0.2	25	5.4

資料：母子保健情報システム

※佐伯市が実施した集団健診の受診者

イ 3歳児健康診査異常あり内訳（延べ数）

(平成30年度) (単位：人)

分類	総数	低身長	発育の身体的異常	精神発達遅滞	言語発達遅滞	四肢骨格系異常	熱性けいれん	運動機能異常	視覚異常	聴覚異常	その他の神経	血液疾患	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	循環器疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	停留嚥丸	検尿異常	その他泌尿器疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	育児環境上の問題	その他
市町村名																									
佐伯市	272	-	-	10	13	1	-	1	87	5	-	-	-	-	-	1	-	-	101	1	-	-	43	9	-

資料：母子保健情報システム

(5) 母子保健に関する教室の開催状況（佐伯市）

(単位：回、人)

	思春期・未婚女性学級		婚前・新婚学級		両（母）親学級		育児学級		その他	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
平成28年度	5	253	—	—	—	—	8	104	47	839
平成29年度	1	49	—	—	—	—	1	20	43	877
平成30年度	—	—	—	—	—	—	2	13	47	640

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(6) 母子保健指導状況

(単位：人)

		訪問指導														電話相談
		妊婦		産婦		新生児		未熟児		乳児		幼児		その他		
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	
平成28年度	佐伯市	9	22	376	401	58	62	15	37	384	384	146	256	30	54	1,922
	南部保健所	—	—	3	8	—	—	—	—	1	1	—	—	5	16	119
平成29年度	佐伯市	26	37	386	421	55	56	11	13	347	384	86	178	15	28	1,645
	南部保健所	—	—	3	3	—	—	—	—	3	3	—	—	5	10	156
平成30年度	佐伯市	9	52	369	393	36	37	10	11	323	353	126	235	26	32	2,858
	南部保健所	—	—	1	1	—	—	—	—	1	1	—	—	8	21	192

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(7) 乳幼児発達相談実施状況

巡回療育相談

医師、作業療法士、言語聴覚士、保育士による巡回療育相談を行い、支援が必要な児の早期発見、早期療育等に努めている。

ア 相談状況

(単位：人)

	回数	実人員	延人員
平成28年度	7	73	96
平成29年度	8	68	97
平成30年度	9	79	101

イ 結果分類

(平成30年度) (単位：人)

	総数	異常なし	要指導	経過観察	要医療
総数	101	7	17	50	27
運動発達の問題	3	—	—	1	2
精神発達の問題	1	—	—	—	1
言語発達の問題	27	3	6	9	9
情緒・行動の問題	70	4	11	40	15

(8) 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数

(単位：人)

	総 数	悪 性 新 生 物 患 者	慢 性 腎 疾 患 者	慢 性 呼 吸 器 患 者	慢 性 心 疾 患 者	内 分 泌 疾 患 者	膠 原 病	糖 尿 病	代 謝 天 異 常 性	血 液 疾 患 者	免 疫 疾 患 者	神 経 ・ 筋 疾 患 者	慢 性 消 化 器 疾 患 者 群	遺 染 色 体 又 は 変 化 に 伴 う 疾 患 者 群	皮 膚 疾 患 者	骨 系 統 疾 患 者 群	脈 管 系 疾 患 者 群
平成28年度	70	12	13	-	8	15	1	7	3	-	2	5	3	1	-		
平成29年度	69	9	14	-	9	15	1	6	3	-	1	6	4	1	-		
平成30年度	70	8	13	-	10	16	-	4	3	-	2	7	5	1	-	1	-

資料：南部保健所調べ ※平成27年1月1日～「児童福祉法の一部を改正する法律」が施行され新たな制度が変わった。
※平成30年4月1日～ 骨系統疾患群・脈管系疾患群が追加された。

(9) 育成医療給付状況

(単位：件)

	総 数	不 自 由 体	障 視 が い 覚	機 能 障 が 平 衡	聴 覚 障 が い	音 声 言 語 ・ 咀 嚼 機 能 障 が い	心 臓 機 能 障 が い	腎 臓 機 能 障 が い	そ の 他 内 臓 機 能 障 が い	全 体 的 に よ る 機 能 不 全	ヒ ト の 免 疫 不 全	小 腸 機 能 障 が い	肝 臓 機 能 障 が い
平成28年度	20	2	1	-	12	3	-	2	-	-	-	-	-
平成29年度	17	2	-	-	11	4	-	-	-	-	-	-	-
平成30年度	16	-	-	2	12	-	-	2	-	-	-	-	-

資料：南部保健所調べ

注：総数は延べ数

(10) 未熟児養育医療給付状況

(単位：件)

	総 数	1,000g 未 満	1,000g～ 1,500g 未 満	1,500g～ 1,800g 未 満	1,800g～ 2,000g 未 満	2,000g～ 2,300g 未 満	2,300g～ 2,500g 未 満	2,500g 以 上
平成28年度	14	1	3	3	4	2	-	1
平成29年度	17	1	2	1	6	2	-	5
平成30年度	10	2	2	1	1	1	2	1

資料：南部保健所調べ

(11) 特定不妊治療費等助成事業にかかる助成金の給付状況

平成28年度	62件
平成29年度	60件
平成30年度	55件

(12) 母子保健地域強化推進事業

全ての妊婦や産婦、育児中の母親が、健やかで安心した妊娠生活や子育て期間を送ることができるよう、母子健康手帳交付の時点からスタートに、各ライフステージにおいて、適切な情報収集とタイムリーな情報提供を行っている。また、支援が必要な母子に対して、医療・保健・福祉・教育の連携により、適切なフォローアップと育児不安・ストレスの軽減を図り、児童虐待の発生を予防するためのシステムの構築を推進している。

ア 「ヘルシースタートおおいた」南部地域推進専門部会

(平成30年度)

開催日	参加者	検討内容及び議題
平成30年 11月30日	南部地域推進専門部会委員 16人	1. ヘルシースタートおおいた推進委員会 (H30.10.30) の報告 2. 母と子のメンタルヘルスフォーラムの報告 3. 母子保健施策を通じた児童虐待防止法の推進について 4. 事例を通じた地域の支援体制についての検討 1) 実践事例紹介 2) 地域支援体制について意見交換

イ 母子保健に関する連絡会議

(平成30年度)

開催月日	検討内容	参加者
平成30年 4月17日	1 母子保健連絡会について (位置づけ等の確認) 2 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 3 関連事業について	市健康増進課保健師 6人 保健所保健師 2人 計8人
5月14日	1 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 第1回保健師・助産師連絡会の開催について 3 ペアレントプログラム推進事業について 4 関連事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
6月11日	1 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 第1回保健師・助産師連絡会について 3 関連事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
7月9日	1 事例検討会 2 関連事業について	市健康増進課保健師 4人 市西部分室保健師 1人 保健所保健師 2人 計7人
8月13日	1 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 第1回保健師・助産師連絡会について 3 児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策について 4 関連事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
9月10日	1 連絡票・未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 ヘルシースタートおおいた南部地域推進専門部会 3 関連事業	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
10月15日	1 連絡票・未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 ヘルシースタートおおいた南部地域推進専門部会について 3 心の診療ネットワーク推進事業地域研修会について 4 ペアレントプログラムについて 5 関連事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
11月12日	1 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 産後ケア事業について 3 子育て包括支援センターについて 4 第2回保健師・助産師連絡会について 5 関連事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
12月10日	1 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 ヘルシースタートおおいた南部地域推進専門部会について 3 第2回保健師・助産師連絡会について 4 関連事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
平成31年 1月15日	1 連絡票・未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 保健師・助産師連絡会の開催について 3 関連事業	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
2月20日	1 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 2 情報共有 3 関連事業	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
3月13日	1 事例検討会 2 未熟児等受管理台帳等ケースの共有 3 妊産婦メンタルヘルスのスクリーニングに関する留意点 4 障がい児等地域療育支援事業について	市健康増進課保健師 5人 市南部分室保健師 1人 保健所保健師 2人 計8人

ウ 保健師・助産師連絡会

(平成30年度)

開催月日	検討内容	参加者
平成30年 7月30日	1 ハイリスク妊産婦等の支援体制の検討 2 災害対策の進捗状況 3 今後の『保健師・助産師連絡会』の方針について 4 情報提供	保健師 9人 助産師 3人 計12人
平成31年 2月13日	1 情報共有・意見交換 (1) 助産師と保健師の連携強化に向けた情報共有 (2) 妊産婦等の災害対策について 2 情報提供	保健師 10人 助産師 2人 計12人

(13) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病や障がい等により長期に療養が必要な児の自立や成長発達を促すとともに、養育者等が抱える悩みや不安を軽減する。また、小児慢性特定疾病児童等の長期療養児の支援に関わる関係者（保健・医療・福祉・教育等）との連携を強化し、地域における支援体制の充実を図る。

ア 療育相談指導事業（個別）

慢性疾患や障がい等により長期に療養が必要な児に関する事、養育者の悩みや不安等に関する相談に家庭訪問、面接、電話等の方法で実施した。

（平成30年度、単位：人）

相談区分	小児慢性特定疾病児童	その他長期療養児童	総数
相談種別			
電話	127	3	130
面接	33	0	33
訪問	19	1	20

資料：南部保健所調べ

注：延人員

イ 巡回相談指導事業

小児慢性特定疾病児童等の支援に関わる関係者（医療・保健・福祉・教育等）との連携を強化し、療育支援の必要な児童とその療育者に対し、児童の特性を踏まえた支援の検討を行った。

開催日	平成30年8月30日
開催場所	ケース自宅
内容	口腔環境の変化に対し、歯科医師の訪問により児の特性に応じた支援方法を検討した ・口腔内アセスメント ・保護者の相談に対するアドバイス
参加者	小児慢性特定疾病児童、保護者、歯科医師、訪問看護師、保健所保健師

ウ 小児慢性特定疾病児童等支援関係者地域連携ケース会議

児及びその養育者を支える関係者（保健・医療・福祉・教育等）と連携、事例検討会や研修会等を実施し、地域療育の人材育成及び支援体制の充実を図った。

開催日	平成30年9月19日
開催場所	南部保健所2階 会議室
内容	小児慢性特定疾病児童等巡回相談指導結果の共有 摂食嚥下・口腔ケアに関する支援方法の検討 各関係機関での支援状況の共有と今後の支援方針の検討 助言者：医療法人 鶴岡クリニック 院長（歯科・歯科口腔外科）森崎 重規 氏
参加者	保護者、歯科医師、訪問看護師、相談支援事業所相談員、放課後等デイサービス事業所担当者、支援学校担任教諭、保健所保健師

開催日	平成30年12月19日
開催場所	南部保健所2階 会議室
内容	緊急時等の対応について 各関係機関での支援状況の共有と今後の支援方針の検討
参加者	保護者、訪問看護師、相談支援事業所相談員、作業療法士、支援学校担任教諭 保健所保健師

エ 小児慢性特定疾病等自立支援員による出張相談会

小児慢性特定疾病児童等とその家族が、進学や就職等の進路に関する悩みや日常生活での不安等について相談できる機会を設け、小児慢性特定疾病児童等自立支援員等との個別相談により適切な療養生活の確保や情報提供等による自立に向けた支援を行った。

開催日	平成30年12月26日
開催場所	南部保健所1階 福祉相談室
内容	小児慢性特定疾病児童等自立支援員と保健師による個別相談
参加者	小児慢性特定疾病児童の保護者

4 健康増進

21世紀における健康づくり運動として展開されている「健康日本21」を受け、大分県では「生涯健康県おおいた21」の推進を図っている。県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、個人の健康づくりを社会全体で支援することで、生涯を通じて健康で活力ある人生を送ることができる社会の実現をめざしている。

更に、平成27年度から平成36年度までの10年間の県行政の道しるべとなる大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」において、「健康寿命日本一」を目標に掲げ、健康寿命の延伸に向けた対策を展開している。

また、大分県医療計画の推進の中で、5疾病5事業に絡む事業に関して、関係機関と地域の課題を共有しながら、糖尿病重症化予防の推進等に取り組んでいる。

(1) 「生涯健康県おおいた21」推進事業

ア 健康応援団事業の推進

県民健康づくり計画「生涯健康県おおいた21」を実現するため、県民の健康づくりを支援する食と受動喫煙対策の環境整備を図っており、県民の生活に関連の深い事業所（店舗）を「生涯健康県おおいた21」推進事業所（健康応援団）として登録している。

さらに、平成26年度からは、経営者が中心となり従業員の健康づくりを推進する事業所を増加させることを目的に健康経営事業所の登録を募集し、認定を行っている。

平成30年度末現在、管内では「食の環境整備」部門で18店舗、「受動喫煙対策」部門で59事業所が登録している。また、「健康経営推進」部門で114事業所が登録し、37事業所が認定されている。

(2) 地域・職域健康づくり推進事業

地域・職域が連携して情報交換や地域の健康課題の把握を行い、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備できるようにするため検討会や実務者会議を開催している。

ア 地域・職域健康づくり推進会議

実施月日	内 容	参加機関
平成30年 10月10日	1 地域の健康課題及び働き盛りの健康実態 1) 地域の健康課題について 2) 働き盛りの健康実態について 2 働き盛りの健康支援の取り組みと課題 3 意見交換 「地域の健康課題解決と働き盛りの健康支援体制の整備に向けて」	佐伯商工会議所、佐伯市番匠商工会、佐伯市あまべ商工会、佐伯市医師会健診センター、南海医療センター健康管理センター、長門記念病院健康管理室、佐伯市医師会、全国健康保険協会大分支部、県南地域産業保健センター、佐伯労働基準監督署、佐伯市、南部振興局、南部保健所 20人

イ 県南地域・地域職域連携情報交換会

実施月日	内 容	参加機関
平成30年 6月14日	1 働き盛りの健康づくりに関連した取り組み 2 効果的な健康づくり支援に向けて連携可能な取り組みと調整	県南地域産業保健センター、佐伯労働基準監督署、中部保健所、南部保健所 6人

ウ 事業所応援連絡会議

実施月日	内 容	参加機関
平成30年 7月4日	1 各機関における健康づくり事業・健康支援の取組、協働事業について 2 平成30年度版お役立ち情報について 3 平成30年度第1回健康経営事業所応援セミナー打ち合わせ	全国健康保険協会大分支部、大分産業保健総合支援センター、県南地域産業保健センター、佐伯労働基準監督署、佐伯市、南部保健所 7人

(3) たばこ対策促進事業

未成年者や青壮年期の受動喫煙防止対策等について、地域の関係者と連携したたばこ対策の推進を図るため開催した。

実施月日	内 容	参加者
平成30年 5月12日	「看護の日」普及啓発事業において 受動喫煙防止普及啓発用ポケットティッシュ配布	トキハインダストリー佐伯店・ サンリブさいき店・道の駅やよ いに来店した一般住民 900人
平成30年 8月28日	【健康経営事業所パワーアップ研修会 ～受動喫煙防止対策編】 1 健康経営の取組と地域の健康課題（南部保健所） 2 講話「喫煙が身体におよぼす影響と禁煙支援」 講師：佐伯市薬剤師会 薬剤師 梅田啓子氏 3 個別相談	特別養護老人ホーム直川苑 従業員 23人
平成31年 3月15日	【健康経営事業所パワーアップ研修会 ～受動喫煙防止対策編】 1 健康経営の取組と地域の健康課題（南部保健所） 2 講話「喫煙が身体におよぼす影響と禁煙支援」 講師：佐伯市薬剤師会 薬剤師 梅田啓子氏 3 個別相談	株式会社 寿工業 従業員 7人

(4) みんなで進める健康づくり事業

健康寿命日本一を目指し、これまでの取組に加え、未行動層や無関心層への対策を強化している。また、事業所や団体等に対して講話等を行った。

実施月日	内 容	参加者
平成30年 11月30日	講話「健康寿命日本一を目指して ～こころとからだの健康管理～」 場所：三余館	佐伯広域森林組合 組合員200人
平成31年 1月4日	講話「がん検診のすすめ」ほか 場所：株式会社 谷川建設工業	谷川建設工業 従業員 60人

(5) 健康経営事業所への支援

健康経営登録事業所43事業所（延68回）を訪問し、取組状況の確認や認定に向けた支援を行った。また、応援セミナーの開催や、健康情報提供を行った。

ア 健康経営事業所応援セミナー

実施月日	内 容	参加者
平成30年 7月11日	1 佐伯市の健康経営事業所の状況 2 職場の健康づくりお得情報のお知らせ 3 実践報告 「健康経営に関する取り組み」 報告者：タナベ環境工学株式会社（大分市） 4 情報交換 「職場での健康経営の理解と実践に向けて」	事業所担当者等 22人 関係機関5人
平成30年 11月20日	1 実践報告 「事業所ぐるみの健康づくり ～受動喫煙防止対策の出前講座を実施して～」 報告者：特別養護老人ホーム直川苑 2 講話・実技 「職場における腰痛予防」 講師：大分県理学療法士協会 理学療法士 前田泰明氏 3 意見交換 「健康経営のステップアップ [®] に向けて ～あなたの事業所のめざす健康経営～」 4 健康寿命日本一おうえん企業の取組 大分県信用組合 佐伯支店	事業所担当者等 21人 関係機関7人

イ 南部保健所版健康経営サポートニュースの発行（年4回）

健康経営事業所の質の向上を目指し、健康経営事業所での出前講座や健康経営事業所応援セミナーの取組などの情報を発信した。

5 歯科口腔保健

管内のむし歯の保有状況は、平成30年度は1歳6か月児で一人平均0.03本(平成29年0.03本)、3歳児で0.68本(平成29年0.76本)と、3歳児の一人当たりむし歯数は、やや減少した。また、むし歯の多い児と少ない児の両極化が進んでいる。

よい歯でよく噛んで食べることは、健康な体をつくるための出発点であり、80歳になっても20本以上自分の歯を保つ「豊の国8020(ハチマル・ニイマル)運動を推進し、生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを行っている。

(1) 地域歯科保健検討会

歯科保健の向上を図るため、歯科保健関係者により、ライフステージにそった管内の歯科保健の現状や課題を共有した。

また、職場ぐるみの健康づくり推進に向けた歯科保健を含む職場ぐるみの健康づくりについて検討を行った。

開催月日	内容	参加者
平成31年 1月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1 大分県の歯科保健事業 2 佐伯市の歯科保健事業 3 佐伯市歯科医師会からの報告 4 意見交換 5 講話「医療費(社会保障費)増をいかに押さえるか」 講師：歯科医師 会長 戸高勝之氏 <p>※地域保健委員会歯科保健対策小委員会と合同開催</p>	佐伯市歯科医師会・県歯科衛生士会・佐伯市老人クラブ連合会・佐伯市薬剤師会・佐伯市学校保健会・佐伯市教育委員会・佐伯市PTA連合会・公立保育所長会・佐伯市・南部保健所 15人
平成31年 3月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1 青壮年期における歯科保健対策等の取組について 南部保健所・佐伯市健康増進課 2 意見交換 「働き盛り世代の健康づくりに向けた環境整備 ～従業員とともに取り組む健康づくり～」 	佐伯市歯科医師会・県歯科衛生士会・事業所健康管理担当者・佐伯市・南部保健所 10人

(2) 地域歯科保健研修会

大分県歯科口腔保健計画(改訂版)に基づき、青壮年期への歯科保健医療体制の充実を図るため、関係者研修会や市内事業所と連携した研修会を開催し、予防の重要性を確認した。

実施月日	場所	内容	参加者
平成30年 11月22日	株式会社 ケーブルテレビ 佐伯	【健康経営事業所パワーアップ研修会 ～歯科保健対策編】 1 講話「口腔ケアは健康習慣の第一歩 ～今日からできる口腔ケア習慣～」 実技 「正しいブラッシング・フッ化物洗口体験」 講師：大分県歯科衛生士会 歯科衛生士 多田啓子氏	従業員 31人
平成31年 2月14日	有限会社白ゆり 有料老人ホーム 白ゆり	2 情報提供 健康経営や地域の健康課題について ①佐伯市の歯周病検診を紹介 ②大分県における健康経営の取り組み ③地域課題について～がん検診のすすめ～	従業員 15人

(3) 高齢者のよい歯のコンクール

健康で活力ある人生を送るため、80歳で20本以上の自分の歯を保つことは食物の咀嚼を容易にするとともに健康の保持増進に重要である。

満80歳以上で自分の歯を20本以上保持している方に対して、口腔診査及び全身の健康診査を行い佐伯市の代表者1人を選出し、大分県歯科医師会に推薦している。

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30
80歳以上	8	6	8	2	5	7	4	3

(4) 親と子のよい歯のコンクール

乳幼児期からの歯科保健の重要性を啓発する目的で実施されている。

前年度の3歳児歯科健康診査を受診した子とその親で優秀な方に対して口腔診査及び全身の健康診査を行い、最も優秀な親子1組を佐伯市の代表として選出し、推薦している。

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30
参加親子(組)	9	9	8	10	8	11	10	10

(5) 1歳6か月児歯科健康診査実施状況

	対象者数	受診者数	むし歯の型別分類						むし歯の総数(本)	むし歯の保有率(%)	一人当りむし歯数(本)	口腔組織疾患等	その他の要指導
			総数	01型	02型	A型	B型	C型					
平成28年度	463	458	458	430	22	6	-	-	24	1.31	0.05	18	52
平成29年度	451	438	438	406	27	5	-	-	11	1.14	0.03	12	42
平成30年度	411	403	403	367	31	5	-	-	12	1.24	0.03	5	35

資料：「母子保健情報システム」

(6) 3歳児歯科健康診査実施状況

	対象者数	受診者数	むし歯の型別分類						むし歯の総数(本)	むし歯の保有率(%)	一人当りむし歯数(本)	口腔組織疾患等	その他の要指導
			総数	O型	A型	B型	C1型	C2型					
平成28年度	486	478	478	360	75	34	1	8	443	24.7	0.93	4	118
平成29年度	503	495	495	390	71	23	3	8	377	21.2	0.76	7	76
平成30年度	469	467	467	380	58	26	1	2	319	18.6	0.68	2	77

資料：「母子保健情報システム」

6 食育・栄養改善

(1) 食育推進

教育、農林水産業、保健など様々な関係者が、それぞれの専門性を活かしながら食育に関する課題を共有し、連携協力することにより、県民に適切な働きかけや支援を行い、総合的な食育の推進を図る。

1) 南部地域食育推進連絡協議会

南部地域における食育関係機関の連携と協力体制を整備し、地域での食育の推進、活性化を図ることを目的に平成20年度に協議会を設置し、協働して地域の食育活動を支援している。

2) 食育普及啓発活動

(平成30年度)

実施日	場 所	内 容	連携機関・団体	対象者
平成30年6月19日	大分県立 佐伯豊南高等学校	食育月間キャンペーンとして、のぼりを設置し、ポケットティッシュや野菜摂取についてのチラシ、野菜の種を配布した。	佐伯市 佐伯市食生活改善推進協議会	高校生 350人

3) 地域食育総合窓口相談状況

(平成30年度)

件 数	
13	地域における食育活動を支援するため、地域食育総合窓口として食に関する相談に応じた。

4) 「おおいた食育人材バンク」登録人材派遣事業

(平成30年度)

件 数	
14	地域における食育活動を活性化するため、食育に関する知識や経験を有する登録者を要望に応じて派遣した。

(2) 特定給食施設等の指導

特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設を対象に、給食従事者の知識と技術の向上を目的とした研修や助言・指導を行った。

1) 給食施設の状況

(単位：か所、人)

(平成30年度末現在)

区分	管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設数	調理師のいる施設		調理師のいない施設数	
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数		
① 指定施設	総数	-	-	2	7	8	-	-	-	2	13	-
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	-	-	2	7	8	-	-	-	2	13	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1回30食以上又は1日750食以上 (指定施設①を除く) ②	総数	3	3	1	1	1	4	7	-	8	49	-
	学校	3	3	1	1	1	4	7	-	8	49	-
	病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1回100食以上又は1日250食以上 (①、②を除く)	総数	2	2	8	19	21	5	6	2	14	42	3
	学校	1	1	-	-	-	3	3	1	3	8	2
	病院	-	-	3	11	10	-	-	-	3	12	-
	介護老人保健施設	-	-	4	7	10	-	-	-	3	17	1
	老人福祉施設	1	1	1	1	1	-	-	-	2	2	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	1	2	1	2	2	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の給食施設	総数	7	7	5	5	5	16	18	27	43	75	12
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	1	1	2	2	2	-	-	-	3	4	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	3	3	2	2	2	3	3	1	8	13	1
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	4	5	16	16	32	4
	社会福祉施設	1	1	1	1	1	4	5	1	4	8	3
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	2	-	-	-	5	5	9	12	18	4

資料：南部保健所調べ

2) 給食施設助言・指導状況

(平成30年度末現在)

区分	指定施設			指定施設以外の特定給食施設			その他の給食施設		
	集団		個別	集団		個別	集団		個別
	回数	延べ施設数	延べ施設数	回数	延べ施設数	延べ施設数	回数	延べ施設数	延べ施設数
総数		3	2		52	7		127	18
学校	-	-	-	4	14	-	-	-	-
病院	3	3	2	4	10	3	3	4	3
介護老人保健施設	-	-	-	4	11	1	-	-	-
老人福祉施設	-	-	-	4	8	1	4	12	-
児童福祉施設	-	-	-	6	9	2	7	82	15
社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	4	15	-
事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	4	14	-

資料：南部保健所調べ

(3) 食品の表示等に対する指導

食品表示法第4条第1項（保健事項）、健康増進法第31条（虚偽・誇大広告等の禁止）に基づき、業者及び消費者に対し、指導及び普及啓発を行った。

(平成30年度)

	合同立入回数 (調査食品数)	指導件数		相談件数		普及啓発 (延人数)
		食品表示法 (保健事項)	健康増進法	食品表示法 (保健事項)	健康増進法	
佐伯市	4回 (280食品)	7件	23件	11件	1件	5回 (16人)

資料：南部保健所調べ

(4) 人材・組織育成、研修会

1) 公衆栄養担当者研修会

地域における公衆栄養活動推進のため、資質の向上と相互の連携を目的とした研修会を開催した。

(平成30年度)

開催日	場所	内容	参加者数
平成30年4月4日	南部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ①高齢期の食生活について ②離乳食について ③食事管理の大切さについて 	8人
平成30年7月2日	南部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習 「血糖コントロールをサポートする食事」 情報提供 	8人
平成31年1月21日	南部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ①特定健診の栄養指導について ②食育講話について ③高齢者サロンの講話について ④栄養指導時のポイントについて I 	9人
平成31年3月4日	南部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ①食物アレルギーについて ②親子教室について ③栄養指導時のポイントについて II 	8人

2) 管内栄養士研修会

給食施設に従事する管理栄養士・栄養士並びに行政栄養士等を対象に、知識や技術の研鑽と情報交換を目的とした研修会を開催した。

(平成30年度)

開催日	場 所	内 容	参加者数
平成30年5月28日	佐伯総合庁舎	○食品衛生講習 南部保健所衛生課食品衛生・薬事班 ○「困難事例の対応について」 南部保健所 管理栄養士 ○今年度の研修内容について	48人
平成30年9月11日	佐伯総合庁舎	○事例発表 「治療中断歴のある高齢者糖尿病患者への療養指導の一例」 佐伯中央病院 管理栄養士 「褥瘡治癒のための食事3例」 特別養護老人ホーム直川苑 管理栄養士 ○「知って納得、糖尿病食のABC」 南部保健所 管理栄養士	28人
平成30年11月27日	佐伯総合庁舎	○事例発表 「慢性膵炎患者への療養指導の一例」 御手洗病院 管理栄養士 「当施設での栄養ケアマネジメントの取り組み」 介護老人保健施設 鶴望野 管理栄養士 ○「ノロウイルス食中毒予防について」 南部保健所 管理栄養士	25人
平成31年2月26日	佐伯総合庁舎	○事例発表 「糖尿病患者への食事指導の一例」 塩月内科小児科医院 管理栄養士 「佐伯市の健康づくり事業」 佐伯市健康増進課 管理栄養士 ○「人をひきつける資料の作り方から栄養指導まで」 南部保健所 管理栄養士 ○来年度の研修内容について	27人

3) 保育所給食研修会

保育所給食における栄養・衛生管理の充実や食育推進のため、給食担当者を対象とした研修会を開催した。

(平成30年度)

開催回数	場 所	内 容	施設数
6回	南部保健所	栄養管理、食品衛生、食育、行事食の調理実習、監査講評、食育計画作成、情報交換 等	21

4) 食生活改善推進協議会

食を通じた地域の健康づくりを展開しているボランティア組織で、その活動を支援している。

(平成30年度)

	支部数	会員数 (人)
佐 伯 市	7	220

資料：南部保健所調べ

(5) うま塩メニュー提供店・健康応援団

食を通じた健康づくりを推進するため、健康づくりの情報提供や野菜たっぷりメニューなどを提供する「健康応援団」の登録と、1食あたり食塩3g未満の食事を提供する「うま塩メニュー提供店」の認定を行い県民への周知を図った。

(平成30年度)

	健康応援団	うま塩メニュー提供店
佐 伯 市	18店舗 (前年比+1店舗)	5店舗 (前年比+2店舗)

7 生活習慣病対策

(1) 高齢者の医療の確保に関する法律の規定による特定健康診査（国民健康保険）

平成28年の医療制度改革において「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正され、医療保険者に40歳以上74歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導が義務づけされた。

(年度)

佐伯市	特定健康診査				特定保健指導								
	対象者数(A) *1	受診者数(B) *2	評価対象者数(C)	受診率(%) =(B)/(A)*100	対象者数			(E)/(C)*100	終了者			実施率(%) =(F)/(E)*100	
					総数(E)	動機付け支援	積極的支援		総数(F)	動機付け支援	積極的支援		
27	15,815	6,172	6,172	39.0%	689	534	155	11.2%	591	474	117	85.8%	
28	15,067	6,372	6,372	42.3%	687	522	165	10.8%	556	437	119	80.9%	
29	14,340	6,183	6,184	43.1%	614	475	139	9.9%	501	408	93	81.6%	
29年度大分県市町村国保					29年度大分県市町村国保計								

資料：佐伯市調べ 法定報告から

*1：平成29年4月1日から年間を通して加入中の数

*2：*1のなかで平成29年3月31日までに特定健診を受診した数

(2) 健康増進法の規定による健康診査

(単位：人)

佐伯市	対象者数	受診者数	受診率(%)	指導区別実人員				内臓脂肪症候群	
				保健指導非対象	服薬中	動機付け支援	積極的支援	内臓脂肪症候群予備軍	内臓脂肪症候群該当者
29	939	97	10.3	24	18	4	2	9	14
30	880	109	12.4	30	17	4	6	7	20

注：65歳以上の者は積極的支援の対象外で、75歳以上の者は保健指導の対象外のため、指導区別実人員の計は受診者数の計と一致しない。

資料：保健所調べ、佐伯市調べ

(3) がん検診
ア 受診率

(単位:人)

		対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	要精検率 (%)	精密 受診率 (%)	未把握率 (%)	陽性反応 的中度 (%)	がん発見率 (%)
胃	平成29年度	50,155	1,871	5.3	9.0	94.1	0.6	1.2	0.11
	平成30年度	49,833	1,558	4.8					
肺	平成29年度	50,155	4,930	9.8	1.5	86.3	4.1	4.1	0.06
	平成30年度	49,833	4,930	9.9					
大腸	平成29年度	50,155	3,970	7.9	6.8	80.6	2.8	3.6	0.23
	平成30年度	49,833	3,650	7.3					
子宮	平成29年度	33,711	3,579	14.7	2.0	97.3	1.4	4.1	0.08
	平成30年度	33,251	4,496	18.0					
乳	平成29年度	27,940	3,785	17.9	7.4	91.1	0.4	1.8	0.13
	平成30年度	27,743	3,586	18.5					

資料: 南部保健所調べ、佐伯市調べ

注1: 胃がん、子宮がん、乳がん検診受診率算出

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100

注2: 平成29年度がん検診の受診者数は確定数を計上。

注3: 胃がんは「胃部エックス線検査」と「胃内視鏡検査」の合計値、子宮がんは「頸部がん」、乳がんは「マンモグラフィ」の値

注4: 所報では40歳以上の全年齢(子宮がんは20歳以上)を対象として受診率を算出。

イ 各がん検診の受診状況(平成30年度)

(ア) 胃がん・大腸がん検診

(単位:人)

	対象者数 (40歳以上)		胃がん検診受診者数(年度中)																	
			胃部エックス線検査				胃内視鏡検査				計				2年連続受診者数					
	集団検診		個別検診		集団検診		個別検診		集団検診		個別検診		集団検診		個別検診		集団検診		個別検診	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
佐伯市	22,090	27,743	624	782	19	42	66	86	133	159	690	868	152	201	452	587	35	45		
(再)国民健康 保険被保険者	4,005	4,484	226	240	6	16	26	27	65	77	252	267	71	93	154	184	17	21		

	対象者数 (40歳以上)		大腸がん検診 受診者数(年度中)			
			集団検診		個別検診	
	男	女	男	女	男	女
佐伯市	22,090	27,743	1,308	2,342	315	543
(再)国民健康 保険被保険者	4,856	5,239	513	776	123	157

資料: 南部保健所調べ、佐伯市調べ

(イ) 肺がん検診(男性)

(単位:人)

	対象者数 (40歳以上)	問診者数		胸部エックス線検査		喀痰細胞診(喀痰細胞診のみ受診は除く)							
				受診者数		喀痰細胞診 対象者数 (胸部エックス線 検査受診者中高 危険群者数)		喀痰容器配布回収状況					
		集団検診		個別検診		集団検診		個別検診		配布数		回収数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
佐伯市	22,090	1,762	266	1,762	266	547	99	105	9	105	8		
(再)国民健康 保険被保険者	4,856			760	130								

資料: 南部保健所調べ、佐伯市調べ

注: 肺がん検診の「(再掲)国民健康保険被保険者」は40~69歳の値

(ウ) 肺がん検診(女性)

(単位:人)

	対象者数 (40歳以上)	問診者数		受診者数		胸部エックス線検査		喀痰細胞診(喀痰細胞診のみ受診は除く)					
						受診者数		喀痰細胞診 対象者数 (胸部エックス線 検査受診者 中高危険群 者数)		喀痰容器配布回収状況			
						集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診
佐伯市	27,743	3,048	436	3,048	436	30	8	4	-	4	-		
(再)国民健康 保険被保険者	5,239			1,029	178								

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

注:肺がん検診の「(再掲)国民健康保険被保険者」は40～69歳の値

(エ) 子宮頸がん検診

(単位:人)

	対象者数 (20歳以上)	受診者数		2年連続受診者数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
20歳以上	33,251	2,638	1,858	1,643	433
(再)国民健康 保険被保険者	6,015	764	429	512	75

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

注:子宮頸がん検診の「(再掲)国民健康保険被保険者」は20～69歳の値

(オ) 乳がん検診(女性)

(単位:人)

	対象者数 (40歳以上)	マンモグラフィ			
		受診者数		2年連続受診者数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
佐伯市	27,743	3,020	566	1,966	227
(再)国民健康 保険被保険者	5,239	910	141	616	71

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

注:乳がん検診の「(再掲)国民健康保険被保険者」は40～69歳の値

(カ) 肝炎検診

(単位:人)

		40歳検診										対象者数
		受診者数			B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診					
		B型	C型	(再掲) B型C型 同時	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤	
佐伯市	40歳検診	44	44	44	0	44	0	0	0	44	0	811
	40歳検診以外 の対象者への 検診	150	150	150	2	148	0	0	0	150	0	

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

注 判定①② :現在C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い
判定③④⑤ :現在C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い

ウ がん検診の精密検査結果(平成29年度精密検査結果)

(ア) 胃がん:胃部エックス線検査(集団検診のみ実施)

(単位:人)

		受診者数	(再)国民健康保険の被保険者(50~69歳)	要精密検査者数	精密検査受診者内訳						未受診	未把握
					異常を認めず	異常を認める			胃がんの疑いのある者または未確定	胃がん以外の疾患であった者(転移性の胃がんを含む)		
						胃がんであった者(転移性を含まない)	胃がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん				
佐伯市	総数	1,725	692	165	28	2	-	-	1	124	9	1
	男性	727	303	67	7	1	-	-	1	55	3	-
	女性	998	389	98	21	1	-	-	-	69	6	1

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

(イ) 胃がん:胃内視鏡検査(集団検診のみ実施)

(単位:人)

		受診者数	(再)国民健康保険の被保険者(50~69歳)	要精密検査者数	精密検査受診者内訳						未受診	未把握
					異常を認めず	異常を認める			胃がんの疑いのある者または未確定	胃がん以外の疾患であった者(転移性の胃がんを含む)		
						胃がんであった者(転移性を含まない)	胃がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん				
佐伯市	総数	146	49	4	-	-	-	-	1	3	-	-
	男性	69	23	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	女性	77	26	3	-	-	-	-	1	2	-	-

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

(ウ) 大腸がん(集団検診のみ実施)

(単位:人)

		受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者内訳									未受診	未把握
				異常を認めず	異常を認める						大腸がん及び膵腫以外の疾患であった者(転移性の膵腫を含む)			
					大腸がんであった者(転移性を含まない)	大腸がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん	大腸がんの疑いのある者又は未確定	膵腫のあった者	最大の膵腫の大きさ別				
										直径10mm以上の膵腫のあった者		直径10mm未満の膵腫のあった者		
佐伯市	総数	3,970	247	59	9	0	0	0	71	0	0	60	41	7
	男性	1,362	102	17	4	0	0	0	37	0	0	18	20	6
	女性	2,608	145	42	5	0	0	0	34	0	0	42	21	1

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

(エ) 肺がん:胸部エックス線検査・喀痰細胞診(集団検診のみ実施)

(単位:人)

		胸部エックス線検査						喀痰細胞診					
		受診者数	判定別人数					回収数	判定別人数				
			A	B	C	D	E		A	B	C	D	E
佐伯市	総数	4,930	-	4,470	350	37	73	86	2	82	2	-	-
	男性	1,771	-	1,593	131	19	28	80	2	76	2	-	-
	女性	3,159	-	2,877	219	18	45	6	-	6	-	-	-

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

【胸部エックス線検査】
 A:「読影不能」
 B:「異常所見を認めない」
 C:「異常所見を認めるが、精査を必要としない」
 D:「異常所見を認め、肺がん以外の疾患で治療を要する状態が考えられる」
 E:「肺がんの疑い」

【喀痰細胞診】
 A:「喀痰中に組織球を認めない」
 B:「正常上皮細胞のみ、基底細胞増生、軽度異型扁平上皮細胞、線毛円柱上皮細胞」
 C:「中等度異型扁平上皮細胞、核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞」
 D:「高度(境界)異型扁平上皮細胞または悪性腫瘍が疑われる細胞を認める」
 E:「悪性腫瘍細胞を認める」

<胸部エックス線検査>

		受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者内訳					未受診	未把握	
				異常認めず	異常を認める			肺がんの疑いのある者または未確定			肺がん以外の疾患であった者(転移性の肺がんを含む)
					肺がんであった者(転移性を含まない)	肺がんのうち臨床病期0~I期					
佐伯市	総数	4,930	73	24	3	-	-	36	7	3	
	男性	1,771	28	10	3	-	-	11	3	1	
	女性	3,159	45	14	-	-	-	25	4	2	

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

<喀痰細胞診>

		受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者内訳					未受診	未把握	
				異常認めず	異常を認める			肺がんの疑いのある者または未確定			肺がん以外の疾患であった者(転移性の肺がんを含む)
					肺がんであった者(転移性を含まない)	肺がんのうち喀痰細胞診のみで発見された者	肺がんのうち臨床病期0~I期				
佐伯市	総数	86	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男性	80	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女性	6	-	-	-	-	-	-	-	-	

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

(オ) 子宮頸がん検診(個別・集団)

(単位:人)

	受診者数	(再掲)国民健康保険の被保険者(20~69歳)	2年連続受診者数	初回検体の適正・不適正		細胞診の判定別人数				
				適正	不適正	精検不	要精検(ASC-US)	要精検(1)	要精検(2)	判定不能
個別健診	771	84	170	771	0	734	23	13	1	-
集団健診	2,808	962	1,786	2,808	0	2,772	14	22	-	-

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

(単位:人)

	要精密検査者数	精密検査受診者内訳									未受診
		異常を認めず	異常を認める								
			子宮頸がんであった者(転移性を含まない)	子宮頸がんのうち微少浸潤がん	CIN3又はAISであった者	CIN2であった者	CIN1であった者	腺異形成であった者	子宮頸がんの疑いのある者又は未確定	子宮頸がん及びCIN(異形成等)以外の疾患であった者(転移性の子宮頸がんを含む)	
個別健診	37	12	-	-	-	2	1	-	7	14	1
集団健診	36	16	3	-	-	-	8	-	-	8	0

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

(カ) 乳がん(女性):マンモグラフィ(個別・集団)

(単位:人)

	受診者数	(再掲)国民健康保険の被保険者(40~69歳)	2年連続受診者数	マンモグラフィの判定別人数					要精密検査者数	精密検査受診者内訳					未受診	未把握	
				カテゴリー1	カテゴリー2	カテゴリー3	カテゴリー4	カテゴリー5		異常を認めず	異常を認める						
											乳がんであった者(転移性を含まない)	乳がんのうち早期がん	早期がんのうち非浸潤がん	乳がんの疑いのある者または未確定			乳がん以外の疾患であった者(転移性の乳がんを含む)
個別健診	536	98	196	441	2	90	2	1	80	38	2	-	-	2	32	6	-
集団健診	3,249	1,148	1,973	2,946	106	181	15	1	200	105	3	-	-	-	73	18	1

資料:南部保健所調べ、佐伯市調べ

注:カテゴリー1~5は以下のとおり

- 注:
- カテゴリー1: 異常なし
 - カテゴリー2: 良性
 - カテゴリー3: 良性、しかし悪性を否定できず
 - カテゴリー4: 悪性の疑い
 - カテゴリー5: 悪性

8 精神保健

精神保健医療は、入院中心の医療から在宅医療中心へと変わり、精神障がい者が地域の中で自立して自分らしく生活していけるように支援することが重要となっている。

平成13年には障害者自立支援法が施行され、さらに、平成25年4月1日からは、自立支援法が障害者総合支援法となって施行され、精神障がい者も知的障がい・身体障がい者と同様により身近な支援は市町村が中心となって担うようになっている。また、平成26年には精神保健福祉法も改正された。

保健所は、地域の専門機関として医療機関や市役所、相談事業所等の関係機関と連携して、精神保健・医療・福祉に関する様々な相談への対応や、警察等からの通報に対する緊急対応を行っている。また、地域の自殺対策や精神障がい者の地域移行支援・地域定着支援を推進するための取り組みも行っている。

(1) 入院・通院患者数

(単位：人)

(平成30年6月30日現在)

	総数 A + B	A 入院患者数					B 通院患者数			人口
		総数	措置	医療保護	任意	その他	総数	自立支援医療	その他	
大分県	37,152	4,596	17	1,967	2,612	0	32,556	13,950	18,606	1,143,795
佐伯市	2,202	272	1	78	193	0	1,930	635	1,295	69,199
(29年6月末)	(1,819)	(253)	(1)	(82)	(170)	(0)	(1,566)	(581)	(985)	70,260
(28年6月末)	(1,753)	(261)	(1)	(85)	(175)	(0)	(1,492)	(620)	(872)	71,258

資料：県障害福祉課

(2) 精神障害者保健福祉手帳交付件数

(単位：件)

(平成30年度末現在)

	総数	1級	2級	3級
大分県	9,695	478	6,666	2,551
佐伯市	487	26	320	141
(平成29年度末)	(466)	(19)	(310)	(137)
(平成28年度末)	(354)	(19)	(295)	(40)

資料：こころとからだの相談支援センター

(3) 精神保健相談実施状況

ア 精神保健相談実施状況

(単位：件)

(平成30年度)

	総 数	電 話	来 所
総 数	1,057	1,001	56
一 般	1,045	993	52
認 知 症	12	8	4

注：数値は延べ数

資料：厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

イ 精神保健相談内容

(単位：件)

(平成30年度)

	総 数	電 話	来 所
総 数	1,057	1,001	56
社 会 復 帰	121	102	19
老 人 精 神 保 健	77	69	8
ア ル コ ー ル	29	25	4
薬 物	-	-	-
ギ ャ ン ブ ル	13	11	2
思 春 期	5	5	-
心 の 健 康 づ くり	717	701	16
摂 食 障 害	-	-	-
て ん か ん	1	-	1
そ の 他	94	88	6
再掲) ひきこもり	28	18	10
再掲) 自死関連	56	51	5
再掲) 自死者遺族	-	-	-
再掲) 犯罪被害	-	-	-
再掲) 災害	-	-	-

注：数値は延べ数

資料：厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

ウ 精神科医による精神保健相談

精神科医による専門相談を毎月予約制で開催。市報で知り、予約する相談者が多い。

(平成30年度)

開催回数	相談総数	男 性	女 性
8回	10件	3件	7件

(4) 精神障がい者社会適応訓練事業（職親）登録事業所

(平成30年度末現在)

登録事業所名	代表者	所在地	委託事業	登録年度	訓練生受入れ人数
大和冷機工業株式会社 九州佐伯工場	尾崎 敦史	佐伯市	環境整備	平成12年度	-
(合) デバン	五島 俊雄	佐伯市	温室内でのトマトの栽培管理・出荷調整	平成19年度	-

(5) 精神障がい者の地域移行・地域定着支援事業

長期入院中で、受け入れ条件が整えば退院可能な精神障がい者の地域移行支援と地域定着支援の推進を目的に、個別支援を行うとともに関係機関との連絡会を持った。また、地域の関係機関の連携強化を目的に、研修会を開催した。

(ア) 精神障がい者地域生活支援実務者研修会	
日時	平成31年3月11日(月) 18:00~19:45
場所	南部振興局4階 大会議室
参加者	29名 医療機関(4)、訪問看護ステーション(7)、相談支援事業所(7)、佐伯市(11)、南部保健所(3)
内容	(1) 説明「精神障がい者の退院後支援について」 南部保健所 (2) 事例紹介「退院支援におけるクライシスプランの作成」 講師：衛藤病院 精神保健福祉士 伊藤 瑛里子 氏 (3) グループワーク・発表 テーマ「病状悪化の予防支援としてクライシスプランを活用するために ～自所属でできること、今後必要なこと～」 助言者：こころとからだの相談支援センター こころの健康課 課長 宇都宮 仁美 氏
(イ) 精神障がい者地域生活支援連絡会議(管理者会議)	
日時	平成31年1月29日(火) 13:30~15:00
場所	佐伯市役所2階 203会議室
参加者	17名 佐伯警察署、佐伯市(社会福祉、障がい福祉、高齢者福祉)、南部保健所
内容	テーマ「精神障がい者の地域生活支援について」 ①精神障がい者の状態悪化の予防支援、②地域の理解促進の取組 (1) 情報交換 各機関の取り組みと連携の実際について (2) 意見交換 今後の取り組みについて

(6) 自殺予防対策強化事業

ア 普及啓発活動

啓発活動の一環として、自殺予防週間（9月10日～9月16日）及び自殺対策強化月間（3月）にあわせて街頭キャンペーン等を実施し、自殺予防の普及啓発を行った。

街頭キャンペーン	
日 時	①平成30年9月13日（木）16:00～17:00 ②平成31年3月5日（火）11:30～12:30
場 所	①サンリブさいき 駐車場 ②まるみやストア野口店・アタックスマート佐伯店 駐車場
対 象	①佐伯市民 約200名 ②佐伯市民 約250名
内 容	自殺予防啓発グッズ等配布（佐伯市相談機関一覧、県相談機関一覧クリアファイル、ポケットティッシュ）、のぼり旗掲示
活動実施者	①3名（保健所1名 佐伯市2名） ②13名（保健所1名 佐伯市1名、障がい者共同サポートセンター11名）

イ アルコール相談

アルコール依存症は、うつ病との関連や自殺のリスクが高いと言われている。アルコール依存からの回復や自殺予防を目的に、自助グループである断酒会と連携して個別相談に応じた。

(7) 地域かかりつけ医精神科医連携会議（精神障がい者支援体制強化検討会）

平成23年度から、佐伯市医師会と共催で開催している。

地域のかかりつけ医には、うつ病はじめ多様な精神疾患や障がい等をもつ者が受診しており、中には地域で生活する上で困りごとや生きづらさを抱えている者もいる。そこで、地域のかかりつけ医と精神科医が連携を強化し、地域の関係者とともに適切な医療の提供や対応等の検討を行い、顔の見える関係を構築し、支援体制強化を図ることを目的に開催した。

実施月日	平成31年2月26日（火）19:00～20:40
場 所	佐伯市医師会館
対 象	佐伯市内の一般かかりつけ医と精神科医、看護職、相談員、ケアマネジャー
参加者数	計42名（医師7名、連携室11名、看護師5名、ケアマネ2名 相談員6名、保健師7名、その他管理者等4名）
内 容	座 長 佐伯市医師会 副会長 長門 仁 氏 助言者 佐伯保養院 院 長 廣瀬 就信 氏 (1) 症例報告：かかりつけ医等の立場から 佐伯診療所 所長 久米行則 氏 (2) 話題提供：行政がかかりつけ医等と連携して対応した事例 大分県南部保健所

(8) こころの健康講座実施状況

ひきこもり対策に取り組んでいる社会福祉協議会や大分県こころとからだの相談支援センター職員と家族の会参加者との顔つなぎや情報提供の機会として開催した。家族が支援機関につながる機会になった。また、「家族自身が元気で生活を楽しむこと」が大事であることを共有した。

精神障がい者支援のスキルアップ研修会	
日 時	平成30年11月27日(火) 13:45~16:00
場 所	南部保健所
参加者	18名 管内地域保健従事者研究会メンバー(保健師)
内 容	1 事例紹介 事例提供者:佐伯市障がい福祉課 2 グループワーク「対象理解に必要な情報、アセスメント」 3 講義「境界性パーソナリティ障害の理解、アセスメントの視点」 講師:大分県こころとからだの相談支援センター

(9) 自殺企図者の通報件数

平成21年10月から警察から文書で通報があった自殺企図者や家族に対して、関係機関と連携し、相談支援を行っている。

(件)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
10	9	3	2	6	14	9	7	6

(10) ケア会議

様々な相談対応の中で、地域の関係機関との連携を図るため、処遇に関するケア会議を開催、または参加して処遇を検討し支援を行った。

主 な 検 討 内 容	件 数
社 会 復 帰	6
教 育 ・ し つ け の 問 題	1
性 格 ・ 行 動 上 の 問 題	9
家 庭 の 問 題	2
酒 ・ 薬 物 の 問 題	1
医 療 に 関 する 問 題	2
総 数	23

<参加機関>

- ・佐伯市役所
- ・佐伯市障がい者相談支援センター
- ・佐伯市指定特定相談支援事業所
- ・医療機関
- ・障がい福祉サービス事業所
- ・学校
- ・自治委員、民生委員 等

(11) ひきこもり支援

家族会主催で行っている定例家族会支援や個別支援等を行っている。平成27年度から大分青少年自立支援センターが支援している。

ニート・ひきこもり家族の会(大分ステップの会佐伯支部)への支援

毎月第1水曜日に、保健所内で定例家族会が開催されている。

実施回数(回)	11	総参加者数(名)	33
---------	----	----------	----

9 難病対策

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、特定疾患については治療がきわめて困難であり、治療費も高額であるため、特定疾患治療研究事業を推進することにより、医療の確立・普及を図るとともに患者の医療費の負担軽減を図っていた。

平成27年1月に、難病の患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び難病の患者の療養生活の質の向上を図り、国民保健の向上を図ることを目的とした「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行された。

難病のうち国が定める基準に該当する医療費助成対象疾患を指定難病と定め、平成30年4月現在331疾患に拡大された(指定難病に移行できなかった5疾患は特定疾患として存続)。

保健所では、患者・家族を支援する目的で、家庭訪問や医療相談会、交流会を実施するとともに、地域における難病患者の在宅療養支援体制を整備するために、支援関係者を対象に支援方針検討会や研修会を実施している。

(1) 医療費等の支援

「難病の患者に対する医療等に関する法律」により指定難病331疾患、特定疾患治療研究事業として5疾患について医療費助成が行われている。

平成31年3月末現在、管内の特定医療費(指定難病)受給者は624人、特定疾患医療受給者は2人である。

ア 特定疾患医療受給者数

(単位:人)

(平成30年度末現在)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
スモ ン (01)	-	-	-	-	-	-	-	-	1
難治性の肝炎のうちの劇症肝炎 (02)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症急性膵炎 (03)	-	-	-	-	-	-	-	-	1
プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。) (04)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症多形浸出性紅斑(急性期) (05)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料:南部保健所調べ

イ 特定医療費（指定難病）受給者数

(単位:人)

(平成30年度末現在)

		合計	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
疾患名		624	0	3	22	43	62	79	140	102	173
球脊髄性筋萎縮症(01)	疾患番号	5	0	0	0	0	1	0	2	2	0
筋萎縮性側索硬化症(02)		4	0	0	0	0	0	1	1	0	2
脊髄性筋萎縮症(03)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原発性側索硬化症(04)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進行性核上性麻痺(05)		4	0	0	0	0	0	0	1	1	2
パーキンソン病(06)		86	0	0	0	0	1	3	16	13	53
大脳皮質基底核変性症(07)		4	0	0	0	0	0	0	0	2	2
ハンチントン病(08)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経有棘赤血球症(09)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャルコー・マリー・トゥース病(10)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症筋無力症(11)		21	0	0	0	0	2	2	7	1	9
先天性筋無力症候群(12)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多発性硬化症／視神経脊髄炎(13)		8	0	0	0	0	1	3	2	2	0
慢性炎症性脱髄性多発神経炎／ 多果性運動ニューロン病(14)		3	0	0	0	0	0	2	0	0	1
封入体筋炎(15)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロー・深瀬症候群(16)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多系統萎縮症(17)		9	0	0	0	0	0	0	3	4	2
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)(18)		16	0	0	0	0	1	2	2	2	9
ライソゾーム病(19)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副腎白質ジストロフィー(20)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミトコンドリア病(21)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もやもや病(22)		6	0	0	0	0	2	1	0	3	0
ブリオン病(23)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亜急性硬化性全脳炎(24)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進行性多巣性白質脳症(25)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HTLV-1関連脊髄症(26)		3	0	0	0	0	0	1	1	0	1
特発性基底核石灰化症(27)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全身性アミロイドーシス(28)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウルリッヒ病(29)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遠位型ミオパチー(30)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベスレムミオパチー(31)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己貪食空胞性ミオパチー(32)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シュワルツ・ヤンペル症候群(33)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経線維腫症(34)		2	0	0	0	1	0	0	0	1	0
天疱瘡(35)		3	0	0	0	0	1	0	0	1	1
表皮水疱症(36)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膿疱性乾癬(汎発型)(37)		3	0	0	1	0	1	1	0	0	0
スティーヴンス・ジョンソン症候群(38)		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
中毒性表皮壊死症(39)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高安動脈炎(40)		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
巨細胞性動脈炎(41)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結節性多発動脈炎(42)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
顕微鏡的多発血管炎(43)		7	0	0	0	0	0	0	1	0	6
多発血管炎性肉芽腫症(44)		3	0	0	0	0	1	0	0	1	1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(45)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪性関節リウマチ(46)		21	0	0	0	1	2	1	10	5	2
パージャー病(47)		1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
原発性抗リン脂質抗体症候群(48)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全身性エリテマトーデス(49)		45	0	0	1	7	6	8	11	4	8
皮膚筋炎／多発性筋炎(50)		20	0	0	0	2	2	3	4	5	4
全身性強皮症(51)		13	0	0	0	1	0	1	5	3	3
混合性結合組織病(52)		7	0	0	0	2	1	0	3	0	1
シェーグレン症候群(53)		15	0	0	0	2	1	4	5	2	1
成人スチル病(54)		3	0	0	1	0	1	0	0	0	1
再発性多発軟骨炎(55)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

	合計	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
ベ一チエツト病(56)	22	0	0	0	3	5	3	7	3	1
特発性拡張型心筋症(57)	6	0	0	0	0	1	2	2	0	1
肥大型心筋症(58)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
拘束型心筋症(59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生不良性貧血(60)	4	0	1	0	0	0	0	0	1	2
自己免疫性溶血性貧血(61)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発作性夜間ヘモグロビン尿症(62)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特発性血小板減少性紫斑病(63)	11	0	0	0	2	0	3	1	1	4
血栓性血小板減少性紫斑病(64)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原発性免疫不全症候群(65)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ig A腎症(66)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多発性嚢胞腎(67)	4	0	0	1	0	1	1	1	0	0
黄色靱帯骨化症(68)	4	0	0	0	0	1	0	0	1	2
後縦靱帯骨化症(69)	49	0	0	0	0	0	4	10	13	22
広範脊柱管狭窄症(70)	17	0	0	0	0	1	3	4	4	5
特発性大腿骨頭壊死症(71)	12	0	0	0	2	2	2	1	2	3
下垂体性ADH分泌異常症(72)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
下垂体性TSH分泌亢進症(73)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下垂体性PRL分泌亢進症(74)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クッシング病(75)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症(76)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症(77)	3	0	0	1	0	0	0	1	1	0
下垂体前葉機能低下症(78)	6	0	0	1	1	0	1	3	0	0
家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)(79)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺ホルモン不応症(80)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性副腎皮質酵素欠損症(81)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性副腎低形成症(82)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アジソン病(83)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルコイドーシス(84)	21	0	0	0	2	1	3	7	3	5
特発性間質性肺炎(85)	9	0	0	0	0	0	2	3	3	1
肺動脈性肺高血圧症(86)	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0
肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症(87)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慢性血栓塞栓性肺高血圧症(88)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンパ脈管筋腫症(89)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
網膜色素変性症(90)	15	0	0	0	0	1	2	5	2	5
バッド・キアリ症候群(91)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特発性門脈圧亢進症(92)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原発性胆汁性胆管炎(93)	5	0	0	0	1	1	0	2	0	1
原発性硬化性胆管炎(94)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己免疫性肝炎(95)	5	0	0	0	0	1	0	3	0	1
クローン病(96)	29	0	1	4	4	6	7	2	3	2
潰瘍性大腸炎(97)	65	0	0	6	10	14	12	10	9	4
好酸球性消化管疾患(98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慢性特発性偽性腸閉塞症(99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症(100)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腸管神経節細胞僅少症(101)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ルビンシュタイン・テイビ症候群(102)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CFC症候群(103)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コステロ症候群(104)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チャージ症候群(105)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリオピリン関連周期熱症候群(106)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全身型若年性特発性関節炎(107)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TNF受容体関連周期性症候群(108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非典型溶血性尿毒症症候群(109)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブラウ症候群(110)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	合計	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
先天性ミオパチー(111)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マリネスコ・シェーグレン症候群(112)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筋ジストロフィー(113)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
非ジストロフィー性ミオトニー症候群(114)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝性周期性四肢麻痺(115)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトピー性脊髄炎(116)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄空洞症(117)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄髄膜瘤(118)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイザックス症候群(119)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝性ジストニア(120)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経フェリチン症(121)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳表ヘモジデリン沈着症(122)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症(123)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症(124)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症(125)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペリーー症候群(126)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前頭側頭葉変性症(127)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ピッカースタッフ脳幹脳炎(128)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痙攣重積型(二相性)急性脳症(129)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性無痛無汗症(130)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレキササンダ一病(131)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性核上性球麻痺(132)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メビウス症候群(133)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群(134)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイカルディ症候群(135)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
片側巨脳症(136)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
限局性皮質異形成(137)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経細胞移動異常症(138)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性大脳白質形成不全症(139)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ドラベ症候群(140)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん(141)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミオクロニー欠神てんかん(142)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん(143)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レノックス・ガスト一症候群(144)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスト症候群(145)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大田原症候群(146)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早期ミオクロニー脳症(147)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん(148)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群(149)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環状20番染色体症候群(150)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラスムッセン脳炎(151)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P C D H 19 関連症候群(152)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難治頻回部分発作重積型急性脳炎(153)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症(154)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ランドウ・クレフナー症候群(155)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レット症候群(156)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタージ・ウェーバー症候群(157)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結節性硬化症(158)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
色素性乾皮症(159)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性魚鱗癬(160)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族性良性慢性天疱瘡(161)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)(162)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
特発性後天性全身性無汗症(163)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼皮膚白皮症(164)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肥厚性皮膚骨膜症(165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	合計	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
弾性線維性仮性黄色腫(166)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マルファン症候群(167)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エーラス・ダンロス症候群(168)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メンケス病(169)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オクシピタル・ホーン症候群(170)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウィルソン病(171)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低ホスファターゼ症(172)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VATER症候群(173)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那須・ハコラ病(174)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウィーバー症候群(175)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コフィン・ローリー症候群(176)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有馬症候群(177)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モワット・ウィルソン症候群(178)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウィリアムズ症候群(179)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ATR-X症候群(180)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クルーゾン症候群(181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アペール症候群(182)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ファイファー症候群(183)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アントレー・ビクスラー症候群(184)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コフィン・シリス症候群(185)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロスムンド・トムソン症候群(186)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歌舞伎症候群(187)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多脾症候群(188)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無脾症候群(189)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鰓耳腎症候群(190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウェルナー症候群(191)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コケイン症候群(192)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラダー・ウィリ症候群(193)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ソトス症候群(194)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヌーナ症候群(195)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヤング・シンプソン症候群(196)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1p36欠失症候群(197)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4p欠失症候群(198)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5p欠失症候群(199)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第14番染色体父親性ダイソミー症候群(200)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アンジェルマン症候群(201)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スマス・マギニス症候群(202)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22q11.2欠失症候群(203)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エマヌエル症候群(204)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脆弱X症候群関連疾患(205)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脆弱X症候群(206)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総動脈幹遺残症(207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修正大血管転位症(208)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
完全大血管転位症(209)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単心室症(210)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左心低形成症候群(211)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三尖弁閉鎖症(212)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症(213)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症(214)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ファロー四徴症(215)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
両大血管右室起始症(216)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エプスタイン病(217)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルポート症候群(218)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギャロウェイ・モワト症候群(219)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急速進行性糸球体腎炎(220)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

	合計	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
抗系球体基底膜腎炎(221)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
一次性ネフロゼ症候群(222)	5	0	0	1	0	0	1	2	1	0
一次性膜性増殖性系球体腎炎(223)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
紫斑病性腎炎(224)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性腎性尿崩症(225)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
間質性膀胱炎(ハンナ型)(226)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オスラー病(227)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
閉塞性細気管支炎(228)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)(229)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺胞低換気症候群(230)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
α1-アンチトリプシン欠乏症(231)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カニ複合(232)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウォルフラム症候群(233)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)(234)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副甲状腺機能低下症(235)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
偽性副甲状腺機能低下症(236)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副腎皮質刺激ホルモン不応症(237)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(238)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビタミンD依存性くる病/骨軟化症(239)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フェニルケトン尿症(240)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高チロシン血症1型(241)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高チロシン血症2型(242)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高チロシン血症3型(243)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メープルシロップ尿症(244)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロピオン酸血症(245)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メチルマロン酸血症(246)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イソ吉草酸血症(247)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グルコーストランスポーター1欠損症(248)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グルタル酸血症1型(249)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グルタル酸血症2型(250)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尿素サイクル異常症(251)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リジン尿性蛋白不耐症(252)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性葉酸吸収不全(253)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポルフィリン症(254)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合カルボキシラーゼ欠損症(255)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筋型糖原病(256)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝型糖原病(257)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症(258)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症(259)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シトステロール血症(260)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タンジール病(261)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原発性高カイロミクロン血症(262)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳髄黄色腫(263)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無βリポタンパク血症(264)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脂肪萎縮症(265)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族性地中海熱(266)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高IgD症候群(267)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中條・西村症候群(268)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群(269)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慢性再発性多発性骨髄炎(270)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強直性脊椎炎(271)	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0
進行性骨化性線維異形成症(272)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肋骨異常を伴う先天性側弯症(273)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨形成不全症(274)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タナトフォリック骨異形成症(275)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	合計	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
軟骨無形成症(276)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンパ管腫症 / ゴーハム病(277)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)(278)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)(279)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)(280)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群(281)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性赤血球形成異常性貧血(282)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後天性赤芽球癆(283)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダイヤモンド・ブラックファン貧血(284)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ファンコニ貧血(285)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝性鉄芽球形貧血(286)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エプスタイン症候群(287)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己免疫性出血病 XIII(288)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クローンカイト・カナダ症候群(289)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非特異性多発性小腸潰瘍症(290)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒルシュブルグ病(全結腸型又は小腸型)(291)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総排泄腔外反症(292)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総排泄腔遺残(293)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性横隔膜ヘルニア(294)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳幼児肝巨大血管腫(295)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆道閉鎖症(296)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アラジール症候群(297)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝性腭炎(298)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嚢胞性線維症(299)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IgG4関連疾患(300)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
黄斑ジストロフィー(301)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レーベル遺伝性視神経症(302)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アッシャー症候群(303)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若年発症型両側性感音難聴(304)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遅発性内リンパ水腫(305)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
好酸球性副鼻腔炎(306)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
カナバン病(307)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進行性白質脳症(308)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進行性ミオクロームステんかん(309)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天異常症候群(310)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性三尖弁狭窄症(311)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性僧帽弁狭窄症(312)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性肺静脈狭窄症(313)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左肺動脈右肺動脈起始症(314)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症(315)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カルニチン回路異常症(316)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三頭酵素欠損症(317)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シトリン欠損症(318)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症(319)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症(320)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非ケトーシス型グリシン血症(321)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
β-ケトチオラーゼ欠損症(322)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症(323)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メチルグルタコン酸尿症(324)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝性自己炎症疾患(325)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大理石骨病(326)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)(327)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前眼部形成異常(328)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無虹彩症(329)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性気管狭窄症(330)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特発性多中心性キャスルマン病(331)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料:南部保健所調べ

(2) 地域支援ネットワーク事業

ア 医療相談事業

《難病相談会》

難病患者及びその家族に対して、医療及び日常生活に係る相談、指導助言等を行うとともに、患者・家族及び関係者の情報交換を行うことにより、QOLの向上を目指す。

(平成30年度)

開催年月日	対象疾患	参加人数	内 容
平成30年 5月21日	管内の指定難病患者 および家族 相談会希望者	10名	1. 音楽療法 「音楽で心と身体を健やかに」 日本音楽療法士会 認定音楽療法士 井上直子先生 2. 交流会 3. 個別相談
平成30年 11月22日	管内の指定難病患者 および家族 相談会希望者	7名	1. 粘土細工 粘土細工 講師 大石ハス子先生 2. 交流会・意見交換会

《支援者研修会》

(平成30年度)

開催年月日	対象者	参加人数	内 容
平成30年 6月20日	難病患者およびその家族を 支援する関係者	44名	1 行政説明 ①指定難病の更新受付について ～今年度の更新スケジュールと注意点～ ②小児慢性特定疾病と指定難病の関係について 地域保健課 疾病対策班 西本真由美

イ 在宅療養支援計画策定・評価会議

目 的

難病を主な要因とする身体の機能障がいや長期安静の必要から日常生活に著しい障がいがあり総合的なサービスの提供を必要とする在宅患者に対し、個々の患者の実態に応じたきめ細やかな支援を行うため専門医、市の福祉及び介護保険担当、各種サービス提供機関等との連携の下に、対象別の在宅療養支援計画の作成、評価を行う。

(平成30年度)

開催年月日	疾患名	参加機関	協議内容
平成30年 5月29日	筋萎縮性側索硬化症	本人・担当ケアマネ・医療機関（MSW・看護師・理学療法士）・訪問看護ST看護師・理学療法士・福祉用具会社職員2名・保健所保健師 計10名	1. 退院後のケア内容の確認・ケアプランの共有 2. 在宅療養に必要な環境整備と治療継続について
平成30年 7月30日	球脊髄性筋萎縮症	主治医・担当ケアマネ・訪問看護ST作業療法士・ケアタウンながと在宅療養支援部長・保健所保健師 計5名	1. 本人の病状確認と共有 2. 今後の経過予測と気管切開について 3. 関係者の今後の対応と役割の確認
平成30年 11月2日	パーキンソン病	医療機関（MSW・看護師・言語聴覚士・作業療法士）・担当ケアマネ・訪問看護ST（看護師・作業療法士）・デイサービスセンター職員（所長・看護師・作業療法士）・福祉機器メーカー職員・保健所保健師 計12名	1. 本人の病状の確認と共有 2. 在宅療養支援のための関係者の役割確認 3. ケアプランの確認と共有 4. 主たる介護者（妻・娘）への支援について
平成30年 12月6日	パーキンソン病	本人・家族（長女）・訪問看護ST看護師・デイサービスSWと看護師・ショートステイ先SW・薬剤師・担当ケアマネ・保健所保健師 計10名	1. 本人および家族の日常生活状況について 2. 在宅療養で具体的に困難な場面について 3. 上記2点を踏まえてケアプラン変更の必要性について

ウ 難病新聞「南風」の発行

平成7年度から、難病患者・家族の方が中心となって難病新聞「南風」を発行している。保健所はその活動を支援している。

	発行時期	対象者	配布数	
第59号	平成29年 6月	管内の指定難病患者のうち発送希望者	600部	更新申請時に配布
第60号	平成30年 2月		60部	郵送にて配布
第61号	平成30年 6月		600部	更新申請時に配布
第62号	平成30年12月		150部	郵送にて配布

エ 南部保健所管内難病対策地域協議会

難病法第32条に基づき、平成29年度から設置された協議会。地域における難病患者への支援体制の課題を情報共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、県内の地域における難病対策のあり方や体制整備等について協議する。

開催年月日	参加者	内 容
平成30年 12月19日	医師・訪問看護ステーション代表・介護支援専門員連絡協議会代表・市役所（高齢者福祉課・社会福祉課・障がい福祉課）保健所 計9名	(1) 行政説明 「南部保健所管内の難病患者の現状と課題」 南部保健所地域保健課 疾病対策班 西本真由美 「大分県重症難病患者医療ネットワーク相談室の現状と役割」 大分県重症難病患者医療ネットワーク相談室 和田直美氏 (2) 意見交換 ①患者および家族のQOLの向上を目指した福祉対策について ②南部保健所管内の難病対策の課題

10 結核対策

平成30年の管内の有病率は24.6（人口10万対）、罹患率は24.6（人口10万対）である。結核登録者は平成30年末で55人（患者35人・潜在性結核感染症20人）で、依然多い傾向にある。

結核は過去の病気と考えられている傾向にあるが、若者の不規則な生活や、持病をもつ高齢者が増加していることから、結核が再興する傾向にある。そのため、結核対策としては、検診の受診促進等の啓発はもとより、結核発生時には本人への早期面接、訪問指導、家族及び接触者検診の徹底等を図り、新たな発生・予防に努めている。

(1) 結核新登録者数（活動性分類別・年齢階級別）

（単位：人）

（平成30年）

	活 動 性 結 核								潜在性結核感染症（別掲）
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外結核活動性	
		総 数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
			総 数	初 治	回 療				
総 数	17	14	5	5	-	7	2	3	9
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
30～39歳	2	2	-	-	-	2	-	-	1
40～49歳	1	1	-	-	-	1	-	-	2
50～59歳	1	1	1	1	-	-	-	-	-
60～69歳	2	1	-	-	-	-	1	1	2
70歳～	11	9	4	4	-	4	1	2	2
平成29年	14	14	10	9	1	4	-	-	14

資料：南部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(2) 結核活動性分類別登録者数（受療状況別）

（単位：人）

（平成30年）

受療状況	総 数	活 動 性 結 核						不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		総 数	活動性肺結核			活動性肺外結核					
			登録時 喀痰 塗抹 陽性	登録時 その他 の 菌陽性	登録時 菌陰 性・ その他		治療中			観察中	
総 数	35	17	6	7	2	2	16	2	5	15	
入 院	5	5	2	2	1	-	-	-	-	-	
外来治療	12	12	4	5	1	2	-	-	5	-	
治療なし	18	-	-	-	-	-	16	2	-	15	

資料：南部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(3) 結核有病率・罹患率

(単位：人、%)

(平成30年末現在)

	登録者数	有病率				罹患率				死亡率	
		活動性結核患者数	有病率	登録時菌陽性肺結核患者数	登録時菌陽性肺結核有病率	新登録患者数	罹患率	菌陽性肺結核患者数	菌陽性肺結核罹患率	死亡者数	死亡率
平成28年	32	9	12.6	9	12.6	18	25.3	16	22.4	3	4.2
平成29年	35	16	22.8	16	22.8	14	19.9	14	19.9	1	1.4
平成30年	35	17	24.6	13	18.8	17	24.6	12	17.4	2	2.9

注：有病率、罹患率を算出する際の基準人口は、毎年10月1日現在人口

有病率、罹患率、死亡率は人口10万対率で表したもの

資料：南部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(4) 結核予防（健康診断の実施状況）

(単位：人)

(平成30年度)

	総数	定 期						実施件数	患者家族	その他
		事業者	学校長	施設の長		市町村長				
				刑事施設	社会福祉施設	65歳以上	その他			
ツベルクリン反応検査	注者	1							1	-
	被判定者	1							1	-
	陰性者数	1							1	-
	陽性者数	-							-	-
集団健康診断実施件数	2						2			
健康診断受診者数	9,173	3,694	625		547	4,064	-	62	181	
間接撮影者数	4,317	365	625		27	3,300	-	-	-	
直接撮影者数	4,712	3,329	-		520	764	-	15	84	
喀痰検査者数	130	-	-		-	128	-	-	2	
I G R A検査者数	154							49	105	
被発見者数	結核患者	-	-	-		-	-	-	-	-
	潜在性結核感染者	2	-	-		-	-	1	1	
	結核発病の恐れがあると診断された者	4	-	-		-	-	2	2	

資料：南部保健所調べ

(5) 精密検査（従来の管理検診）実施状況

(単位：人、%)

(平成30年度)

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)／ (A)	受診者内訳			要医療率 (C)／ (B)
		総数 (B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療 (C)	要観察	観察不 要	
佐伯市	52	48	7	2	39	92.3	-	29	19	-

資料：南部保健所調べ

(6) 接触者健診（患者家族健診）実施状況

(単位：人、%)

(平成30年度)

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)／(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)／(B)
		総数(B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療(C)		要観察	観察不 要	
							結核	潜在性 結核 感染症			
管内	62	62	52	9	1	100.0	-	1	31	30	1.61

資料：保健所調べ

(7) 接触者健診（その他）実施状況

(単位：人、%)

(平成30年度)

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)／(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)／(B)
		総数(B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療(C)		要観察	観察不 要	
							結核	潜在性 結核 感染症			
管内	316	315	123	4	188	99.7	-	6	110	199	1.90

資料：保健所調べ

(8) 研修会

実施月日	場所	実施内容	対象者・参加者
平成31年3月22日	南部振興局 大会議室	結核医療従事者・支援者研修会 講義1「結核の現状と基礎知識」 講義2「結核発生時の対応」 講義3・事例紹介「早期発見のための対応」	医療機関職員 高齢者施設職員 32名（医師、看護師、事務 職等）

1 1 感染症対策

平成18年10月、現在における感染症の脅威と感染症を取り巻く状況の変化を踏まえた施策を再構築するための法律として「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、当保健所では感染症の発生予防やその蔓延防止に努める施策に取り組んでいるところである。

(1) 感染症発生状況

(単位:人)

(平成30年)

区分	疾患名	大分県	佐伯市
1類	エボラ出血熱	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-
	痘そう	-	-
	南米出血熱	-	-
	ペスト	-	-
	マールブルグ熱	-	-
	ラッサ熱	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-
	結核	275	26
	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-
鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	
3類	コレラ	-	-
	細菌性赤痢	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	42	-
	腸チフス	-	-
	パラチフス	-	-
4類	44疾患	38	2
5類	24疾患(全数報告分)	138	3

資料:大分県感染症発生動向調査事業報告書

(2) 予防接種実施状況

(単位:人)

(平成30年度)

A類疾病	沈降精製百日せき ジフテリア破傷風 混合ワクチン(DPT)				沈降ジフテリア破傷風 混合トキソイド(DT)				不活性化ポリオワクチン(IPV)				沈降精製百日せき ジフテリア破傷風不活化 ポリオ混合ワクチン (DPT-IPV)				日本脳炎ワクチン					
	第1期				第1期				初回接種				第1期				第1期					
	初回接種			追加接種	初回接種			追加接種	第2期	初回接種			追加接種	初回接種			追加接種	初回接種			追加接種	第2期
	第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	第3回			第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	第3回		
佐伯市	0歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370	393	390	-	4	1	-	-	
	1歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	10	333	2	1	3	-	
	2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	60	4	4	1	-	
	3歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	399	344	41	-	
	4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	32	56	262	-	
	5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	9	16	103	-	
	6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4	10	16	39	-	
	7歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	1	1	16	-	
	8歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	9歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4	3	9	294
	10歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	1	5	45
	11歳	/	/	/	/	/	/	/	177	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6	7	9	56
	12歳	/	/	/	/	/	/	/	287	/	/	/	/	/	/	/	/	/	10	9	28	74
	13歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	2	10	27
	14歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	3	4	26
	15歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	2	3	14
	16歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-	5	4
	17歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7	7	32	74
	18歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	9	14	37	123
	19歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-	2	19
計	-	-	-	-	-	-	-	464	-	-	1	3	372	395	402	429	502	487	609	756		
(再掲)個別	-	-	-	-	-	-	-	464	-	-	1	3	372	395	402	429	502	487	609	756		
(再掲)集団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

資料:南部保健所調べ

(単位:人)

(平成30年度)

A類疾病	ヒブワクチン				小児用肺炎球菌ワクチン				子宮頸がん予防ワクチン			水痘ワクチン		B型肝炎ワクチン		
	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第1回	第2回	第3回
佐伯市	0歳	360	374	396	1	360	373	394	/	/	/	/	/	368	375	359
	1歳	1	-	-	379	1	-	8	384	/	/	/	386	281	/	/
	2歳	-	-	-	20	-	-	-	23	/	/	/	4	109	/	/
	3歳	-	-	-	5	-	-	-	6	/	/	/	/	/	/	/
	4歳	-	-	-	1	-	-	-	1	/	/	/	/	/	/	/
	5歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	7歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	8歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	9歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	10歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	11歳	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/
	12歳	/	/	/	/	/	/	/	/	2	-	-	/	/	/	/
	13歳	/	/	/	/	/	/	/	/	2	4	2	/	/	/	/
	14歳	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-	1	/	/	/	/
	15歳	/	/	/	/	/	/	/	/	6	4	1	/	/	/	/
	16歳	/	/	/	/	/	/	/	/	1	2	3	/	/	/	/
計	361	374	396	406	361	373	402	414	11	10	7	390	390	368	375	359
(再掲)個別	361	374	396	406	361	373	402	414	11	10	7	390	390	368	375	359
(再掲)集団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

A類疾病	麻しん風しん 混合ワクチン		A類疾病	麻しんワクチン		A類疾病	風しんワクチン	
	第1期	第2期		第1期	第2期		第1期	第2期
佐伯市	1歳	396	佐伯市	1歳	-	佐伯市	1歳	-
	5歳	343		5歳	-		5歳	-
	6歳	136		6歳	-		6歳	-
	計	396		計	-		計	-
	(再掲)個別	396		(再掲)個別	-		(再掲)個別	-
	(再掲)集団	-		(再掲)集団	-		(再掲)集団	-

(平成30年度)

A類疾病		BCGワクチン		
		5ヶ月未満	5月以上 1歳未満	計
佐伯市	接種者数	-	396	396
	(再掲)個別	-	396	396
	(再掲)集団	-	-	-

資料:南部保健所調べ

(単位:人) (平成30年度)

B類疾病		インフルエンザワクチン		計
		60歳以上 65歳未満	65歳以上	
佐伯市	接種者数	33	16,575	16,608
	対象者数	33		33

(単位:人) (平成30年度)

B類疾病		成人用肺炎球菌ワクチン								計	
		60歳以上 65歳未満	65歳相 当	70歳相 当	75歳相 当	80歳相 当	85歳相 当	90歳相 当	95歳相 当		100歳相 当
佐伯市	接種者数	-	545	775	570	318	271	133	48	9	2,669
	対象者数	-									-

資料:南部保健所調べ

(3) エイズ対策

国内のHIV感染者・エイズ患者は依然として増加傾向に有り、感染の拡大防止は重要な課題である。南部保健所では「大分県エイズ対策基本指針」に基づき、正しい知識の普及や検査・相談体制の充実を図っている。

ア 普及啓発事業

(平成30年度)

実施月日	内 容	対象者
平成30年6月7日	H I V検査普及週間 夜間迅速検査	一般住民
平成30年12月4日	世界エイズデー 夜間迅速検査	一般住民

イ エイズ相談及びH I V抗体検査実施状況

(単位:件)

		相談件数 (実)			H I V抗体検査			陽性 件数
		総数	電話	来所	総数	スクリーニ ング検査	確認検査	
平成28年度	男	54	30	20	19	17	-	-
	女		2	2		2	-	-
平成29年度	男	48	27	10	15	11	-	-
	女		4	7		4	-	-
平成30年度	男	42	29	12	20	12	-	-
	女		13	8		8	-	-

資料:南部保健所調べ

ウ 特定感染症検査

平成19年11月から肝炎ウイルスと性感染症について、自らの感染状況を認識する機会を提供し、感染の早期発見・早期治療を目的として、相談や検査を実施している。

(単位:件)

		性器クラミジア		梅毒検査	H C V 抗体検査	H B s 抗原検査
		血液	P C R			
平成28年度	総数	12(2)	12	11	19	19
	男	11(2)	11	10	12	12
	女	1	1	1	7	7
平成29年度	総数	9	9	9	11	11
	男	5	5(1)	5	6	6
	女	4(1)	4(1)	4	5	5
平成30年度	総数		11	17	28	28
	男		8	11	15	15
	女		3	6	13	13

注:()に陽性件数を再掲

(4) 消毒インストラクター養成講習会

(平成30年度)

開催日時	内 容	対象	参加者数
平成30年9月27日 14:00~16:30	【講義】①施設における感染症対策について ②食中毒について ③消毒液の調製方法について ④吐物処理の方法について ⑤トイレの消毒作業について 【実技演習】吐物処理の方法について	各社会福祉 施設職員	35
平成30年10月4日 13:30~16:00	【認定試験】筆記試験及び実技試験		

(5) 肝炎対策

ア 保健所肝炎検査

(平成30年度)

	HBs 抗原検査	HCV 抗体検査	HCV核酸 増幅検査
検査件数	28	28	-
陽性件数	-	-	-

資料：南部保健所調べ

イ B型ウイルス性・C型ウイルス性肝炎治療等に対する医療費助成制度

肝炎対策基本法の成立により、平成22年4月にB型慢性肝疾患患者の核酸アナログ製剤治療に対する助成を開始、これまでの自己負担限度額が引き下げられ、従来のインターフェロン治療費助成制度の2回目の利用も認めることになった。平成26年12月にC型慢性肝炎に対するインターフェロン治療の再治療（3剤併用）、平成27年5月にはC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療が助成対象に追加された。

(平成30年度)

	肝炎治療				計	肝がん・ 重度肝硬変治療 (平成30年12月 制度開始)
	インターフェロン 治療	インターフェロン フリー治療	核酸アナログ製剤治療			
			新規	更新		
申請件数	-	18	2	64	84	2

資料：南部保健所調べ

1 2 介護保険

(1) 要介護認定者数

(単位:人)

(平成31年4月1日現在)

区分 市名	合計	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
佐伯市	4,022	547	340	1,019	499	429	730	458

資料: 佐伯市調べ

(2) 介護保険サービス受給状況

(単位:人)

(平成31年4月1日現在)

区分 市名	介護予防サービス 受給者内訳		居宅サービス受給者内訳						施設サービス受給者内訳			
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	計
佐伯市	286	223	754	382	277	343	157	2,422	326	373	1	700

資料: 佐伯市調べ

(3) 居宅サービス事業所等の数

(平成31年4月1日現在)

区 分	大 分 県	佐 伯 市
指 定 件 数	6,998	392
訪 問 介 護	430	37
訪 問 入 浴 介 護	19	1
訪 問 看 護	508	21
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	211	8
居 宅 療 養 管 理 指 導	1,511	82
通 所 介 護	360	23
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	159	7
短 期 入 所 生 活 介 護	140	16
短 期 入 所 療 養 介 護	103	5
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	45	4
福 祉 用 具 貸 与	84	6
特 定 福 祉 用 具 販 売	83	6
居 宅 介 護 支 援	431	21
介 護 予 防 訪 問 入 浴 介 護	17	1
介 護 予 防 訪 問 看 護	506	21
介 護 予 防 訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	214	8
介 護 予 防 居 宅 療 養 管 理 指 導	1,509	80
介 護 予 防 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	160	7
介 護 予 防 短 期 入 所 生 活 介 護	139	16
介 護 予 防 短 期 入 所 療 養 介 護	103	5
介 護 予 防 特 定 施 設 入 所 生 活 介 護	43	4
介 護 予 防 福 祉 用 具 貸 与	81	6
特 定 介 護 予 防 福 祉 用 具 販 売	83	6
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	59	1
施 設 数 計	181	12
介 護 老 人 福 祉 施 設	82	7
介 護 老 人 保 健 施 設	70	5
介 護 療 養 型 医 療 施 設	29	0

資料：県高齢者福祉課調べ

※休止中施設を除く

(4) 地域密着型サービス事業所等の数

(平成31年4月1日現在)

区 分	大 分 県	佐 伯 市
指 定 件 数	773	56
定 期 巡 回 ・ 随 時 対 応 型 訪 問 介 護 看 護	7	2
夜 間 対 応 型 訪 問 介 護	4	0
認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	55	3
小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	43	1
認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護	147	15
地 域 密 着 型 特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	8	1
地 域 密 着 型 介 護 老 人 福 祉 施 設 入 所 者 生 活 介 護	47	5
看 護 小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	10	1
介 護 予 防 認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	63	3
介 護 予 防 小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	43	1
介 護 予 防 認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護	149	15
介 護 予 防 支 援 事 業 所	62	1
地 域 密 着 型 通 所 介 護	135	8

資料：県高齢者福祉課調べ

※休止中施設を除く

(5)介護保険関連研修

介護認定審査会委員及び認定調査員の研修及び適正化検討会

研修会名	対象者 (会議については参加者)	開催日	参加者	内容
認定調査員 研修会	認定調査員 (新規)	平成30年 5月18日	5人	1 介護保険制度の現状・要介護認定の仕組み 2 要介護認定の基本と留意点 高年齢者の権利擁護 3 佐伯市における要介護認定の状況 4 認定調査の実施方法(講話・演習)
	認定調査員 (現任) 県で合同開催	平成30年 5月14日	23人	講義 「認定調査員現任研修」 講師 一般財団法人 福祉サービス評価機構 保健部門 統括理事 奥住 浩代 氏
介護認定審査会 委員研修	審査会委員 (新規)	平成30年 9月14日 平成31年 3月25日	2人 14人	1 介護保険制度の概要・介護保険制度の現状について 2 要介護認定・介護認定審査会について DVD「審査会判定手順」 3 佐伯市の要介護認定の現状・審査会について
	審査会委員 (現任)	平成30年 6月29日	39人	講義 「介護認定審査会における審査のポイント」 講師 一般財団法人 福祉サービス評価機構 保健部門 統括理事 奥住 浩代 氏
介護保険運営 適正化検討会	佐伯市 県高齢者福祉課 南部保健所	平成30年 11月29日	9人	1 これまでの経緯について再確認 2 報告 「業務分析データからみえる佐伯市の現状」 3 意見交換 ①認定調査の現状と課題について ②認定審査会の現状と課題について
佐伯市介護認定 審査会への厚生 労働省による技 術的助言	佐伯市 県高齢者福祉課 南部保健所	平成31年 2月19日	31人	1 厚労省要介護認定適正化事業事務局から挨拶 2 審査会(通常通り実施) 3 審査会委員と厚労省認定適正化専門員の意見交換 4 厚労省認定適正化専門員から事務局への助言

1 3 介護予防

介護保険法の目的である高齢者の「介護予防」「自立支援」「尊厳保持」の観点から、要介護状態となっても住み慣れた地域で安心して暮らせるための包括的なケア体制整備が求められている。この体制整備の一環として関係機関との検討会を開催した。

(1) 圏域介護予防検討会

介護予防事業に係る佐伯市圏域の実態をふまえて、関係機関の連携のもと介護予防事業の効果的な推進を図るため開催した。

実施日時	場所	内 容	参加者
平成30年6月5日 18:00～19:30	南部保健所 会議室	1 介護予防事業についての国・県の動向 2 第8期老人保健福祉計画・第7期介護保険事業計画について 3 介護予防事業における課題と取り組みについて 4 南部圏域佐伯地域リハビリテーション広域支援センターの活動について 5 意見交換 「南部圏域の介護予防事業の展開に向けた課題と対策について ～住民組織の育成と通いの場の充実に向けて～」	南部圏域佐伯地域リハビリテーション広域支援センター、佐伯市、南部保健所 16人

(2) 圏域別実践力向上研修会

地域住民が自助、互助を活かした介護予防活動に取り組めるよう、知識・技術の獲得に向けた研修会を開催した。

実施日時	場所	内 容	参加者
平成30年11月19日 13:30～15:45	佐伯市保健福祉総合センター和楽大研修室	1 事業の主旨説明 南部保健所 2 佐伯市の概要と介護保険の現状について 佐伯市 3 講話 『お口の健康を忘れるなかれ ～口は命の入口、心の出口～』 講師：大分県歯科衛生士会 多田啓子氏 4 講話 『栄養はバランスが命～食べることは生きること～』 講師：大分県栄養士会 吉田文代氏	介護予防サポーター健康運動普及推進員 計78人
平成31年1月28日 13:30～15:45	佐伯市保健福祉総合センター和楽大研修室	1 講話 『聞き上手は“聞こえ”にあり!』 講師：大分県言語聴覚士協会 吉田玲子氏 2 講話 『参加・活動・役割』づくりで介護予防 講師：佐伯市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 安達信也氏 3 グループワーク ・互いの活動の情報交換 ・今後の活動について	介護予防サポーター健康運動普及推進員 計61人

1 4 看護対策

佐伯地域の看護職員確保定着推進プランに基づき、看護職員の連携強化及び資質の向上を図るとともに、地域住民に対して看護活動を普及するため取り組んでいる。

(1) 「看護の日」及び「看護週間」事業

1990年(平成2年)に制定された「看護の日」の普及啓発を通して、県民一人ひとりが看護について関心を高め理解を深めるとともに看護の明るいイメージづくりを図り、看護職員等の就業を促進し、活力ある長寿社会に寄与するため実施した。

ア ふれあい看護体験

実施日時	体験施設	内 容	参 加 者
平成30年5月11日 (金) 13:00～16:30	①佐伯中央病院 ②曾根病院 ③渡町台外科病院 ④長門記念病院 ⑤南海医療センター ⑥西田病院 ⑦佐伯市健康増進課	看護師や保健師の仕事体験	佐伯市内の高等学校3校の 3年生 55人

イ 「看護の日」及び「看護週間」の広報活動

実施日時	場 所	内 容	配布数及びスタッフ
平成30年5月12日 (土) 10:00～11:00	①サンリブさいき店 ②トキハインダストリー佐伯店 ③道の駅やよい	「看護の日」及び「看護週間」のチラシ及び啓発グッズを市内に勤務する看護職が住民に配布 ・絆創膏 ・ウエットティッシュ ・ティッシュ	配布数：900部 スタッフ：15機関、31人

(2) 看護の地域ネットワーク推進事業

佐伯地域における病院の看護管理者及び診療所・介護施設・訪問看護ステーション・行政の看護職代表の16人が、地域の看護課題解決に向けた研修及び会議の企画・運営・評価を行い、『佐伯地域看護職員確保定着推進プラン第4期』を策定した。

また、地域包括ケアシステム推進に向けた看護職間の連携強化と多職種との連携促進を図った。

ア 看護ネットワーク推進会議

実施日時	協 議 内 容	出席者
平成30年4月20日 10:30～12:00	1 平成30年度事業計画、方向性等確認 2 『看護の日』及び『看護週間』事業 3 第4期看護職員確保定着推進プラン方針 4 中小規模病院看護管理者等支援事業 5 情報提供(西田病院、長門記念病院)	14人
平成30年6月15日 10:30～12:00	1 『看護の日』及び『看護週間』事業実績 2 看護職員確保定着に関する実態調査 3 看護職研修計画 4 看護職相互交流研修 5 中小規模病院看護管理者等支援事業 6 情報提供(南海医療センター、塩月内科小児科医院)	16人
平成30年7月20日 10:00～12:00	1 看護職研修計画 2 看護職相互交流研修、看護連携強化フォーラム 3 南部地域中小規模病院等看護管理者支援事業 4 情報提供(佐伯准看護学院、御手洗病院、佐伯中央病院)	18人
平成30年9月21日 10:00～12:00	1 看護職研修計画 2 看護職相互交流研修、看護連携強化フォーラム 3 情報提供(佐伯保養院、曾根病院)	18人
平成30年11月16日 10:00～12:00	1 看護職研修計画 2 看護連携強化フォーラム、看護職マネジメント研修Ⅱ 3 看護職員確保定着プラン(第3期評価、第4期方針) 4 情報提供(渡町台外科病院、佐伯市健康増進課)	19人
平成31年1月18日 10:00～12:00	1 看護職員確保定着推進プラン(第4期)の策定 2 看護研修、看護ネットワーク推進会議計画 3 情報提供(鶴見の太陽、訪問看護ステーション和) 4 感染症発生動向調査(インフルエンザ流行警報)	19人
平成31年3月8日 10:30～12:30	1 平成30年度事業報告・振り返り 2 2019年度事業計画 ・看護ネットワーク推進会議 ・『看護の日』及び『看護週間』事業 ・関連研修計画 3 情報提供(佐伯市地域包括支援センター)	16人

イ 看護職員の確保定着に関する実態調査

実施期間	調査対象	調査方法	調査内容
平成30年 6月5日～6月30日	佐伯地域の病院に勤務する常勤看護職員	佐伯地域の8病院及び10有床診療所の看護管理者に依頼 (回収率100%)	看護職員の確保定着に関する実態調査 (全県共通版)

ウ 新人ナースサポート研修

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成30年7月31日 14:00～16:00	佐伯総合庁舎 4階 大会議室	1 講義・ロールプレイ 「実践力UP!看護職として信頼されるマナー」 講師 大銀経済経営研究所 接遇マナー講師 佐藤 悦子氏 2 グループワーク	26人

エ 看護職マネジメント研修Ⅰ

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成30年10月26日 14:00～16:00	佐伯市医師会館 2階大研修室	1 講演「次世代につなぐ看護管理の推進」 公益社団法人大分県看護協会 会長(認定看護管理者) 竹中 愛子氏 2 意見交換 3. 全体発表・助言	59人

オ 看護職マネジメント研修Ⅱ

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成31年3月7日 14:00～16:00	佐伯市医師会館 2階大研修室	1 実践報告「看護管理者の立場から －看護の人財を育む取り組み－」 曾根病院 看護部長 岩佐 美幸氏 訪問看護ステーション和 管理者 中田 裕美氏 2 意見交換 「中堅看護職員の立場から －本音で語ろう!現状となりた姿－」 3 全体発表・助言 大分大学医学部附属病院 認定看護管理者 木村 照美氏	47人

カ 介護施設等看護職員サポート会議

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成30年10月3日 15:00～17:00	佐伯市医師会館 2階大研修室	1 報告「介護老人施設・在宅における看とりの現状と課題」 鶴見の太陽 副施設長 廣瀬 福美氏 2 意見交換 「穏やかな看取りを支えるための看護職の役割を考える」 3 全体発表・まとめ 4 情報提供 佐伯市の取組「佐伯市在宅医療・介護連携事業」 佐伯市地域包括支援センター 南部医療圏域の取組「入退院情報共有ルールの運用」 大分県南部保健所	39人

キ 医療機関と在宅を結ぶ相互交流体験事業(看護職相互交流事業)

実施日時	受入機関	内 容	参加者
平成30年10月の希望する1日	佐伯市内の医療機関・介護老人施設・訪問看護ステーション・行政等12か所	※3年度目 1 在宅実習 病棟(外来)看護師等は、訪問看護師、介護施設看護師、行政保健師等が行っている在宅看護の実際を学び、病院内での看護に活かす。 2 医療機関実習 訪問看護師、介護施設看護師、行政保健師等は、院内における看護を学び、在宅での看護・地域の連携に活かす。	佐伯市内の医療機関・介護施設・行政等の看護職 21人 (参加機関12か所)

ク 看護連携強化フォーラム

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成30年12月8日 13:45～16:00	佐伯市医師会館 2階大研修室	1 相互交流研修報告 事業説明 南部保健所 参事兼地域保健課長 疋田 利恵 報告 有料老人ホームコスモなおかわ 看護師 後藤 京美氏 2 講演 「連携が生み出す地域包括ケアの推進 －市民病院の実践から－」 国東市民病院 副院長兼看護部長 平本 典子氏 4 意見交換 5 全体発表・助言	42人

ケ 生命と看護の授業

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成30年12月5日 14:00～15:00	佐伯市立 鶴見中学校	講話及び演習「助産師が伝える生命の神秘と大切さ」 妊婦体操や心音の聴取、胎児モデル 講師 西田病院 助産師 真柴 由香氏	3年生 23人
平成31年1月18日 14:00～15:00	小中一貫校 蒲江翔南学園	講話及び演習「助産師が伝える生命の神秘と大切さ」 妊婦体操や心音の聴取、胎児モデル 講師 西田病院 助産師 廣末 絵梨香氏	5年生 35人

コ 看護職エキスパート研修

医療機関及び認定看護師の地域貢献のひとつとして、各病院の得意テーマや認定看護師が講師となり研修を行っている。計画的に研修に参加できるよう、年間研修計画を一括して保健所から看護職の属する医療機関・介護施設等に通知している。

実施期日	実施機関	内 容	参加者
平成30年6月28日	診療所看看連携 (塩月内科小児科医 院)	医療安全 講師 大分県看護協会医療安全委員会	38人
平成30年7月10日	佐伯中央病院	モニター心電図の基礎と対応 講師 佐伯中央病院 副看護部長(診療担当NP) 塩月 成則氏	41人
平成30年7月31日	佐伯中央病院	モニター心電図の基礎と対応 講師 佐伯中央病院 副看護部長(診療担当NP) 塩月 成則氏	26人
平成30年8月2日	訪問看護連絡集会 (訪問看護ステーション 和)	精神疾患を持つ利用者の対応の仕方について 講師 訪問看護ステーションデューン佐伯 管理者 古森 俊太郎氏	40人
平成30年8月7日	佐伯中央病院	キャリア支援セミナー ～スペシャリストへの道・管理者への道・研究者への道～ 講師 佐伯中央病院 副看護部長(教育担当NP) 藤崎 郁氏	25人
平成30年8月30日	診療所看看連携 (塩月内科小児科医 院)	医療事故対策(アンガーマネジメントに学ぶ患者対応例) 講師 杏林製薬 山下 健志氏	38人
平成30年9月11日	佐伯中央病院	敗血症の考え方 講師 佐伯中央病院 副看護部長(診療担当NP) 塩月 成則氏	30人
平成30年10月16日	南海医療センター	褥瘡周囲のスキンケア～褥瘡の発生要因と予防ケア～ 講師 南海医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 大良 和恵氏	15人
平成30年11月22日	曾根病院	更年期障害 当院におけるプラセンタ療法とその効果 講師 曾根病院 副看護部長 松下 かおる氏	34人
平成30年11月30日	診療所看看連携 (塩月内科小児科医 院)	感染症対策(活用できる診療所・施設での感染症対策) 講師 臼杵コスモス病院 感染管理認定看護師 後藤 純子氏	56人
平成31年1月31日	診療所看看連携 (塩月内科小児科医 院)	医療安全対策(インシデントレポートの目的と活用) 講師 臼杵病院 医療安全管理・認定看護管理者 甲斐 清美氏	44人
年11回 延参加人数 387人			

(3) 中小規模病院等看護管理者支援事業

大分県は、県内で9割を占めている200床以下病院の看護管理者の育成をし、安心安全な医療・看護提供のシステムづくりを目的として、平成29年度から委託事業(大分県立看護科学大学委託)として開始した。当管内は、平成30年度から2年間のモデル地域として取り組んでいる。

実施期日	主 な 内 容
平成30年5月31日	事業趣旨説明・意見交換(事業に関する希望等を自由に話す)
平成30年6月15日	看護管理「状況」評価シートA、看護管理「行動」評価シートB、看護管理に関する振り返りシートによる話し合い
平成30年7月20日	看護管理に関する評価と振り返り(評価シートの分析結果)
平成30年8月8日	各施設の結果還元と評価・取組みテーマの絞り込み(人材育成)
平成30年8月16日	各施設の結果還元と評価
平成30年9月21日	看護管理の課題・悩み等の絞り込み(優先順位付け)
平成30年11月16日	次世代の看護管理者の教育等について意見交換
平成30年12月18日	南部地域支援事業会議(大分県立看護科学大学主催)にて、支援方針を検討、確認
平成31年1月18日	グループ別検討(100床以上とそれ未満の2グループ)・全体共有
平成31年3月15日	グループ別検討・全体共有

15 保健師活動状況

(1) 保健師配置状況

(単位：人)

(平成30年度)

南部保健所		佐伯市				
健康安全企画課	地域保健課	健康増進課	障がい福祉課	高齢者福祉課		
1	7	21	3	5		

(2) 家庭訪問実施状況

(単位：人)

年度		総数		母子保健													
				妊婦		産婦		新生児 (未熟児を除く)		未熟児		乳児 (新生児・未熟児を除く)		幼児		その他	
		実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
28	南部保健所	96	217	-	-	3	8	-	-	-	-	1	1	-	-	22	32
	佐伯市	1,846	2,381	9	22	376	401	58	62	15	37	384	384	146	256	30	54
29	南部保健所	173	220	-	-	3	3	-	-	-	-	3	3	-	-	13	23
	佐伯市	1,630	2,179	26	37	386	421	55	56	11	13	347	384	86	178	15	28
30	南部保健所	64	125	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	15	41
	佐伯市	1,619	2,216	9	52	369	393	36	37	10	11	323	353	126	235	26	32

年度		精神		難病		結核		感染症 (結核を除く)		老成人		その他	
		実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
28	南部保健所	31	42	10	29	29	105	-	-	-	-	-	-
	佐伯市	151	439	4	6	/	/	/	/	522	560	151	160
29	南部保健所	20	25	7	15	21	45	-	-	-	-	106	106
	佐伯市	245	542	-	-	/	/	/	/	199	258	260	262
30	南部保健所	17	26	6	20	24	36	-	-	-	-	-	-
	佐伯市	274	550	-	-	/	/	/	/	200	253	246	300

資料：南部保健所調べ、佐伯市調べ

(3) 健康相談実施状況

(単位：人)

年度		母子		精神		難病		老成人												総合健康相談		
								重点健康相談														
								高血圧		脂質異常		糖尿病		歯周疾患		骨粗鬆症		女性の健康		病態別		
		実	延	実	延	実	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	
28	南部保健所	194	353	52	183	735	1,103	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	佐伯市	1,451	2,172	290	569	5	6	10	10	-	-	15	15	7	7	-	-	58	58	28	54	411
29	南部保健所	183	314	69	135	716	1,193	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	佐伯市	1,424	2,032	510	749	-	-	7	7	-	-	14	14	1	1	-	-	125	125	39	39	315
30	南部保健所	199	407	49	99	695	1,080	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	佐伯市	1,321	1,997	378	944	-	-	9	9	6	6	20	20	8	8	-	-	49	49	11	11	419

資料：南部保健所調べ、佐伯市調べ (電話相談は除く)

16 原爆被爆者対策

被爆者に対する保健、医療及び福祉にわたる総合的な援護対策を行うための「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、管内の原子爆弾被爆者に対して、医療特別手当・健康管理手当・保健手当及び介護手当等を状況に応じて支給するとともに、各種健康診断等を実施している。

管内の原子爆弾被爆者の年齢構成は、90歳代17人、80歳代が14人、70歳代が6人となっており、年々高齢化が進むため、健康管理については、一層の支援が必要である。

(1) 被爆者健康手帳交付及び各種手当等の支給状況

(単位：件)

	健康手帳交付数	各種手当支給状況						
		健康管理手当	保健手当		介護手当	医療特別手当	特別手当	葬祭料
			保健手当Ⅰ	保健手当Ⅱ				
平成28年度末	46	31	1	1	1	4	1	7
平成29年度末	41	29	1	-	1	3	1	5
平成30年度末	37	27	1	-	1	3	1	4

資料：南部保健所調べ

(2) 被爆者健康診断実施状況

(単位：人)

(平成30年度)

	定期健康診断（一般検査）				希望による健康診断（がん健診等）				二世健康診断	
	対象者数	受診者数	受診率（%）	要精密検査者数	対象者数	受診者数	受診率（%）	要精密検査者数	受診者数	要精密検査者数
1回	41	10	24.4	1	38	4	10.5	0	9	1
2回	37	7	18.9	0						

資料：南部保健所調べ

17 献血対策

最近の輸血医療では、輸血による感染症や副作用を軽減させるうえで、400ml献血、成分献血から調整された血液による輸血が大半を占めていることから、移動献血では特に、400ml献血の確保に努めている。

(1) 献血状況

(単位：人、%)

	区 分	目 標	献 血 数	達 成 率
平成28年度	200ml	20	27	135.0
	400ml	1,480	1,601	108.2
平成29年度	200ml	20	13	65.0
	400ml	1,650	1,473	89.3
平成30年度	200ml	10	17	170.0
	400ml	1,500	1,583	105.5

18 温泉

(1) 温泉地別源泉数等調

(平成31年3月31日現在)

温泉地名	源泉 総数 (A+B)	利用源泉数 (A)		未利用源泉数 (B)		温度別源泉数				湧出量 l / 分	
		自噴	動力	自噴	動力	25℃ 未満	25℃以上 42℃未満	42℃ 以上	噴 気	自 噴	動 力
佐伯市	2	0	1	1	0	2	—	—	—	0	40

資料：南部保健所調べ

(2) 温泉利用許可施設数調

(平成31年3月31日現在)

	温泉利用許可施設数 (旅館、ホテル、公衆浴場等)	
	浴用	飲用
佐伯市	10	—

資料：南部保健所調べ

(2) 毒劇物関係施設及び立入検査実施状況

(単位：件)

(平成30年度)

	（登録又は届出施設）数	立入検査実施施設数	違反発見施設数	も毒劇物の含有の疑いのあるもの	毒劇物含有の疑いのあるもの	含政令で定められた毒劇物又は	試験の結果毒劇物又は	施設登録・無届・無許可数	違反発見件数										措置			
									取扱責任者	取扱	表	譲渡手続き		交付の制限	販売品目の制限	その他の	登録取り消し	業務停止	設備改善命令	始末書	その他	告発件数
												譲渡書の記載	譲渡書の保管									
総数	56	8	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
製造業（知事登録分）	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
輸送業（知事登録分）	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一般販売業	24	8	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
農薬用品目販売業	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特定品目販売業	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
電気メッキ事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
金属熱処理事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
毒劇物輸送事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
法第22条5項の者	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

資料：南部保健所調べ

(3) 薬務関連事業実施状況

ア 薬物乱用防止教室実施状況

平成12年度から薬物乱用防止指導員南部地区協議会を設立し、関係団体との連絡を密にして様々な取り組みを行っている。平成30年度は学校薬剤師が中心となり、小中学生等を対象とした薬物乱用防止講座を17回実施し、計2180名を対象に覚せい剤、シンナー等違法薬物に関する講習を通して薬物乱用防止を図った。

(平成30年度)

	小学校	中学校	高等学校	その他(※)
実施回数	3	11	2	1
啓発人数	94	885	1,150	51

※佐伯准看護学院

資料：南部保健所調べ

イ 6.26ヤング街頭キャンペーン

覚せい剤、シンナー、危険ドラッグ等の有害薬物については、大分県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の一環として、高校生等の参加のもと、6.26ヤング街頭キャンペーンを実施した。

(平成30年度)

実施日	場所	参加団体	参加者数	啓発人数
平成30年6月16日	トキハインダストリー佐伯店前	管内高等学校生徒、薬物乱用防止指導員及びその家族、薬学部実習生	47	300

資料：南部保健所調べ

ウ 薬物乱用防止研修会開催状況

(平成30年度)

実施日	行事名	参加者数
平成30年8月28日	薬物乱用防止指導員南部地区協議会・研修会	24

資料：南部保健所調べ

エ 薬と健康の週間行事

10月には薬と健康の週間行事の一環として佐伯市薬剤師会と協働し、健康フェスタにおいて骨密度等の簡易測定や薬や健康に関する相談応需、啓発物品の配布を行った。また、会場に災害時医薬品供給車両であるモバイルファーマシーを展示し、災害時の車両の役割や薬剤師の活動などについて説明を行った。なお、週間にラジオを通じた広報活動も併せて実施し、薬の適正使用等について市民へ啓発を行った。

さらに、薬と健康の週間に合わせて薬に関する懇談会として中学生・高校生とその保護者を対象に「薬に関するお仕事セミナー」を開催した。セミナーでは薬に関する仕事や薬の適正使用に関する講義を行ったほか、佐伯市内に勤務する各分野の薬剤師、薬学部学生との意見交換の場も設けた。

(平成30年度)

実施日及び行事名	内 容	参加者数等
平成30年10月28日午前 啓発イベント 【健康フェスタ】 1) モバイルファーマシーの展示 2) お薬相談コーナーの設置 3) 健康測定コーナーの設置 4) 啓発資材の配布	1) モバイルファーマシーの展示 ・ 車両内で出来ることや災害時の役割について、平成28年熊本地震での活動実績も交えながら、災害発生時に車両や薬剤師が果たした役割について説明。 ・ 災害時のお薬手帳の重要性について啓発を行い、お薬手帳の利用を推奨。 2) お薬相談コーナーの設置 ・ 来場者に対し、服用薬の残薬の有無を確認し、飲み残しの原因の解決を図った。 ・ 薬に関するクイズを実施し、クイズを通して薬の適正使用についての理解度を測り、理解が不足している項目について解説を行うことで、適正使用の啓発を行った。 3) 健康測定コーナーの設置 ・ 骨密度、血管年齢、フレイル(※)について、測定を行い、必要に応じて医療機関の受診や本イベント会場での栄養士による栄養相談を進めた。 ※フレイル=加齢により心身の活力が徐々に低下した状態。イベントでは「指輪っかテスト」を来場者に指導し、フレイルに関与するサルコペニア(筋肉減弱症)のセルフチェックを実施 4) 啓発資材の配布 ・ 来場者や通行者に対し、啓発資材(セルフメディケーションハンドブック、絆創膏等)を配布し、薬の正しい使い方や薬剤師の役割について啓発を行った。	1) 50名 2) 125名 3) 125名 4) 125名
平成30年10月28日午後 薬に関する懇談会 【薬に関するお仕事セミナー】 1) 講演 2) 意見交換会	1) 講演 ・ 保健所による医薬品に関わる職業の紹介、薬局薬剤師による薬の適正使用に関する講演、大学薬学部教員による薬剤師の仕事や薬学部での教育内容に関する講演を行った。 2) 意見交換会 ・ 佐伯市内に勤務する病院・薬局・製薬会社・行政の各分野の薬剤師、薬学生、中高生で構成される少人数のグループで、薬剤師の仕事内容や薬学部での教育内容等について、自由に意見交換をしてもらった。 ・ 参加した中高生からは、セミナーを受けて薬剤師の仕事内容や薬学部のことがよく分かった、自分の進路を考える機会になった、薬剤師を目指したいと思った、といった声が聞かれた。	中高生 22名 保護者等 14名 薬学生等 7名 薬剤師 15名
平成30年10月15日 ～平成30年10月26日 【FMラジオによる啓発】	佐伯市薬剤師会がエフエムさいきに依頼を行い、10/28の健康フェスタ及び薬に関するお仕事セミナーの告知をCMとして放送した。	

資料：南部保健所調べ

オ お薬健康相談会開催状況

地域服薬健康相談事業として、佐伯市薬剤師会の協力のもと、佐伯市内の無薬局地域を中心に出席講座の形式で「お薬健康相談会」を開催した。

平成30年度は6回実施し、計79名に対し薬の適正使用や薬剤師の在宅業務などに関する講義に加え、薬や健康に関する個別の相談を受けた。

【お薬健康講座】薬の適正使用等について、薬剤師が講演

- ・ 薬の適正使用について(服用方法、注意事項、副作用、飲み合わせ等)
- ・ 健康食品について
- ・ 後発医薬品について
- ・ かかりつけ薬剤師、かかりつけ薬局について
- ・ 薬剤師の在宅訪問について

(平成30年度)

	実施地域	参加者数	対象者	講師等
1	直川向船場地区	13	地域高齢者	佐伯市薬剤師会、南部保健所
2	本匠笠掛地区	14		
3	宇目木浦地区	9		
4	鶴見地区	19		
5	蒲江波当津地区	11		
6	宇目塩見地区	13		

資料：南部保健所調べ

20 食品衛生

食中毒をはじめ飲食に起因する事故の発生防止と食の安全・安心を確保するため、営業許可施設及び給食施設等に対して、監視指導、講習会、啓発活動などを行った。

また、アレルギー物質をはじめ食品の適正表示については、スーパー、道の駅等の食品販売店に対して、振興局と合同監視を実施することにより、食品表示の適正化を図った。出前講座では、学校給食調理従事者等を対象に、ノロウイルス等による食中毒防止対策などの食品衛生に関する講習会を実施した。

(1) 監視指導

ア 許可を要する食品関係営業施設

(単位：か所、件)

(平成30年度)

総数		営業施設数 (年度末現在)	監視・指導施設数
		1,766	784
飲食店	一般食堂・レストラン等	441	100
	仕出し屋・弁当	82	27
	旅館	40	8
	その他	305	133
菓子(パンを含む)製造業		151	71
乳処		0	0
特別牛乳さく取処		0	0
乳製品製造業		0	0
集乳業		0	0
魚介類販売業		168	109
魚介類せり売り営業		6	8
魚肉ねり製品製造業		26	9
食品の冷凍または冷蔵業		21	23
かん詰またはびん詰食品製造業		3	4
喫茶店営業		97	27
あん類製造業		1	1
アイスクリーム類製造業		1	5
乳類販売業		152	75
食肉処		9	19
食肉販売業		121	81
食肉製品製造業		2	4
乳酸菌飲料製造業		0	0
食用油脂製造業		2	3
マーガリン又はショートニング製造業		0	0
みそ製造業		19	4
醤油製造業		0	0
ソース類製造業		1	0
酒類製造業		3	2
豆腐製造業		14	17
納豆製造業		0	0
めん類製造業		5	2
そうざい製造業		49	31
添加物製造業		2	2
食品の放射線照射業		0	0
清涼飲料水製造業		4	2
氷雪製造業		1	0
氷雪販売業		1	0
食品衛生条例	つけもの製造業	26	17
	こんにゃく製造業	11	0
	ところてん類製造業	0	0
	ふ製造業	0	0
食品行商条例	魚介類の行商	1	0
	アイスクリーム類の行商	0	0
	その他の	1	0

注：監視・指導施設数は延べ数

資料：南部保健所調べ

イ 許可を要しない食品関係営業施設

(単位：か所、件)

(平成30年度)

		営業施設数 (年度末現在)	監視・指導施設数
総 数		1,264	432
給食施設	学 校	11	12
	病 院 ・ 診 療 所	11	2
	事 業 所	1	0
	そ の 他	59	37
乳 さ く 取 業		3	0
食 品 製 造 業		98	6
野 菜 果 物 販 売 業		148	78
そ う ざ い 販 売 業		97	69
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		186	79
食 品 販 売 業		467	82
添加物(法第17条第1項の規定により規格が定められたものを除く)の製造業		3	0
添 加 物 の 販 売 業		96	41
氷 雪 採 取 業		0	0
器 具 ・ 容 器 包 装 、 お も ち や の 製 造 業 又 は 販 売 業		84	26

注：監視・指導施設数は延べ数

資料：南部保健所調べ

ウ 食品関係の違反・苦情

(単位：件)

(平成30年度)

	食 品 関 係									施 設 ・ 営 業						
	法 第 6 条				法第11条・18条等				表 示	そ の 他	法第50条・51条			有 症 苦 情	無 許 可 営 業	そ の 他
	腐 敗 ・ 変 敗	カ ビ の 発 生	異 物 の 混 入	そ の 他	成 分 規 格	保 存 基 準	添 加 物	そ の 他			の 不 衛 生 取 扱 い 品	不 衛 生 な 施 設	そ の 他			
違反	0	0	0	0	2	0	0	1	26	0	0	0	0	0	3	0
苦情	1	0	3	1	0	0	0	0	1	2	4	4	0	0	1	0

注：件数は延べ数

資料：南部保健所調べ

エ 食品・乳等試験検査

(ア) 食品・乳等試験検査状況 (収去検査結果：項目別)

(単位：件)

	総 数			検 査 項 目																			
	検 査 体 数	違 反 件 数	不 適 合 件 数	総 数			理 化 学 検 査																
				検 査 項 目 数	違 反 項 目 数	不 適 合 項 目 数	食 品 添 加 物																
							項 目 数	違 反 項 目 数	不 適 合 項 目 数	総 数		保 存 料		防 腐 剤		殺 菌 剤		漂 白 剤		発 色 剤		着 色 剤	
検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数				項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数	検 査 項 目 数	項 違 反 目 不 適 合 数			
総 数	126	2	7	3,874	2	7	3,675	-	-	49	-	36	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
総 数 (乳・乳製品以外)	126	2	7	3,874	2	7	3,675	-	-	49	-	36	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
魚 介 類	22	-	1	365	-	1	351	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷 凍 食 品	無 加 熱 摂 取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍 結 直 前 に 加 熱 後 摂 取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍 結 直 前 未 加 熱 の 後 摂 取	1	-	-	131	-	-	131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生 食 用 冷 凍 類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚 介 類 加 工 品	9	-	1	39	-	1	25	-	-	25	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肉 卵 類 及 び そ の 加 工 食 品	33	-	1	332	-	1	257	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
乳 製 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳 類 加 工 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓	6	2	-	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穀 類 及 び そ の 加 工 品	3	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野 菜 類 ・ 果 物 及 び そ の 加 工 品	44	-	3	2,848	-	3	2,777	-	-	16	-	12	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
菓 子 類	6	-	1	12	-	1	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清 涼 飲 料 水	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
酒 精 飲 料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
氷 雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
かん詰・びん詰食	1	-	-	131	-	-	131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 食 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
添 加 物 及 び そ の 製 剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
器 具 及 び 容 器 包 装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
お も ち ゃ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数 (乳・乳製品)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低 脂 肪 牛 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加 工 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：機動班を除く食監分と機動班分をあわせて計上
資料：食品衛生監視定期報告

(平成30年度)

検査項目																									
理化学検査				理化学検査												微生物学検査									
食品添加物				農薬	医薬品		抗生物質		ギアレ物質		換え伝食子組		その他		総数			成分規格		導衛・生基準指規		その他			
甘味料	酸化防止剤	検査項目数	違反・不適合		検査項目数	違反・不適合	検査項目数	違反・不適合	検査項目数	違反・不適合	検査項目数	違反・不適合	検査項目数	違反・不適合	検査項目数	違反・不適合	項目数	違反・不適合	項目数	違反・不適合	項目数	違反・不適合	項目数	違反・不適合	
9	-	2	-	2,637	-	488	-	12	-	1	-	-	-	488	-	199	2	7	16	2	169	7	14	-	総数
9	-	2	-	2,637	-	488	-	12	-	1	-	-	-	488	-	199	2	7	16	2	169	7	14	-	総数(乳・乳製品以外)
-	-	-	-	-	-	247	-	7	-	-	-	-	-	97	-	14	-	1	6	-	6	1	2	-	魚介類
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無加熱摂取品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冷凍品
-	-	-	-	114	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	食食品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	生食用冷凍類
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	14	1	-	-	魚介類加工品
1	-	-	-	-	-	241	-	5	-	-	-	-	-	5	-	75	-	1	3	-	60	1	12	-	肉卵類及びその加工食品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乳製品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乳類加工品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-	6	2	-	-	-	-	アイスクリーム類・氷菓
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	9	-	-	-	穀類及びその加工品
3	-	-	-	2,405	-	-	-	-	-	-	-	-	-	356	-	71	-	3	-	-	71	3	-	-	野菜類・果物及びその加工品
-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	9	1	-	-	菓子類
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	清涼飲料水
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	酒精飲料
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	氷雪
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	水
-	-	-	-	118	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	かん詰・びん詰食
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の食品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	添加物及びその製
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	器具及び包装
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	おもちゃ
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	総数(乳・乳製品)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	生乳
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	牛乳
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	低脂肪牛乳
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	加工乳
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の乳

(イ) 食品・乳等試験検査状況 (収去検査実施状況：検査機関別)

(単位：件)

(平成30年度)

	収去検体数		保健所検査室		衛環研(化)		衛環研(微)		登録検査機関		処 分				措 置		告 発 件 数
	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	営 業 許 可 取 消	営 業 禁 止 ・ 停 止	廃 棄 処 分	そ の 他	指 導 票 交 付	口 頭 説 論	
総 数	126	9	64	9	36	-	20	-	6	-	-	-	-	-	1	8	-
総 数 (乳・乳製品以外)	126	9	64	9	36	-	20	-	6	-	-	-	-	-	1	8	-
魚 介 類	22	1	6	1	7	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
冷 凍 食 品	無加熱摂取冷凍食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結直前に加熱された加熱後摂取冷凍食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結直前未加熱の加熱後摂取冷凍食品	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	生食用冷凍鮮魚介類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚 介 類 加 工 品	9	1	4	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
肉卵類及びその加工食品	33	1	16	1	7	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
乳 製 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳 類 加 工 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓	6	2	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
穀類及びその加工品	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野菜類・果物及びその加工品	44	3	26	3	16	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	
菓 子 類	6	1	3	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	
清 涼 飲 料 水	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
酒 精 飲 料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
氷 雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
かん詰・びん詰食品	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 食 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
添加物及びその製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
器具及び容器包装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
お も ち ゃ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数 (乳・乳製品)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低 脂 肪 牛 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加 工 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：1検体を複数の機関で検査する場合はそれぞれの欄に計上

資料：食品衛生監視定期報告

オ 食中毒発生状況

発生年度・月日	摂食者数	患者数	死者	病因物質	原因食品	原因施設
26 平成27年1月23日	45名	29名	0	ノロウイルス	飲食店提供料理	飲食店(一般)
27 該当なし						
28 平成28年8月1日	2名	2名	0	テトロドトキシン	トラフグ(推定)	家庭
28 平成29年2月24日	424名	53名	0	ノロウイルス	飲食店提供料理	飲食店(一般)
29 平成29年10月13日	3名	3名	0	植物性自然毒	ツキヨタケ	家庭
30 該当なし						

南部保健所調べ

(2) 食品衛生監視機動班

食品衛生監視機動班は、県南地区（南部・中部保健所管内）の輸出水産食品取扱認定施設や、添加物製造施設等に対しHACCP及び自主衛生管理の推進を行った。

ア 南部・中部地区の許可を要する食品関係営業施設に対する監視・指導施設状況 (平成30年度)

地区別 区分別		総数		南部保健所		中部保健所	
		営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数
総数		2,742	686	1,766	542	1,050	144
飲食店	一般食堂・レストラン等	747	67	441	56	306	11
	仕出し屋・弁当	135	28	82	20	53	8
	旅館	66	5	40	3	26	2
	その他	458	82	305	72	153	10
菓子（パンを含む）製造業		255	68	151	51	104	17
乳処業		0	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処業		0	0	0	0	0	0
乳製品製造業		0	0	0	0	0	0
集乳業		0	0	0	0	0	0
魚介類販売業		250	101	168	80	82	21
魚介類せり売り営業		8	8	6	8	2	0
魚肉ねり製品製造業		36	20	26	9	10	11
食品の冷凍または冷蔵業		23	28	21	23	2	5
かん詰・びん詰食品製造業		13	8	3	4	10	4
喫茶店営業		156	12	97	12	59	0
あん類製造業		1	1	1	1	0	0
アイスクリーム類製造業		6	6	1	5	5	1
乳類販売業		222	54	152	50	70	4
食肉処業		12	14	9	14	3	0
食肉販売業		180	67	121	63	59	4
食肉製品製造業		2	4	2	4	0	0
乳酸菌飲料製造業		0	0	0	0	0	0
食用油脂製造業		4	3	2	3	2	0
マーガリン又はショートニング製造業		0	0	0	0	0	0
みそ製造業		24	10	19	3	5	7
醤油製造業		4	8	0	0	4	8
ソース類製造業		3	2	1	0	2	2
酒類製造業		8	3	3	2	5	1
豆腐製造業		19	31	14	17	5	14
納豆製造業		0	0	0	0	0	0
めん類製造業		6	2	5	2	1	0
そうざい製造業		88	35	49	24	39	11
添加物(法第7条の規定による)の製造業		7	3	2	2	5	1
清涼飲料水製造業		4	2	4	2	0	0
氷雪製造業		4	0	1	0	3	0
氷雪販売業		1	0	1	0	0	0
食品衛生条例	つけもの製造業	53	13	26	12	27	1
	こんにゃく製造業	16	1	11	0	5	1
	ところてん類製造業	2	0	0	0	2	0
	ふ製造業	0	0	0	0	0	0
食品行商条例	魚介類の行商	1	0	1	0	0	0
	アイスクリーム類の行商	0	0	0	0	0	0
	その他	2	0	1	0	1	0

注：監視・指導施設数は延べ数

資料：南部保健所調べ

イ 南部・中部地区の許可を要しない食品関係営業施設に対する監視・指導施設数
(食品衛生機動班)

(単位：か所、件)

(平成30年度)

		総 数		南部保健所		中部保健所	
		営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数
総 数		1,951	331	1,264	314	687	17
給食施設	学 校	24	17	11	12	13	5
	病 院 ・ 診 療 所	18	2	11	2	7	0
	事 業 所	3	0	1	0	2	0
	そ の 他	99	37	59	37	40	0
乳 さ く 取 業		5	0	3	0	2	0
食 品 製 造 業		164	5	98	5	66	0
野 菜 果 物 販 売 業		282	65	148	61	134	4
そ う ざ い 販 売 業		188	33	97	32	91	1
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		277	63	186	60	91	3
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		574	65	467	62	107	3
添加物 (法第11条第1項の規定により規格が定められたものを除く)の製造業		3	0	3	0	0	0
添 加 物 の 販 売 業		156	31	96	30	60	1
氷 雪 採 取 業		0	0	0	0	0	0
器 具 ・ 容 器 包 装 、 お も ち ゃ の 製 造 業 又 は 販 売 業		158	13	84	13	74	0

注：監視・指導施設数は延べ数
資料：南部保健所調べ

2 1 環境衛生

(1) 水道普及状況

(単位:人、%、か所)

(平成28年度末現在)

	総人口	水道法に基づく施設						給水施設条例に基づく施設	
		給水人口	普及率	施設数					施設数
				上水道	簡易水道		専用水道		
					公営	組合営			
大分県	1,152,383	1,055,379	91.6	17	164	32	198	291	
佐伯市	70,506	69,936	99.2	1	28	-	3	4	

資料: 県環境保全課「大分県の水道」

(2) 建築物衛生管理施設

(単位:か所、件)

(平成30年度)

	登録営業所数	立入検査等件数
総数	7	2
建築物清掃業	3	1
建築物空気環境測定業	-	-
建築物飲料水水質検査業	-	-
建築物飲料水貯水槽清掃業	4	1
建築物ねずみ・昆虫等防除業	-	-
建築物環境衛生総合管理業	-	-
建築物空気調和用ダクト清掃業	-	-
建築物排水管清掃業	-	-

注: 登録営業所数は年度末現在、数値は延数

資料: 「特定建築物に対する立入検査の状況調査」

南部保健所調べ

(3) 特定建築物施設数及び立入検査状況

(単位:か所、回)

(平成30年度)

	施設数	立入検査等件数
総数	15	2
興行場	-	-
百貨店	2	1
店舗	5	-
事務所	5	-
学校	-	-
旅館	2	1
その他の特定建築物	1	-

注: 施設数は年度末現在、数値は延数

資料: 南部保健所調べ

(4) 生活衛生関係営業施設及び監視件数

(単位:か所、件)

(平成30年度末現在)

	総 数	旅館業				理 容 所	美 容 所	クリーニング所		公衆浴場		興行場	
		ホ テ ル	旅 館	簡 易 宿 所	下 宿			ク リ ン グ 所 ニ	取 次 所	一 般	そ の 他	映 画 館	そ の 他
佐伯市	617	9	51	61	5	154	252	14	55	1	14	-	1
監視件数	38	2	-	7	-	3	11	7	-	-	8	-	-

注:施設数は年度末現在
資料:南部保健所調べ

(5) 産業廃棄物処理業者

(単位:か所)

(平成30年度末現在)

	産業廃棄物処理業				特別管理産業廃棄物処理業			
	収 集 運 搬 業	処 分 業			収 集 運 搬 業	処 分 業		
		中 間 処 理	最 終 処 分	中 間 処 理・ 最 終 処 分		中 間 処 理	最 終 処 分	中 間 処 理・ 最 終 処 分
総 数	132	9	1	2	10	-	-	-
管 内 (佐伯市)	91	9	1	2	1	-	-	-
管 外	41	-	-	-	9	-	-	-

資料:南部保健所調べ

(6) 廃棄物の処理施設数及び監視件数

(単位:か所、件)

(平成30年度末現在)

	一般廃棄物処理施設								産業廃棄物処理施設等							
	ごみ処理施設				最終処分場				中間処理				最終処分			
	ごみ焼却施設		その他の施設		し尿処理施設		焼却		その他		安定型		管理型			
	施 設 数	監 視 件 数	事 業 場 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数								
佐伯市	1	0	-	-	2	5	1	0	-	-	11	864	4	305	1	41

注:施設等数は年度末現在
資料:南部保健所調べ

(7) 浄化槽設置状況

(単位:基)

(平成30年度末現在)

	設置基数		
	総数	単独	合併
佐伯市	13,094	5,389	7,705

資料:南部保健所調べ

(8) 浄化槽保守点検業の登録及び監視件数

(平成30年度末現在)

	登録数	監視件数
佐伯市	10	4

資料:南部保健所調べ

(9) 水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定事業場

(単位:か所、件)

(平成30年度)

	特定事業場数	監視件数
総数	493 (44)	45
鉱業	()	
畜産業	18 ()	
畜産食料品製造業	9 ()	
水産食料品製造業	57 (2)	5
野菜・果実の保存食料品製造業	22 ()	
みそ等製粉製造業	7 ()	
小麦粉製造業	()	
砂糖製糖製造業	()	
パン・菓子等製造業	1 ()	
米菓製造業	1 ()	
飲料料製造業	12 ()	
動物系飼料等製造業	7 ()	
動植物油脂製造業	()	
イースト製粉製造業	()	
でん粉又は化工でん粉の製造業	()	
ブドウ糖又は水あめ製造業	()	
めん類製造業	5 ()	
豆腐・煮豆製造業	38 ()	
インスタントコーヒー製造業	()	
冷凍調理食品製造業	1 ()	
たばこ製煙製造業	()	
紡績業・繊維製品製造業	()	
洗毛繊維製造業	()	
化学繊維製造業	()	
一般製材業	3 ()	
合板製材業	()	
パテイクルボード製造業	()	
木材薬品処理業	1 ()	
パルプ・紙等製造業	1 ()	
新聞業、出版業、印刷業	()	
化学肥料製造業	()	
無機顔料製造業	()	
無機化学工業製品製造業	()	
カーバイド法アセチレン誘導品製造業	()	
コーラルタール製品製造業	()	
発酵工製品製造業	1 (1)	2
メタン誘導品製造業	()	
有機顔料又は合成染料製造業	()	
合成樹脂製造業	()	
合成ゴム製造業	()	
有機ゴム薬品製造業	()	
合成洗剤製造業	()	
石油化学工業業	()	
石けん製工業業	()	
界面活性剤製工業業	()	
硬脂酸製工業業	()	
脂肪酸製工業業	()	
香料製造業	()	
ゼラチン又はにかわ製造業	()	
写真感光材料製工業業	()	
天然樹脂製品製工業業	()	

(9) 水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定事業場

(単位:か所、件)

(平成30年度)

	特定事業場数	
木	()	
有	()	
医	1 (1)	
火	()	
農	()	
試	()	
石	()	
自 動 車 用 タ イ ヤ も し く は 自 動 車 用 チ ュ ー ブ の 製 造	()	
医 療 用 も し く は 衛 生 用 の ゴ ム 製 品 製 造	()	
皮	()	
ガ	()	
セ	3 ()	
生	32 ()	
有	()	
人	()	
窯	()	
砕	1 ()	4
砂	2 ()	
鉄	()	
非	1 ()	
金	()	
空	()	
石	()	
ガ	()	
水	()	
酸	1 ()	
電	()	
エ	()	
旅	153 (1)	11
共	()	
弁	()	
通 常 主 食 と 認 め ら れ る 食 事 を 提 供 し な い 飲 食 店	()	
料 亭 、 バ ー 、 キ ャ バ レ ー 、 ナ イ ト ク ラ ブ そ の 他 の 飲 食 店	()	
飲	()	
洗	16 ()	1
写	10 ()	
病	()	
と	()	
中	()	
地	()	
廢	()	
自	()	
自	40 ()	
試	7 (3)	
一	1 ()	
産	()	
テ	()	
テ	()	
し	20 (19)	12
下	4 (4)	1
共	()	
指	17 (13)	9

注:1) ()は、瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定事業場を再掲

2) 特定事業場数は年度末現在。複数の特定施設を設置している事業場があるため、各特定施設の施設数の和は合計に一致しない

3) 立入検査件数は延数

4) 特定事業場は調査年度によって変更・追加

資料: 南部保健所調べ

(10) 自動車リサイクル法に関する届出、フロン排出抑制法に関する登録

(平成30年度末現在)

	登録数	許可数
自動車引取業	31	
自動車フロン回収業	9	
自動車解体業		3
自動車破砕業		-
第1種フロン類充填回収業者	17	

※ 南部保健所 受付分に限る

資料：南部保健所調べ

(11) 大分県土砂等のたい積行為の規制に関する条例に関係した特定事業の許可数及び監視件数

(平成30年度)

	許可数	監視件数
佐伯市	4	28

資料：南部保健所調べ

(12) 一定の規模以上の土地の形質の変更届出数

(平成30年度)

	届出数
佐伯市	13

資料：南部保健所調べ

(13) 化製場等に関する法律に関係した施設数

(平成30年度末現在)

	化製場	魚介類鳥類等製造施設	貯蔵施設	死亡獣畜施設	畜舎・家きん舎
佐伯市	-	2	-	-	-

資料：南部保健所調べ

22 おおいたうつくし作戦

県では、身近なごみ問題から地球温暖化問題といった地球規模に至る環境課題の解決に向けて、平成15年度から「ごみゼロおおいた作戦」を展開している。平成27年度からは、これまでの成果を活かしてこれをステップアップさせた「おおいたうつくし作戦」がスタートしたことにあわせ、当保健所管内においても、県の各機関、佐伯市、市民及び事業者と協働して、各種事業を展開している。

(1) 豊かな水環境の保全

佐伯市は、市の代表的な河川である番匠川をはじめとした水環境の豊かな地域であるが、将来にわたっての保全と、より一層の向上を図るため、大分県環境教育アドバイザー制度等の活用を通じて、各種啓発活動等を行っている。

ア 水環境保全団体等との協働による啓発活動の実施

河川清掃や水生生物調査等の活動を通じて、子ども達の水環境保全意識の高揚を図っている。

イ 小規模事業場排水の改善指導

排水基準のかからない小規模事業場に対し、適切な排水処理施設の設置等の指導、助言を行っている。

(2) 循環型社会形成推進事業

ア おおいたうつくし推進隊の活動支援

現在、管内では13団体がおおいたうつくし推進隊として登録されており、各種環境活動を実施している。

イ 不法投棄廃棄物撤去事業の実施

平成17年度からスタートした産業廃棄物税を利用した廃棄物不法投棄防止対策事業の一環として、毎年実施している。

実施時期	撤去場所	撤去廃棄物量
平成30年10月	佐伯市蒲江大字葛原浦 (県道古江丸市尾線沿い)	木くず 3.09t
平成30年10月	佐伯市大字堅田 (県道佐伯蒲江線沿い)	家庭ごみ等 1.79t

ウ 建設リサイクルパトロールの実施

佐伯労働基準監督署及び佐伯市と合同で、建設リサイクル法に係る全国一斉パトロールに併せて春及び秋の2期に、分別解体の確認、標識の掲示、フロン類の適正処理等について監視・指導を行っている。

エ 産業廃棄物監視員による定期的な監視指導の実施

県では、排出事業者や処理業者に対する指導監督を強化し適正処理を推進するため、県内6班12名体制の産業廃棄物監視員を配置している。当保健所管内においても1班2名の産業廃棄物監視員による定期的な監視指導を実施している。

2 3 狂犬病予防及び動物愛護

(1) 狂犬病予防業務

	登録頭数		狂犬病予防注射頭数			捕獲頭数	返還頭数	咬傷件数
	総数	新規	総数	集合	個別			
平成28年度	3,404	182	1,974	840	1,134	25	8	3
平成29年度	3,353	162	1,841	775	1,066	30	9	1
平成30年度	3,002	180	1,759	697	1,062	26	8	5

資料：南部保健所調べ

(2) 犬・猫による苦情

(単位：件)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	犬	猫	犬	猫	犬	猫
総数	143	455	136	438	116	383
引き取り依頼	17	46	14	12	19	34
捕獲依頼	40	14	32	9	32	15
放し飼い取締り	5	12	13	11	7	1
捨て犬・猫	2	6	1	3	3	1
咬傷等危害の発生	3	-	1	-	1	-
鳴き声	12	3	10	1	1	2
糞尿など汚物・悪臭	4	25	9	12	7	12
行方不明等問合せ	38	35	30	11	22	8
死体収容依頼	7	291	8	357	6	284
その他	15	23	18	22	18	26

資料：南部保健所調べ

(3) 犬・猫の引き取り頭数

(単位：頭)

	猫の総数	飼えなくなった猫			所有者のいない猫			犬の総数	飼えなくなった犬			所有者のいない犬		
		総数	生後91日以上	生後91日未満	総数	生後91日以上	生後91日未満		総数	生後91日以上	生後91日未満	総数	生後91日以上	生後91日未満
平成28年度	管内	110	21	4	17	89	23	66	14	14	14	-	-	-
	管外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成29年度	管内	71	6	6	-	65	12	53	12	4	4	-	8	8
	管外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成30年度	管内	65	17	10	7	48	11	37	13	10	10	-	3	3
	管外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：南部保健所調べ

(4) 動物愛護事業

動物ふれあい教室実施状況

(平成30年度実施分)

実施日	学校名	対象者数
平成30年10月4日	八幡小学校	41名(1, 2年生)
平成30年10月11日	佐伯東小学校	36名(1年生)
平成30年10月19日	佐伯東小学校	32名(2年生)
平成30年11月9日	切畑小学校	30名(1, 2年生)

資料：南部保健所調べ

(5) 特定動物の飼養保管許可施設と飼養数(飼養形態別)

(単位：件)

飼養形態	総数				ほ乳綱													鳥綱		は虫綱			
					目				霊長目			食肉目		長鼻目	奇蹄目	偶蹄目		たか目	かめ目	とかけ目		わに目	
	総数	ほ乳綱	鳥綱	は虫綱	科	おながざる科			てながざる科	ひと科	くま科	ねこ科		ぞう科	さかい科	かきりん科	うし科	コンドル科	かみつきがめ科	ボア科	くさりへび科	アリゲーター科	クロコダイル科
						マカク属	ヒヒ属	オナガザル属				チンパンジー属	ヒョウ属										
愛がん用・販売用・試験研究用・展示用	施設数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	種類数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	頭数	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

資料：南部保健所調べ

(6) 第一種動物取扱業の登録状況

(平成30年度末現在)

	登録施設数	業種別内訳				
		販売	保管	貸出	訓練	展示
佐伯市	24	10	12	-	-	2

資料：南部保健所調べ

24 試験検査

(1) 臨床検査（糞便、喀痰、血液検査）

（単位：件）平成30年度

		検査件数	
総 数		519	
糞 便	赤痢等検査	222	
	O157等検査	26	
	感染症に係るもの	-	
	食中毒に係るもの	-	
	寄生虫卵 その他	-	
喀 痰	結核菌検査	塗抹	5
		培養	5
	その他（QFT検査）	139	
血 液	HIV抗体迅速検査	20	
	HBs抗原検査	28	
	HCV抗体検査	28	
	梅毒	RPR	17
		TPHA	17
クラミジア抗原	12		

(2) 臨床検査（細菌検査）

（単位：件）平成30年度

		検査件数	収去検査	食中毒・ 感染症等	依頼検査
細 菌 検 査	総 数	206	206	-	-
	細 菌 数	61	61	-	-
	大 腸 菌 群	38	38	-	-
	E . c o l i	49	49	-	-
	E . c o l i 最 確 数	-	-	-	-
	O 1 5 7	-	-	-	-
	黄色ブドウ球菌	49	49	-	-
	サルモネラ	-	-	-	-
	腸炎ビブリオ	3	3	-	-
	腸炎ビブリオ最確数	6	6	-	-
	カンピロバクター	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-

資料：保健所調べ

注：拭き取り検査を含む

IV 福祉部門

1 生活保護の状況

(1) 生活保護実施状況

(毎年4月1日現在)

区分	世帯数	人口	被保護世帯数	被保護人員	保護率	医療扶助人員	医療扶助率	介護扶助人員	介護扶助率
	(世帯)	(A) (人)	(世帯)	(B) (人)	(B) / (A) (%)	(C) (人)	(C) / (B) (%)	(D) (人)	(D) / (B) (%)
佐伯市									
平成29年	29,504	71,113	899	1,116	1.56	891	79.84	250	22.40
平成30年	29,422	70,107	887	1,102	1.57	856	77.68	243	22.05
平成31年	29,481	69,022	903	1,117	1.61	819	73.32	243	21.75

資料：世帯数及び人口は、県統計調査課「大分県の人口推計」（平成28年～平成30年10月1日現在）
その他は市町村調べ

(2) 生活保護世帯の世帯類型別状況

(単位：世帯数)

(毎年4月1日現在)

区分	総数	世帯類型別（世帯）				
		高齢者世帯	母子世帯	傷病世帯	障害者世帯	その他世帯
佐伯市						
平成29年	899	508	16	100	89	186
平成30年	887	546	14	117	77	133
平成31年	903	575	14	99	76	139

注意：停止世帯を除く
資料：市町村調べ

2 母子及び父子並びに寡婦福祉の状況

(1) 母子、父子及び寡婦世帯数

(単位：世帯、%)

(毎年4月1日現在)

区分	全世帯数	母子世帯数	割合	父子世帯数	割合	寡婦世帯数	割合
	A	B	B/A(%)	C	C/A(%)	D	D/A(%)
佐伯市							
平成29年	29,504	671	2.2	73	0.2	-	-
平成30年	29,422	662	2.2	71	0.2	-	-
平成31年	29,481	672	2.2	65	0.2	-	-

資料：市町村調べ（寡婦(夫)医療費助成に関する条例一部改正の資料より）

注1：全世帯数は、県統計調査課「大分県の人口推計」（平成28年～平成30年10月1日現在）

注2：停止世帯を除く

(2) 母子世帯の年齢

(単位：世帯、%)

(毎年4月1日現在)

区分	総数	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳以上	生活保護世帯(再掲)
佐伯市						
平成29年	671	79	252	293	47	15
平成30年	662	231	80	302	49	14
平成31年	672	246	76	297	53	14

資料：市町村調べ

注：停止世帯を除く、生活保護世帯数は母子世帯合計の内数

3 児童福祉

平成15年7月に制定された次世代育成支援推進法や、平成24年に制定された子ども・子育て支援法などを受けて、県では平成27年3月に「おおいた子ども・子育て応援プラン（第3期計画）を策定した。この計画に基づき次代を担う子どもの成長と子育てを社会全体で支援するための取り組みを計画的に推進していく必要がある。

(1) 家庭児童相談室における相談処理状況

(単位：件数)

(平成30年度)

相談内容 佐伯市	処 理 人 数	総 数	生 性 活 習 格 等 ・	知 能 ・ 言 語	学校生活等			非 行	家族関係		環 境 福 祉	心 身 障 害	そ の 他
					人 間 関 係	不 登 校	そ の 他		虐 待	そ の 他			
平成30年度	131	131	11	1	-	10	-	1	60	38	-	4	6
構成比 %			8.4	0.8	-	7.6	-	0.8	45.8	29.0	-	3.1	4.5
平成29年度	81	81	15	-	-	5	-	4	21	26	-	1	9
構成比 %			18.5	-	-	6.2	-	4.9	26.0	32.1	-	1.2	11.1

資料：市町村調べ（新規の受理として共同管理台帳に取り上げられた児童数）

(2) 児童福祉施設等入所状況

(単位：人)

(平成31年4月1日現在)

種 別	市町村名		
	施設名	佐伯市	
保 育 所	公 立	147	
	私 立	606	
認 定 こ ど も 園	公 立	158	
	私 立	600	
合 計		33	
乳 児 院	栄 光 園	0	
	小 計	0	
児 童 養 護 施 設	小 百 合 ホ ー ム	0	
	森 の 木	4	
	栄 光 園	3	
	光 の 園	0	
	別 府 平 和 園	1	
	清 浄 園	1	
	聖 ヨ ゼ フ 寮	0	
	山 家 学 園	7	
	鷹 巢 学 園	1	
	県 外 施 設	0	
	小 計	17	
児 童 自 立 支 援 施 設	二 豊 学 園	0	
	小 計	0	
児 童 心 理 治 療 施 設	愛 育 学 園 は ば た き	0	
	小 計	0	
福 祉 型 障 害 児 入 所 施 設	知 的	み ず ほ 学 園	0
		大 分 県 糸 口 学 園	0
		第 1 み の り 学 園	0
		木 埋 学 園	4
	小 計	4	
	盲 ろ う あ	清 明 あ げ ぼ の 学 園	1
小 計		1	
医 療 型 障 害 児 入 所 施 設	肢 体	西 別 府 病 院	0
		別 府 整 肢 園	1
		つ く し 園	0
		小 計	1
	重 心	西 別 府 病 院	0
		め じ ろ 園	0
		恵 の 聖 母 の 家	0
		小 計	0
	里 親 ・ フ ァ ミ リ ー ホ ー ム		10

資料：県子ども未来課、子ども・家庭支援課、障害福祉課調べ

注1：保育所については、保育所型認定子ども園を含む

注2：認定子ども園については、幼保連携型及び幼稚園型認定子ども園

5 障がい者（児）福祉

(1) 身体障害者手帳交付状況及び身体障害者相談員数

(単位：人)

年	区分	総数	視覚	聴覚	音声言語	肢	内	身体障害者 相談員
			障がい	障がい	そしゃく障がい	不自由	部障がい	
平成30年 4月1日現在		4,811	357	372	50	2,640	1,392	11
		(48)		(8)		(24)	(16)	-
平成31年 4月1日現在		4,755	348	366	46	2,598	1,397	10
		(49)		(9)		(24)	(16)	-

資料：市町村調べ

() 内は身体障がい児再掲

(2) 療育手帳交付状況及び知的障害者相談員数

(単位：人)

年	区分	総数			知的障がい者(18歳以上)			知的障がい児(18歳未満)			知的障害者 相談員
		総数	A	B	総数	A	B	総数	A	B	
平成30年 4月1日現在		767	268	499	664	228	436	103	40	63	3
平成31年 4月1日現在		796	272	524	687	229	458	109	43	66	3

資料：市町村調べ

A：重度 B：中軽度

4 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員等の状況

(単位:世帯、人)

(平成30年度)

内容	大分県	佐伯市
世帯数	493,343	29,481
民生委員・児童委員数	2,085	233
主任児童委員数	214	28

注：世帯数は平成30年10月1日現在、民生委員・児童委員数、主任児童委員数は平成28年12月1日現在(一斉改選時)

資料：世帯数は県統計調査課「大分県の人口推計」、民生委員・児童委員数及び主任児童委員数は県福祉保健企画課地域福祉班

(2) ユニバーサルデザイン（出前授業実施状況）

大分県ではユニバーサルデザイン推進のために小中学校で出前授業を行っている。

パワーポイントを用いた説明やユニバーサルデザインに基づいて作られた文房具等の使用体験により、誰にとっても身近な、大切なものであることを広めた。

実施日	学校名	時間	対象児童数
平成30年10月4日	佐伯市立明治小学校（5年生）	13：20～14：55	22
平成30年12月12日	佐伯市立鶴見中学校（1・2・3年生）	13：15～14：50	52

(3) 大分あったか・はーと駐車場利用証交付状況

大分県では、平成23年12月から、車いすマーク駐車場の適正利用を推進し、車いすを使用している方や歩行が困難な方など、車いすマーク駐車場を本当に必要としている方が安心して利用できるようにするために、「あったか・はーと駐車場利用証制度」をスタートしました。

(単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度
総数	120	123	166
身体障がい者	75	64	102
知的障がい者	2	4	3
精神障がい者	-	-	-
高齢者	3	4	9
難病者	9	12	16
妊産婦	27	36	33
けが人	1	-	1
その他	3	3	2

資料：南部保健所調べ

V 參考資料

1. 調査研究報告等

(平成30年度)

No	テ ー マ	調 査 研 究 レ ポ ー ト 作 成 者	種 別
1	レジオネラ属菌比色系パルサー法迅速検出検査について	江川英明	平成30年度環境衛生監視員等事例研究発表会
2	豆腐製造基準の遵守状況調査とHACCP導入支援による改善指導について（第1報）	山瀬敬治	平成30年度食品衛生監視員・と畜食鳥検査員・狂犬病予防員研究発表会
3	平成30年度HACCP推進モデル事業（菓子製造業）の指導報告について	片岡愛子	平成30年度食品衛生監視員・と畜食鳥検査員・狂犬病予防員研究発表会
4	地域の健康課題解決に向けた保健所の役割（第2報） ～健康経営事業所に焦点をあてたがん検診受診率向上の取組～	市原恭子	第64回大分県公衆衛生学会

平成30年度 南部保健所行動計画

I-① 健康寿命日本一に向けた取組～健康づくりの推進～

- ◆ 健康づくり関係者と協働し、青壮年期の健康づくり及び生活習慣病予防を推進します。
- ◆ 市民による主体的な健康づくりが実践できるよう機運の醸成を図ります。
- ◆ 健康無関心層への働きかけ及び自然と健康的に生活できる社会環境の整備を図ります。

I-② 健康寿命日本一に向けた取組～地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護の連携～

- ◆ 多職種連携強化及び医療・介護ケアの質の向上を図り、地域包括ケアシステムを推進します。
- ◆ 佐伯市と協働し、在宅医療・介護連携体制の整備を推進します。

II-① 健康危機管理の拠点としての機能の充実～平時からの健康危機管理体制及び事案発生時の対応の充実

- ◆ 健康危機管理連絡会議を通じて管内各関係機関との連携を図るとともに、感染症や食中毒をはじめとした健康危機管理訓練の実施により、健康被害発生時及び災害発生時等の迅速かつ適切な対応を図ります。
- ◆ ホームページ等を活用し、適時、感染症などの健康危機管理情報を地域住民や社会福祉施設関係者等へ提供します。
- ◆ 消毒インストラクター養成講習会や食中毒予防啓発講習の開催等を通じて、社会福祉施設関係者等へ感染症予防や食中毒防止の周知を図ります。

II-② 健康危機管理の拠点としての機能の充実～大規模イベントにおける食品・生活衛生対策(営業施設の指導等)の推進～

- ◆ 大規模イベントでの食中毒防止を図ります。
- ◆ 大規模入浴施設における衛生基準の遵守徹底を図ります。

III おおいたうつくし作戦の推進

- ◆ 環境教育を推進します。
- ◆ 事業場排水や生活排水の対策を推進します。
- ◆ 廃棄物の不法投棄・不適正処理対策を強化します。

I-① 健康寿命日本一に向けた取組～健康づくりの推進～

現状と課題

平成26年度から、関係機関と一丸となり、働き盛りの健康づくり対策に取り組み、健康経営事業所の登録数は増加している。しかし、事業所単位の健康づくりの取組には、未だ温度差がみられ、事業所へのアプローチの更なる強化が必要である。

また、平成28年度県民健康意識行動調査で、がん検診を「受けた」と回答した割合が県内他市町村と比較して低かったことから、平成29年度に所内プロジェクトを立ち上げ、佐伯市や関係機関と協働し、女性のがん検診受診率向上対策に取り組んでいる。

「第二次生涯健康県おおいた21中間評価・改定」を踏まえ、働き盛り世代に焦点を当て、女性のがん検診に対する受診行動・意識調査をはじめ、佐伯市や商工会、県振興局等との連携を図り、健康経営事業所等への出前講座や情報発信など受診のきっかけづくりと継続受診の促進を図る。

また、市民による主体的な健康づくりが実践できるよう機運の醸成を図ると共に、健康無関心層への働きかけ及び自然と健康的に生活できる社会環境の整備を図る必要がある。

保健所が実施すべき対策

1 働き盛り世代の健康づくり対策の実施

- (1) 管内中小企業への健康づくりの支援
 - ① 未登録事業所対策
 - ② 登録事業所対策
 - ③ 認定事業所対策
- (2) 地域職域連携会議の開催
- (3) 健康経営事業所応援セミナーの開催

2 地域の健康課題に応じた対策の推進

- (1) 地域の健康課題対策推進事業の実施
 - ① 受診行動・意識の特性把握
 - ② 受診のきっかけづくりと継続受診の促進
- (2) 総合的な自殺対策の推進及び市自殺対策計画策定支援

3 健康を支援する環境の整備

- (1) 健康応援団登録（受動喫煙部門、食の環境整備部門）
- (2) うま塩メニュー提供店の拡大、広報・活用推進

目標指標

1 働き盛り世代の健康づくり対策の実施

- (1) 生涯健康県おおいた21推進協力事業所（健康経営部門）登録数の増加
102か所 ⇒ 112か所
- (2) 認定事業所数の増加
23か所 ⇒ 26か所
- (3) 健康経営事業所応援セミナー参加事業所数の増加
23か所 ⇒ 26か所

2 地域の健康課題に応じた対策の推進

- (1) 健康経営事業所への検診車によるがん検診の実施支援（年4回）
- (2) 健康講話等の実施（健康経営事業所4か所）
- (3) 女性のがん検診受診行動・意識調査（旧町村部を含む9か所）
- (4) 健康フェスタの開催（市が実施するがん検診と共同開催）（年1回）
- (5) がん検診未受診者の特性に応じた普及啓発（適時）
- (6) 自殺対策研修会の実施（年1回）
- (7) 佐伯市自殺対策連絡協議会への参画（年1回）

3 健康を支援する環境の整備

- (1) 健康応援団（受動喫煙部門）登録事業所数の増加
49か所 ⇒ 59か所
- (2) 健康応援団（食の環境整備部門）登録事業所の増加
新規登録事業所プラス1（17か所 ⇒ 18か所）
- (3) うま塩メニュー提供店数の増加
新規登録事業所プラス1（3か所 ⇒ 4か所）

I-② 健康寿命日本一に向けた取組～地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護の連携～

現状と課題

佐伯市の高齢化率は38.8%※1であり、将来推計※2ではこの割合が高くなっていくことが予想されており、2025年には42.8%、2040年には46.1%とおよそ2人に1人が高齢者になる見込みである。

更に、難病や小児慢性特定疾病等の患者においても在宅での療養を希望する者も年々増えてきている。

このような実情を踏まえ、全世代型の地域包括ケアシステムの構築のため、地域の中で医療と介護サービスが一体的に提供されるよう、医療・介護連携のさらなる推進が必要である。

南部保健所管内では、平成25年度から佐伯市医師会・佐伯市と協働して在宅医療・介護連携体制の整備に取り組んできた。

平成27年度からは、佐伯市が中心となり「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組んでおり、事業が効率的・効果的に実施できるよう支援を行っている。

引続き、多職種の連携強化及び医療・介護ケアの質の向上を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進していく。

保健所が実施すべき対策

1 多職種の資質向上と連携強化の推進

- (1) 病院・診療所・訪問看護・介護施設の看護職員連携会議の開催及び研修の実施
- (2) 障がいや疾病に係る検討会議の開催
 - ① 難病対策地域協議会の開催
 - ② 小児慢性特定疾病児の自立支援検討会の開催
 - ③ かかりつけ医と精神科医の連携会議の開催

2 在宅医療・介護連携の推進及び人材育成等佐伯市への支援

- (1) 高齢者にやさしい地域づくり協議会への参画
- (2) 在宅医療・介護連携推進事業への支援
- (3) 介護予防に係る人材育成への支援
- (4) 糖尿病性腎症重症化予防事業への支援

3 医薬品の適正使用・薬剤師の在宅訪問に関する啓発

- (1) お薬健康相談会の開催

目標指標

1 多職種の資質向上と連携強化の推進

- (1) 介護予防圏域検討会の開催（年1回）
- (2) 佐伯地域看護ネットワーク推進会議（年7回）
- (3) 介護施設・医療機関等連携推進会議（年1回）
- (4) 医療機関と在宅を結ぶ看護職相互交流研修（年1回、参加者30人）
- (5) 難病対策地域協議会（年1回）
- (6) 小児慢性特定疾病児の自立支援検討会（年1回）
- (7) かかりつけ医と精神科医の連携会議（年1回）

2 在宅医療・介護連携の推進及び人材育成への支援

- (1) 高齢者にやさしい地域づくり協議会への参画
（本協議会（年2回）、在宅医療・介護連携部会（年4回）、認知症部会（年4回））
- (2) 介護予防従事者を対象とした研修の企画・立案への支援（年2回）

3 医薬品の適正使用・薬剤師の在宅訪問に関する啓発

- (1) お薬健康相談会の開催（年5回）

※1 県統計調査課「大分県の人口推計（平成29年10月1日現在）」

※2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

Ⅱ－① 健康危機管理の拠点としての機能の充実～平時からの健康危機管理体制及び事案発生時の対応の充実

現状と課題

インフルエンザ等の感染症の集団発生や食品等による健康被害は全国的に後を絶たない。また、新型インフルエンザやデング熱などの新興・再興感染症の発生も懸念されている。

保健所は健康危機管理の拠点として、平常時から種々の健康危機管理事案の発生に備え、佐伯市、佐伯市医師会等関係機関相互の協力体制の確立及び予防対策や事案発生時の迅速かつ適切な対応による健康被害の拡大防止を図る必要がある。

また、佐伯地域は、南海トラフ巨大地震等による津波浸水被害が予測される地域であり、平成29年には台風18号による水害にも見舞われたことから、災害時における保健所機能及び地域の保健医療機能の維持を図るため万全の方策を講じる必要がある。

保健所が実施すべき対策

- 1 健康危機管理体制の充実
 - (1) 健康危機管理連絡会議の開催
 - (2) 健康危機管理情報の提供（ホームページ等）
- 2 健康危機管理訓練の実施
 - (1) 新型インフルエンザ患者搬送訓練
 - (2) 南部保健所アクションカードを用いた行動訓練（EMIS※1 入力訓練・衛星携帯電話通話訓練・避難訓練等）
 - (3) 南海トラフ巨大地震等を想定した関係機関との合同訓練（避難所運営訓練等）
- 3 平時の感染防止対策の強化
 - (1) 消毒インストラクター※2養成講習会の開催
 - (2) 社会福祉施設の概要把握
- 4 食品による健康被害防止対策の実施
 - (1) 食中毒予防啓発講習の実施

目標指標

- 1 健康危機管理体制の充実
 - (1) 健康危機管理連絡会議（年1回以上）
 - (2) 健康危機管理情報の提供
 - ①あなたの街の感染症情報のホームページ掲載（毎週）
 - ②各種情報媒体を用いた注意喚起（適時）
- 2 健康危機管理訓練の実施

各訓練を年1回以上実施
- 3 平時の感染防止対策の強化
 - (1) 消毒インストラクター養成講習会（年1回）
 - (2) 施設概要調査票（フェイスシート）による状況把握
- 4 食品による健康被害防止対策の実施
 - (1) 食中毒予防啓発講習（ノロウイルス対策）の実施
 - ①出前講座（適時）
 - ②食品衛生講習（年4回）



※1 広域災害救急医療情報システムのこと。災害時に被災した都道府県を越えて、医療機関の稼働状況など災害医療に関わる情報を共有し、被災地域での迅速かつ適切な医療・救護に関わる各種情報を集約・提供する。

※2 消毒等に関する専門的な知識及び技術を有する社会福祉施設等の職員。保健所での講習受講後に、筆記試験、実技試験に合格した者を消毒インストラクターとして認定している。

II-② 健康危機管理の拠点としての機能の充実

～大規模イベントにおける食品・生活衛生対策(営業施設の指導等)の推進～

現状と課題

今年度10月6日から11月25日の期間、第33回国民文化祭・おおいた2018と第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会が本県各地で開催される。

また、来年度はラグビーワールドカップの試合が当県においても開催される予定である。

これらイベントでは、国内外から多数の関係者や旅行者が来県し、飲食店や宿泊施設、入浴施設等の利用者増加が見込まれるとともに、地元食材等を使用した食品の提供イベントの開催等も計画されている。

そこで、旅館・ホテル、大規模イベントでの食品提供による食中毒事故の防止のため、食の安全性確保に有効な手法であるHACCPシステム※1の導入や食物アレルギー食中毒対策の徹底、食品提供イベント主催者等への自主衛生管理の指導、また、大規模入浴施設における衛生管理基準の遵守徹底を図る必要がある。

保健所が実施すべき対策

1 食中毒防止対策

- (1) 旅館・ホテル等飲食店での食中毒防止対策
- (2) 大規模イベントでの食中毒防止対策
- (3) 飲食店等への食物アレルギー対策

2 大規模入浴施設における衛生対策

- (1) 大規模入浴施設に対する立入調査、衛生指導の実施

目標指標

1 食中毒防止対策

- (1) 旅館・ホテル等旅行者が多く利用する営業施設の指導
監視回数 2回
HACCPシステム導入に向けての事前研修会の開催 1回
- (2) 大規模イベント関連営業施設の指導
監視回数 1回 講習会回数 1回
- (3) 飲食店等への食物アレルギー対策
食物アレルギーに関する指導施設数 2施設

2 大規模入浴施設における衛生対策

- (1) 大規模入浴施設に対する監視指導 3施設

※1：HACCPシステムは、最終食品の検査によって食品の安全性を確保しようとする管理法ではなく、危害分析(HA)に基づき、重点的に管理すべき工程を重要管理点(CCP)として定め、その工程を連続的に管理することにより、製品ひとつひとつの安全性・品質を確保する手法のこと。

Ⅲ おおいたうつくし作戦の推進

現状と課題

大分県の美しい自然と快適な環境を守り将来に継承するため、平成15年度から「ごみゼロおおいた作戦」を展開してきたが、参加者数の伸び悩みや高齢化などにより、活動が縮小傾向になってきた。そのため、平成28年度からは「ごみゼロおおいた作戦」をステップアップさせた「おおいたうつくし作戦」を展開している。地域活性化（まちづくり）の視点を盛り込むことで若い世代を巻き込むなど、裾野拡大と担い手の確保を図り、県民総参加の取組にしていく必要がある。

佐伯市は、「さいき903エコプラン（環境基本計画）」で、「人と環境が共生し、豊かな自然を未来に引き継ぐまち・佐伯」の創造に取り組んでいる。特に、第1次佐伯市総合計画で「番匠川を九州一の清流に」を目標に掲げていることから、豊かな水環境の創出のため、小規模事業場排水対策や生活排水対策を推進する必要がある。特に、生活排水処理施設である浄化槽からの放流水質を適正に保つため、浄化槽設置者（管理者）に対し、保守点検、清掃の実施及び法定検査の受検の徹底を指導する必要がある。

また、不法投棄などの廃棄物の不適正処理は依然として後を絶たず、平成29年度は管内で9件（平成27年度4件、平成28年度14件）の通報が寄せられており、関係行政機関と連携して不法投棄・不適正処理対策を強化する必要がある。

保健所が実施すべき対策

- 1 すべての主体が参加する美しく快適な県づくり
 - (1) 環境教育アドバイザーの派遣等による環境教育の推進
- 2 豊かな水環境保全の推進
 - (1) 小規模事業場（日排水量50m³未満）立入検査計画に基づく監視指導の実施
 - (2) 生活排水対策の推進
 - ① 浄化槽法定検査未受検者への指導の実施
 - ② 浄化槽管理者講習会の開催
- 3 廃棄物の不法投棄・不適正処理対策の推進
 - (1) 関係行政機関で構成された南部地区廃棄物不法処理防止連絡協議会の開催

目標指標

- 1 すべての主体が参加する美しく快適な県づくり
 - (1) 環境教育アドバイザーの派遣（年5回、参加者数150名）
- 2 豊かな水環境保全の推進
 - (1) 立入検査計画に対する監視指導率（100%）
 - (2) 浄化槽管理者への指導・啓発
 - ① 浄化槽法定検査未受検者への文書指導率（100%）
 - ② 浄化槽管理者講習会の開催（年4回）
- 3 廃棄物の不法投棄・不適正処理対策の推進
 - (1) 南部地区廃棄物不法処理防止連絡協議会の開催（年1回）

I-① 健康寿命日本一に向けた取組～健康づくりの推進～

事業の実施状況

1 働き盛り世代の健康づくり対策の実施

- * 健康経営事業所登録事業所（114か所）
- * 健康経営事業所認定事業所（37か所）
- * 地域・職域健康づくり推進会議の開催（1回）
- * 健康経営事業所応援セミナー参加事業所（延べ38か所）

2 地域の健康課題に応じた対策の推進

- * 健康経営事業所での検診車によるがん検診の実施（5回）
- * 出前講座の開催（5か所 延べ13回）
- * 女性のがん検診受診行動・意識調査（全41か所）
- * がん検診普及啓発チラシ配布（6,000部）
- * 健康フェスタの開催（1回）
- * 自殺対策研修会の実施（1回）
- * 佐伯市自殺対策連絡協議会への参画（2回）

3 健康を支援する環境の整備

- * 健康応援団（受動喫煙部門）登録事業所（59か所）
- * 健康応援団（食の環境整備部門）登録事業所（18か所）
- * うま塩メニュー提供店（4か所）

事業の成果等

- ◆ 地域・職域健康づくり推進会議を中心として、関係機関と一丸となり、働き盛りの総合的な健康づくりを推進する機運が高まり、健康経営や受動喫煙対策等に取り組む事業所及び健康経営認定事業所が大幅に増加した。
- ◆ 健康経営事業所を切り口に、働き盛り世代のがん検診受診率向上に向け佐伯市や関係機関と協働した取組みが前進した。
- ◆ 健康応援団「食の環境整備部門」は1事業所、「うま塩メニュー提供店」には1事業所が新たに登録された。

今後の方向性・改善計画等

- ◆ 佐伯市や商工会、県振興局等と連携を図りながら働き世代に焦点を当て、健康経営事業所等への出前講座や、より多くの人に伝わる情報発信など、普及啓発を推進する。
- ◆ 市民による主体的な健康づくりが実践できるよう機運の醸成を図る。
- ◆ 健康無関心層への働きかけ及び自然と健康的に生活できる社会環境の整備を図る。
- ◆ 事業所における従業員がん検診受診体制の確立・充実につながるよう、健康経営事業所におけるがん検診受診対策を推進する。
- ◆ 国保運営に関する全県的な運営方針に沿って、データヘルス計画に基づく効果的な保健事業を推進する。

I-② 健康寿命日本一に向けた取組～地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護の連携～

事業の実施状況

1 多職種の資質向上と連携強化の推進

- * 介護予防圏域検討会の開催（1回）
- * 佐伯地域看護ネットワーク推進会議の開催（7回）
- * 介護施設等看護職員サポート会議及び介護施設・医療機関等連携推進会議の開催（1回）
- * 医療機関と在宅を結ぶ看護職相互交流研修の実施（1回、21人）
- * 難病対策地域協議会の開催（1回）
- * 小児慢性特定疾病児の自立支援検討会の開催（2回）
- * かかりつけ医と精神科医の連携会議の開催（1回）

2 在宅医療・介護連携の推進及び人材育成への支援

- * 高齢者にやさしい地域づくり協議会への参画（3回）
- * 在宅医療・介護連携推進部会への参画（4回）
- * 認知症施策推進部会への参画（4回）
- * 介護予防圏域別実践力向上研修の企画・立案への支援及び講師派遣（各2回）

3 医薬品の適正使用・薬剤師の在宅訪問に関する啓発

- * お薬健康相談会の開催（9回）

事業の成果等

- ◆ 各協議会や部会に参画し、「佐伯市在宅医療・介護連携推進事業」が効率的・効果的に実施できるよう支援した。
- ◆ 介護予防圏域検討会では、「住民組織育成と通いの場の充実」について、市関係各課が地域リハビリテーション広域センターと協働で横断的に取り組む方針を共有出来た。
- ◆ 医療機関・介護施設・行政看護職の顔の見える関係性が強まり連携が強化され、スムーズな支援につながっている。

今後の方向性・改善計画等

- ◆ 佐伯市が実施する在宅医療・介護連携体制の整備を引続き支援する。
- ◆ 将来を見据えた適正な医療機能のあり方を検討し、関係機関と認識の共有を図るとともに、多職種の連携強化及び看護・介護ケアの質の向上を図る。
- ◆ 在宅での療養を希望する難病や小児慢性特定疾病等の患者が増えていることから、地域の中で医療と介護サービスが一体的に提供される全世代型の地域包括ケアシステムの構築を図る。

Ⅱ 健康危機管理の拠点としての機能の充実 ～平時からの健康危機管理体制及び事案発生時の対応の充実～

事業の実施状況

1 健康危機管理体制の充実

- * 健康危機管理連絡会議の開催（1回）
- * 健康危機情報の提供
あなたの街の感染症情報を提供（毎週ホームページを更新）
インフルエンザ流行の注意喚起（ケーブルテレビ）

2 健康危機管理訓練の実施

- * 新型インフルエンザ対応訓練（1回）
- * 南部保健所災害時アクションカードを用いた災害時対応訓練（1回）
- * 広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力訓練等（1回）
- * 衛星携帯電話通話訓練（12回）
- * 南海トラフ津波避難訓練（関係機関との衛星携帯通話訓練）（1回）
- * 大分県南部地域防災関係機関ネットワーク会議による合同図上訓練（2回）

3 平時の感染防止対策の強化

- * 消毒インストラクター養成講習会（1回、35名受講）
- * 社会福祉施設概要調査票の更新による現況把握（1回、179施設）

4 食品による健康被害防止対策の実施

- * 食中毒予防啓発講習
出前講座（24回）
食品衛生講習（6回）

事業の成果等

- ◆健康危機管理連絡会議の開催により、各機関・団体の健康危機管理体制整備状況や役割を確認し、意識の徹底を図った。
- ◆新型インフルエンザや南海トラフ巨大地震などの重大な健康危機管理事案の発生を想定した各種訓練を実施することにより、関係機関との連絡・連携体制の強化を図ることができた。
- ◆感染症や食中毒等についての基礎的な知識と技術を講習会等を通じて、社会福祉施設等で働く職員に伝達することができた。

今後の方向性・改善計画等

健康危機管理事案の予防対策や事案発生時の迅速かつ適切な対応による健康被害の拡大防止を図るため、引続き健康危機管理の拠点としての機能の充実に取り組む。

Ⅱ 健康危機管理の拠点としての機能の充実 ～大規模イベントにおける食品・生活衛生対策(営業施設の指導等)の推進～

事業の実施状況

1 食中毒防止対策

- * 旅館・ホテル等の指導監視回数(8回)
- * 大規模イベント関連営業施設の指導監視回数(36施設)講習会の開催(1回)
- * 飲食店等への食物アレルギーに関する指導リーフレットを用いた啓発(3回)講習会での周知

2 大規模入浴施設における衛生対策

- * 立入調査の実施
 - ・対象施設に対する立入調査及び必要な衛生指導を実施(立入件数 8件)
 - ・迅速検査法等を用いた浴槽水等の水質検査(検体数 4件)

事業の成果等

- ◆大規模イベント主催者との連携、関係施設への指導の実施により、健康被害や苦情の発生を抑えることができた。
- ◆飲食店への立入や講習会において食物アレルギーへの対応について周知することで、事業者の理解を深めることができた。
- ◆大規模入浴施設の立入調査、浴槽水等の水質検査により、各施設の衛生状態の維持向上が図られた。

今後の方向性・改善計画等

食中毒等健康被害の発生を防止するため、HACCPに沿った衛生管理の導入指導や食物アレルギー対策の周知を行う等、引き続き営業施設の監視指導に取り組む。

Ⅲ おおいたうつくし作戦の推進

事業の実施状況

1 地域活性化につながる環境保全活動の促進

- * 「おおいたうつくし推進隊」等の団体、行政機関等で構成された環境保全ネットワーク「地域連絡会」の開催
 - ・ 「地域連絡会」の開催（出席者 環境保全団体 13団体18名、行政機関 7機関11名）
- * 環境教育アドバイザーの派遣等による環境教育の推進
 - ・ 環境教育アドバイザーを9回派遣、参加者340名

2 豊かな水環境の創出

- * 小規模事業場への立入検査計画の策定、監視指導の実施
 - ・ 立入検査計画を策定し（目標50事業場）、延べ52事業場への立入を実施（実施率104%）
- * 生活排水対策の推進
 - ・ 浄化槽法定検査拒否者に対する文書指導を実施（37件、文書指導率100%）
 - ・ 浄化槽管理者講習会の実施（年4回 出席者63名）

3 廃棄物の不法投棄・不適正処理対策の推進

- * 関係行政機関による連絡協議会の開催
 - ・ 南部地区廃棄物不法処理防止連絡協議会の開催（出席者 行政機関6機関7名）

事業の成果等

- ◆ 地域連絡会を開催したことで団体相互の連携が図られ、複数の団体が協力して活性化につながる環境美化活動が実施された。
- ◆ 環境教育アドバイザー派遣により、環境保全活動の新たな担い手の育成を図ることができた。
- ◆ 事業場排水及び生活排水に関する指導をとおして、佐伯市民の水環境保全に対する意識の醸成が図られた。
- ◆ 廃棄物不法処理防止連絡協議会の開催により、不法処理の未然防止及び早期発見、改善指導による環境保全が図られた。

今後の方向性・改善計画等

平成31年度は、引続き「地域活性化につながる環境保全活動の促進」、「豊かな水環境の創出」及び「廃棄物の不法投棄・不適正処理対策」に取り組む。